【資料２－３】

第５次飯能市障害者計画　民間事業所の実施計画等（令和７年度）

★審議会委員・事務局関係事業所

ページ	事業所名
Ｐ１	あおーら　★
Ｐ８	相談支援あきの灯
Ｐ１６	ウィズ・ユー元加治
Ｐ２４	ウーリー飯能
Ｐ３２	ヴェルペンファルマ　★
Ｐ４０	こぱんはうすさくら飯能駅前教室
Ｐ４６	放課後等デイサービスエソラ
Ｐ５１	おぶすま福祉会　★
Ｐ５７	良心会　キロロハイツ　★
Ｐ６４	くみちゃんハウス　★
Ｐ７１	相談支援こなた
Ｐ７８	コペルプラス飯能教室
Ｐ８５	就労継続支援事業所　にこにこハウス　★
Ｐ９２	ぬくもり福祉会たんぽぽ　★

ページ	事業所名
Ｐ１００	はなみずき会（ぽかぽかハート・ヴィレッジ等）★
Ｐ１０８	相談支援事業所　マロニエ
Ｐ１１４	みつるくん
Ｐ１１５	障害者生活介護事業所みなかみ
Ｐ１２３	訪問介護ゆーもあ
Ｐ１２８	むさしの福祉会　阿須フレンドワーク　★
Ｐ１３５	くすのき会　★
Ｐ１４２	京悠会　円野　★
Ｐ１４９	現成会　太陽の丘・太陽の丘双柳
Ｐ１５５	名栗園　★
Ｐ１６３	飯能市社会福祉協議会　★

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	特定非営利活動法人あおーら		
基本目標	１　地域福祉意識の醸成と地域福祉力の向上		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	交流の機会の充実による福祉意識の醸成
	○	２	幼い頃から障害のある人等と交流し、障害を正しく理解できる環境づくり
	○	３	地域の福祉力の向上
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・イベントへの参加・開催をとおして、関係者・市民への啓発に取り組む。 ・地域の方に事業内容を理解していただけるよう、ボランティアや見学者の受け入れを積極的に行う。 ・関係機関との多職種連携によるチーム支援に心がけ、地域の福祉力の向上に努める。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・市内の高校の学園祭で菓子販売・駿河台大学でのホッケー大会で菓子工房が記念品の提供を行った。 ・トントゥーフェスティバルに菓子工房・自主製品の販売で出店した。 ・第一小学校「まちなか探検」を受け入れ、作業見学を行い質問等に応じた。 ・彩の国ボランティア体験事業で3名のボランティアの受け入れを行った。 ・南飯能病院の入院患者さんと生活訓練事業所との交流会を検討し、７年度より実施する運びとなった。	・法人の事業・菓子工房についての理解が拡大し、菓子工房の販路が行政や高校・自治会・学童クラブ等に拡大した。 ・トントゥーフェスティバルに出店し、菓子工房・自主製品の商品を販売した。 ・第一小学校「まちなか探検」を受け入れ、作業見学を行い質問等に応じた。 ・南飯能病院の夏祭りに参加し、病院関係者・入院患者・利用者との交流に努めた。 ・人権擁護委員会所沢支部の見学受入れ、民生児童委員加治地区の例会参加を通して、障害者福祉の啓発に努めた。 ・家族支援事業として成年後見制度の学習会を開催した。 ・精神保健福祉フォーラムの開催に協力した。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	特定非営利活動法人あおーら		
基本目標	２　障害者差別の解消と権利擁護の推進		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	障害者差別解消の取組の推進
	○	２	権利擁護に関する取組の推進
		３	情報の保障・支援の充実
	○	４	意思決定支援の推進
	○	５	虐待予防の徹底と虐待の早期発見・対応
		６	成年後見制度の利用促進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・虐待防止委員会を定期的に開催する。 ・全職員を対象に、毎年虐待に関するセルフチェックを実施する。 ・虐待防止・権利擁護の研修について、全職員の参加を基本とする。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・虐待防止委員会を定期的に開催した。 ・全職員を対象に、虐待に関するセルチェックを実施した。 ・県開催の虐待防止・権利擁護の研修に、会場参加とオンライン参加を行った。	・虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会を定期的に開催した。 ・全職員を対象に、虐待に関するセルチェックを実施した。 ・県開催の虐待防止・権利擁護の研修会に、全職員を対象として参加した。 ・職員の資質向上を目的に、日常の支援に関する事例検討会等を定期開催した。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	特定非営利活動法人あおーら		
基本目標	３　地域の相談支援体制と生活支援の充実		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	包括的相談支援体制の充実
	○	２	一人ひとりのニーズに応じた支援の充実
	○	３	当事者による支援の充実
	○	４	障害福祉制度の周知・情報提供
	○	５	地域生活を支える支援の充実
		６	暮らしの場・居住支援の充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・多職種多機関の連携強化に努める。 ・職員会議等にて随時に個別支援計画の見直しを行い、チームとしての支援力の強化に努める。 ・ピアサポーター養成研修を継続するとともに、当事者の協力を得て訪問型生活支援事業に取り組む。 ・新任職員の研修を必須とするとともに、顧問の会計士と制度の改訂、業界動向等について情報を共有し各事業所に周知していく。 ・地域活動支援センターの役割、あり方について見直しを行う。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・利用者さんの相談内容によって、各相談員と連絡を取り必要な関係機関との連携に努めた。 ・月１度の職員会議をはじめ、必要時に支援計画の共有に努めた。 ・ピア学習会は開催したが、訪問依頼はなかった。 ・新任職員は法人内の全事業所で実習を行い、事業内容の理解を深めた。 ・地域活動支援センターについては、障害福祉課と随時話し合いの場を持った。	・利用者の相談内容によって関係機関との連携に努め、チーム支援を心掛けた。 ・月例の職員会議をはじめ、必要に応じて支援計画の共有に努めた。 ・ピア学習会を予定したが、希望者が少なく開催できなかった。 ・新任職員の各事業所体験を行い、事業内容の理解を深めた。 ・地域活動支援センターについて、支援のあり方、職員体制等について障害福祉課と協議を進めた。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	特定非営利活動法人あおーら		
基本目標	５　保健・医療の充実		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	健康づくりの推進
	○	２	こころの健康づくりの推進
	○	３	医療機関への受診に係る支援
	○	４	医療機関等と連携した地域移行・定着支援
		５	難病患者等への支援
		６	高次脳機能障害のある人への支援
	○	７	発達障害のある人への支援
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・健康診断による再検査者への再診を促すとともに、全職員の職業性ストレスチェックを行い必要な方策を講じる。 ・「こころの健康のつどい」の開催に協力する。 ・必要な方については通院同行する。 ・医療機関のカンファレンスに参加し、退院後の生活支援に取り組む。 ・発達障害者の当事者会設立に向けた支援を行う。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・全職員の職業性ストレスチェックを実施し、面談の場を設けた。 ・「こころの健康の集い」に実行委員として参加した。 ・精神科問わず、必要時には通院同行を行った。 ・退院に向けて医療機関に協力し、外出等の同行を行った。 ・発達障害者の特性を生かせるよう、時間をかけて支援を行っている。	・職員の職業性ストレスチェックを実施した。 ・「こころの健康の集い」に実行委員として参加した。 ・精神科を問わず、必要時には通院同行を行った。 ・退院に向け、医療機関入院者の地域活動支援センター体験受け入れを行った。 ・発達障害者の特性を生かせるよう、特性に配慮した支援を行った。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	特定非営利活動法人あおーら		
基本目標	６　多様な就労への支援		
飯能市障害者計画施策	○	１	就労機会の確保・職場開拓・雇用促進
	○	２	働き続けるための支援
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・各事業所間で連携し、一人ひとりの利用者の多様な働き方を支援する。 ・就労支援センターと連携して、安心して長く働き続けることができるよう支援する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・関係機関と連携し、仕事・生活の支援を行ってきた。 ・福祉サービス利用終了後も就労支援センターが職場訪問や相談に乗り、安定して働けるよう支援を行っている。	・関係機関と連携し、仕事・生活の全般に渡る支援を行った。 ・福祉サービス利用終了後も就労支援センターが面談・職場訪問を行い、安定して働けるように支援した。 ・利用している福祉サービスに関わらず、就労移行支援、就労継続支援Ｂ型、生活訓練から一般就労者を送り出すことができた。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	特定非営利活動法人あおーら		
基本目標	７　文化芸術活動、スポーツ、余暇・レクリエーション活動への支援		
飯能市障害者計画施策	○	１	文化芸術活動、スポーツ・レクリエーション活動、生涯学習の充実
	○	２	地域活動支援センターの充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・利用者の創作活動、スポーツ、レクリエーション活動の充実に努める。 ・遠方、交通機関、体調等の面で市街地に出てこられない方が孤立しないよう、地域の公共機関の協力を得て出張地域活動支援センターを開催する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・プログラムにアート・書道・ハンドメイドを導入し、障害者アート展・アールブリュット展に出品した。 ・プログラムにヨガ教室・ソフトバレーボール・卓球等のスポーツの日を設け、福祉スポーツ大会・ツーデーマーチに参加した。 ・地域活動支援センターの試行事業として、原市場公民館で交流の場を持った。	・プログラムとしてアート書道・ハンドメイドを実施し、障害者アート展・アールブリュット展等に出品した。 ・プログラムにヨガ教室・ソフトバレーボール・卓球等のスポーツの日を設けるとともに、福祉スポーツ大会・ツーデーマーチに参加した。 ・各事業所で利用者の声を聞きながら、工夫を凝らした外出プログラムを実施した。		

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	特定非営利活動法人あおーら		
基本目標	８　安心・安全で住みよいまちづくりの推進		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	防災対策・災害時支援体制の充実
		２	防災対策・災害時支援体制の充実
		３	住みよいまちづくりの推進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・各事業所、法人のＢＣＰの見直しを行いながら、訓練等の充実を図る。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・各事業所でBCPの見直しを行い避難訓練を行った。	・各事業所でBCPの定期的な見直しを行うとともに、研修会・訓練を実施した。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	相談支援あきの灯		
基本目標	１　地域福祉意識の醸成と地域福祉力の向上		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	交流の機会の充実による福祉意識の醸成
		２	幼い頃から障害のある人等と交流し、障害を正しく理解できる環境づくり
		３	地域の福祉力の向上
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・本年度から事業を開始した事業所であるため、地域の福祉、教育その他関係機関に認知していただくよう訪問し交流を深めることから取り組む。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・飯能市、日高市、鶴ヶ島市、所沢市、川越市その他県外の福祉事業所や教育機関を訪問し、当事業所について認知していただくとともに各事業所の機能、特徴、役割等の知識を深めた。	・本年度も各関係機関へ積極的に訪問し、各関係機関の役割の理解と連携の強化に努めた。 ・各小学校の支援級が開催する販売会等にお伺いして、児童、担当教師との信頼関係を深めるよう努めた。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	相談支援あきの灯		
基本目標	２　障害者差別の解消と権利擁護の推進		
飯能市 障害者計画 施策		１	障害者差別解消の取組の推進
		２	権利擁護に関する取組の推進
		３	情報の保障・支援の充実
	○	４	意思決定支援の推進
		５	虐待予防の徹底と虐待の早期発見・対応
		６	成年後見制度の利用促進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・まずは当事業所をご利用していただく障害者及び障害児の支援においてパーソン・センタード・ケアの理念を追及する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・利用者一人ひとりを個別の人間として、またお子さんを人格のある人間として捉え、真っすぐ接するように努めた。 ・利用者の抱えている問題行動や事象にではなく、利用者・児自身の人間性にふれる努力を続ける。	・障害児相談支援において、一人ひとり児童と向き合うように努めたが、３カ月ごとの面談以上に触れ合う機会を設けることが難しく、母親からの聞き取りが中心になってしまう。 ・障害児相談支援において、当事者である本人の思いや希望、辛さをくみ取り、意思決定をサポートする支援の難しさに日々悩んでいる。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	相談支援あきの灯		
基本目標	３　地域の相談支援体制と生活支援の充実		
飯能市 障害者計画 施策		１	包括的相談支援体制の充実
	○	２	一人ひとりのニーズに応じた支援の充実
		３	当事者による支援の充実
		４	障害福祉制度の周知・情報提供
		５	地域生活を支える支援の充実
		６	暮らしの場・居住支援の充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・当事業所をご利用していただく障害者及び障害児の支援において、個別のニーズに応じた支援が図られるよう相談支援のスキル向上を図り実践していく。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・埼玉県やまほろばなどが主催する各種研修に積極的に参加した。また障害児支援・教育連携部会や就労支援部会、精神保健福祉部会が主催する勉強会に参加し、相談支援の知識と技術の習得に努めた。	・今年度も埼玉県やまほろばなどが主催する各種研修に積極的に参加した。 ・障害児支援・教育連携部会や就労支援部会、精神保健福祉部会が主催する勉強会に参加し、相談支援の知識と技術の習得に努めた。 ・東京都の成年後見人基礎研修に参加し権利擁護について学んだ。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	相談支援あきの灯		
基本目標	４　共に学び育つ保育・療育・教育の充実		
飯能市 障害者計画 施策		１	インクルーシブな保育の推進・インクルーシブ教育の推進に向けた基盤の整備
	○	２	療育・発達支援等の充実
		３	特別支援教育・教育環境の充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・市内外の療育及び発達支援のサービス事業者等の社会資源の特徴や強みを把握し、適切な利用につなげていくことで充実を図る。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・令和６年度より事業を開始し、市内外の療育及び発達支援のサービス事業所等へ積極的に訪問し、各事業所の特徴や強みを把握することに努めた。	・市内外の療育及び発達支援のサービス事業所等へ積極的に訪問し、各事業所の特徴や強みを把握することに努めた。 ・保育所等訪問支援のサービス開始に当たって当該事業所と学校訪問に同席し、療育・発達支援の充実、関係者との信頼関係の構築に努めた。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	相談支援あきの灯		
基本目標	５　保健・医療の充実		
飯能市 障害者計画 施策		１	健康づくりの推進
		２	こころの健康づくりの推進
	○	３	医療機関への受診に係る支援
		４	医療機関等と連携した地域移行・定着支援
		５	難病患者等への支援
		６	高次脳機能障害のある人への支援
		７	発達障害のある人への支援
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・医療機関従事者と顔の見える関係を深め、適時に受診できる支援体制を構築する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・療育の支援にあたって、保健センターの保健師と情報を共有し積極的に連携を図ることにより、当該児童の適切な支援に繋げるように努めた。 ・医療機関の医療連携室等とは引き続き訪問する機会を増やす努力をするなど、顔の見える関係作りに努めたい。	・療育の支援にあたって、保健センターの保健師と情報を共有し積極的に連携を図ることにより、当該児童の適切な支援に繋げるように努めた。 ・医療機関の医療連携室等とは訪問する機会を増やす努力をするなど、顔の見える関係作りに努めた。 ・遠方の支援者に代り、通院診察に同行するなど利用者の通院が円滑に行えるよう支援した。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	相談支援あきの灯		
基本目標	６　多様な就労への支援		
飯能市障害者 計画施策	○	１	就労機会の確保・職場開拓・雇用促進
		２	働き続けるための支援
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・当社の方針である障がい者と共に働く事業の開拓に取り組む。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年 評価
・令和６年度は新規事業の取り組みまで至らなかった。まずは相談支援事業の安定した運営に注力する。	・就労移行支援事業所との連携を積極的に図るよう努めた。 ・障害者雇用で働く利用者の職場を訪問し、責任者と話し合う機会を設けるなど、雇用環境の改善と利用者の課題、目標などを共有した。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	相談支援あきの灯		
基本目標	７　文化芸術活動、スポーツ、余暇・レクリエーション活動への支援		
飯能市障害者計画施策	○	１	文化芸術活動、スポーツ・レクリエーション活動、生涯学習の充実
		２	地域活動支援センターの充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・多様な機関が開催する文化芸術活動の情報提供に努める。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・開業して間もなく本業務に注力したため、障害福祉に関わる文化・芸術活動について積極的に啓蒙するまでには至らず。今後は多様な機関が主催する活動にも意欲的に参加し、情報提供ができるよう知識を深めたい。	・障害福祉課より情報を得たさまざまな機関が開催する文化芸術活動、レクリエーション活動の情報について、興味がありそうな利用者さんへの情報提供に努めた。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	相談支援あきの灯		
基本目標	８　安心・安全で住みよいまちづくりの推進		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	防災対策・災害時支援体制の充実
		２	防災対策・災害時支援体制の充実
		３	住みよいまちづくりの推進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・当事業所の災害用備蓄品の充実など防災対策の充実に努め、災害時体制の構築について先進的な取り組みを研究する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・災害備蓄品について缶詰など食料、飲料水、非常用簡易トイレー式などを購入し、取りやすい場所に備蓄したほか、事業継続計画の作成を行った。	・災害備蓄品について缶詰など食料、飲料水、非常用簡易トイレー式などの追加購入とチェックシートを作成した。 ・事業継続計画の見直しを行った。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	ウィズ・ユー元加治		
基本目標	１　地域福祉意識の醸成と地域福祉力の向上		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	交流の機会の充実による福祉意識の醸成
		２	幼い頃から障害のある人等と交流し、障害を正しく理解できる環境づくり
		３	地域の福祉力の向上
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・地域でのお祭り等のイベントに参加させていただき、地域交流の機会を作る。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・加治東地区行政センターで行われた「七夕まつり」や「まゆ玉飾り」への参加や、入間市児童センターへ出掛け、地域の方々と交流の機会を作った。	・加治東地区行政センターで行われた「七夕まつり」や「まゆ玉飾り」への参加や、入間市児童センターへ出掛け、地域の方々と交流の機会を作った。 ・飯能市福祉スポーツ大会や入間市のパラスポーツ体験会へ参加した。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	ウィズ・ユー元加治		
基本目標	２　障害者差別の解消と権利擁護の推進		
飯能市 障害者計画 施策		１	障害者差別解消の取組の推進
		２	権利擁護に関する取組の推進
		３	情報の保障・支援の充実
		４	意思決定支援の推進
	○	５	虐待予防の徹底と虐待の早期発見・対応
		６	成年後見制度の利用促進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・1年に2回以上の虐待防止研修の実施や、月に1回の職員会議の際に日頃の支援の振り返りを行い、情報を共有することで虐待防止の徹底と虐待の早期発見・対応に努める。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・1年に2回以上の虐待防止研修の実施や、飯能市が開催した令和6年度飯能市虐待防止研修会に参加し、虐待防止に関する知見を深めた。 ・月に1回の職員会議の際に日頃の支援の振り返りを行い、情報を共有することで虐待防止の徹底と虐待の早期発見に努めた。	・1年に2回以上の虐待防止研修の実施や年に1回の虐待防止委員会の実施、障害者虐待防止学会への参加により、虐待防止に関する知見を深めた。 ・月に1回の職員会議の際に、職員のメンタルヘルスや支援方法に関する研修の実施や、日頃の支援の振り返りを行い情報を共有することで、虐待防止の徹底と虐待に発展しうるケースの改善に努めた。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	ウィズ・ユー元加治		
基本目標	３　地域の相談支援体制と生活支援の充実		
飯能市 障害者計画 施策		１	包括的相談支援体制の充実
	○	２	一人ひとりのニーズに応じた支援の充実
		３	当事者による支援の充実
		４	障害福祉制度の周知・情報提供
		５	地域生活を支える支援の充実
		６	暮らしの場・居住支援の充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・情報収集やアセスメントを実施して一人ひとりのニーズに沿った個別支援計画を作成し、職員全体で個別支援計画の共有及び把握をすることで充実した支援を実施する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・日頃の支援の現場や、保護者、学校と連携して児童の情報収集を行い、アセスメント結果を担当者会議にて共有し、一人ひとりのニーズに沿った個別支援計画を作成した。 ・職員会議や朝礼、クラウドシステムでの情報共有により、個別支援計画を職員が把握した上で支援を行った。	・日頃の支援の現場や、保護者、学校と連携して児童の情報収集を行い、アセスメント結果を担当者会議にて共有し、一人ひとりのニーズに沿った個別支援計画を作成した。 ・職員会議や朝礼、クラウドシステムでの情報共有により、個別支援計画を職員が把握した上で支援を行った。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	ウィズ・ユー元加治		
基本目標	４　共に学び育つ保育・療育・教育の充実		
飯能市 障害者計画 施策		１	インクルーシブな保育の推進・インクルーシブ教育の推進に向けた基盤の整備
	○	２	療育・発達支援等の充実
		３	特別支援教育・教育環境の充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・年間の研修計画を立案し、職員が適宜研修を受講することで、療育・発達支援等の充実を図る。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・研修の年間計画を作成し、計画に沿って対面とイーラーニングでの研修を実施した。 ・事例検討会を実施し、発達支援に対する職員の困りごとを、対応策を共有して実践した。	・研修の年間計画を作成し、計画に沿って対面とイーラーニングでの研修を実施した。 ・事例検討会を実施し、支援に対する職員の困りごとを、対応策を共有して実践した。 ・外部研修へ積極的に参加して、研鑽を積んだ。 ・療育スキル評価AIとトレーニングAIを自社開発し、支援員の支援スキルの向上を図った。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	ウィズ・ユー元加治		
基本目標	５　保健・医療の充実		
飯能市 障害者計画 施策		１	健康づくりの推進
		２	こころの健康づくりの推進
		３	医療機関への受診に係る支援
		４	医療機関等と連携した地域移行・定着支援
		５	難病患者等への支援
		６	高次脳機能障害のある人への支援
	○	７	発達障害のある人への支援
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・発達障害がある児童への療育支援だけでなく、発達障害のある職員や、発達障害を持つ家族がいる職員の働きやすさに配慮した職場づくりを実施する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・発達障害を持った職員が働きやすいように、時期や体調によって勤務日数を増減するなど配慮した。	・精神障害者福祉手帳を所持する職員は4名となった。 ・日々のタスクを見える化し、タスク一つ一つに担当者を振り分け、仕事の進捗を確認しながら無理がないように配慮した。 ・面接の機会を定期的に設け、心身の状況を確認しながら無理のない勤務計画を作成し、突発的な欠勤に備え、職員を多めに配置した。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	ウィズ・ユー元加治		
基本目標	６　多様な就労への支援		
飯能市障害者計画施策		１	就労機会の確保・職場開拓・雇用促進
	○	２	働き続けるための支援
令和6～8年度実施計画（実施予定の事業）	・常勤の週の勤務時間を32時間以上とし、子育てや介護と両立できるよう柔軟な働き方を支援する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・常勤職員3名の勤務時間を週32時間とし、子育てとの両立や持病に配慮して働き続けられる環境を提供した。	・常勤職員3名の勤務時間を週32時間とし、子育てとの両立や持病に配慮して働き続けられる環境を継続して提供した。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	ウィズ・ユー元加治		
基本目標	７　文化芸術活動、スポーツ、余暇・レクリエーション活動への支援		
飯能市障害者計画施策	○	１	文化芸術活動、スポーツ・レクリエーション活動、生涯学習の充実
		２	地域活動支援センターの充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・活動の中で、製作やスポーツ、レクリエーションの機会を作る。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・飯能市体育館を借りたスポーツ大会の実施や、飯能市アート展への出展を行った。	・夏季休暇中にこどもたちのリクエストによりプール活動を3回実施した。 ・体育館をお借りしたスポーツ大会を実施した。 ・こどもたちの作品をカフェやこども食堂へ飾ってもらう活動を実施し、のべ7カ所に飾っていただいた。 ・飯能市ふれあいアート展に出展し、利用者が飾られている自分の作品を鑑賞に行く機会を設けた。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	ウィズ・ユー元加治		
基本目標	８　安心・安全で住みよいまちづくりの推進		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	防災対策・災害時支援体制の充実
		２	防災対策・災害時支援体制の充実
		３	住みよいまちづくりの推進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・自然災害時の業務継続計画を作成し、年に1回の訓練を実施する。 ・利用者及び職員に向けた防災訓練を年に2回実施する。 ・災害時の食事に慣れるよう、防災食の試食を年に1回実施する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・自然災害時の業務継続計画を作成し、訓練を1回実施した。 ・利用者及び職員に向けた防災訓練を2回実施した。 ・災害時の食事に慣れるよう、防災食の試食を1回実施した。	・自然災害時と感染症の業務継続計画を作成し、研修を1回、訓練を1回実施した。 ・利用者及び職員に向けた防災訓練を2回実施した。 ・災害時の食事に慣れるよう、防災食の試食を1回実施した。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	ウーリー飯能		
基本目標	１　地域福祉意識の醸成と地域福祉力の向上		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	交流の機会の充実による福祉意識の醸成
		２	幼い頃から障害のある人等と交流し、障害を正しく理解できる環境づくり
		３	地域の福祉力の向上
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・地域で開催されるイベントや祭りなどに参加して、地域住民の方と楽しむ機会を持つことで、社会参加と交流機会の充実を図る。 ・ハンドメイドの自主製品の展示・販売を通じて地域の方に事業所のことを知ってもらい、地域交流を深め、「社会参加する共生」を目指す。 ・販売活動に取り組むことは、地域住民の方と交流ができ、コミュニケーションをとることで、障害特性等に気づき、ともに理解を深めることができる。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・自主製品の羊や猫などの編み物・羊毛フェルト作品、ソックスキャット、小物製品を制作し、販売活動を行うことで社会の一員として働き活躍する機会を広げることができた。	・埼玉県就労B型受注拡大ステーションからの紹介により、地域の信用金庫主催販売会に参加し、自主製品の羊や猫などの編み物・羊毛フェルト作品、ソックスキャット、小物製品等の販売を行った。販売活動を通じて地域住民との交流の機会を創出し、障害のある方が社会の一員として働きだす機会の拡大に取り組んだ。これらの取り組みにより、福祉への理解促進および地域福祉意識の向上につなげることができた。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	ウーリー飯能		
基本目標	２　障害者差別の解消と権利擁護の推進		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	障害者差別解消の取組の推進
	○	２	権利擁護に関する取組の推進
		３	情報の保障・支援の充実
		４	意思決定支援の推進
	○	５	虐待予防の徹底と虐待の早期発見・対応
		６	成年後見制度の利用促進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・誰もがそれぞれの人格と個性を認め合い、尊重しあい支えあうことを大切にして、就労継続支援B型事業所として日中活動の場の充実を図る。 ・利用者の人権を守り、安心、安全な生活を確保することは施設運営の中で基本かつ重要である。職員が権利擁護や虐待防止に関する知識・意識を高め、支援体制の向上を図る。 ・自らの支援内容を見直せるよう定期的に自主点検を実施し、「不適切な支援は虐待にあたる」という観点を持ち、率直に話し合える職場環境作りに取り組んでいく。 ・権利擁護の啓発 ・虐待防止に関するポスター、チラシ等を事業所内に掲示し、 啓発を行う。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・職員向けに虐待防止・虐待早期発見のための研修を年2回実施した。 ・虐待の未然防止・早期発見を図るため職員・利用者・来所者への啓発を目的としたポスターを事業所内に掲示した。	・職員を対象に虐待防止・虐待早期発見のための研修を年2回実施し、虐待の未然防止と早期発見に向けた意識向上を図った。また、職員・利用者・家族への啓発を目的としたチラシを掲示し、障害者差別の解消と権利擁護の推進に取り組んだ。これらの取り組みにより、虐待防止に対する意識の向上と啓発の推進を図ることができた。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	ウーリー飯能		
基本目標	３　地域の相談支援体制と生活支援の充実		
飯能市 障害者計画 施策		１	包括的相談支援体制の充実
	○	２	一人ひとりのニーズに応じた支援の充実
		３	当事者による支援の充実
		４	障害福祉制度の周知・情報提供
		５	地域生活を支える支援の充実
		６	暮らしの場・居住支援の充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・就業支援の一環として、引きこもりの方が事業所に通所することで、得意なものづくりやアートを生かして活躍できる社会の実現を目指す。 ・障害特性を理解し、体調や心理面などにも配慮し、ゆるやかな作業を導入して、日中活動を充実させる。 ・障害特性に合わせた、落ち着いて作業ができる作業環境作りに努める。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・地域の相談支援事業所と連携しながら、就労支援の一環として引きこもりのある方々が、安心して社会参加に向けた一歩を踏み出せるよう通所支援に注力した。 ・活動内容の工夫として、作業内容は本人の興味・適正に応じて選択制とし、無理なく取り組める内職作業やアート制作を活かした創作活動を行うことで、自信がつき外に出られるようになり楽しいと思える機会を多くもつことができた。	・地域の相談支援事業所と連携しながら、引きこもり傾向のある方が安心して社会参加に向けた一歩を踏み出せるよう、通所支援に重点を置いた支援を行った。作業内容は本人の興味や適正に応じて選択制とし、無理なく取り組める内職作業やアート制作などの創作活動を実施した。これらの取り組みにより、利用者の自信や意欲向上につながり、通所や社会参加へのきっかけづくりを図ることができた。 ・引きこもり傾向のある方が安心して作業に取り組めるよう、個別に壁を向いて作業できる席の配置やパーティションでの仕切りを設けるなど、落ち着いた作業環境の整備に努めた。また、静かな音楽を流すなど、障害特性に配慮した環境づくりを行った。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	ウーリー飯能		
基本目標	４　共に学び育つ保育・療育・教育の充実		
飯能市 障害者計画 施策		１	インクルーシブな保育の推進・インクルーシブ教育の推進に向けた基盤の整備
		２	療育・発達支援等の充実
	○	３	特別支援教育・教育環境の充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・特別支援学校との連携を図りながら実習受け入れを継続し、障害のある生徒が安心して社会参加や就労に向けた経験を積む機会の充実に取り組む。 ・支援学校との情報共有		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
	・特別支援学校高等部の実習受け入れを行い、学校と情報共有を図りながら生徒の特性に応じた作業体験および就労体験の機会を提供した。 ・実習では、挨拶や作業ルールなど社会生活に必要な基本的習慣の支援を行った。 ・内職作業や自主製品制作の創作活動を通じて、ものづくりの楽しさや達成感を感じられる学びの機会づくりに取り組んだ。 ・作業体験を通じて、働くことへの理解や社会参加（卒業後の進路について）への意識を高める支援を行った。		

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	ウーリー飯能		
基本目標	５　保健・医療の充実		
飯能市 障害者計画 施策		１	健康づくりの推進
		２	こころの健康づくりの推進
		３	医療機関への受診に係る支援
		４	医療機関等と連携した地域移行・定着支援
		５	難病患者等への支援
		６	高次脳機能障害のある人への支援
	○	７	発達障害のある人への支援
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・「共生社会の実現」に向けた取り組みを推進し、利用者のニーズや個性と豊かな自己の表現、能力適性を考慮することを大切にし、意思および人格を尊重して地域との結びつきを重視することに加え社会資源との連携を図る。 ・就労継続支援B型事業所の就労支援に関しては、工賃向上という面だけではなく、個々が生きがいを持って仕事をすることができる「デイーセントワーク：働きがいのある人間らしい仕事」ことをを目指し支援を行う。 ・社会の一員として働く喜びを得ることで、やりがいのある生産活動と基本的生活習慣の体得を図れるよう障害特性を理解した適切な対処法と環境整備を工夫し、安定した作業を提供する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・発達障害のある方は、特性に応じた適切な支援と環境が整えば、すばらしい力を発揮することができるため、楽しく自信を持ってやりがいを感じられる働く訓練の場作りに取り組んだ。	・発達障害の特性に配慮し、本人の得意分野や興味に応じた作業内容（内職作業・アート制作等）を提供した。 ・作業工程を分かりやすくするため、手順の見える化や個別に説明するなど理解しやすい支援を行った。 ・落ち着いて作業できるよう、環境調整（パーティション設置や先配置の工夫など）を行った。 ・小さな成功体験を積み重ねられるよう、無理のない作業量の設定や段階的な作業訓練を実施した。 ・楽しさや達成感を感じられるよう、創作活動や自主製品づくり等を通じて働く喜びを感じられる機会を提供した。 ・これらの取組みにより、利用者が安心して活動に参加し、働くことへの自信ややりがいを感じられる機会の充実につながった。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	ウーリー飯能		
基本目標	６　多様な就労への支援		
飯能市障害者計画施策		１	就労機会の確保・職場開拓・雇用促進
	○	２	働き続けるための支援
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・障害特性に合わせた支援と作業提供および利用者の適正を考慮した作業導入を行う。 ・利用者の能力に応じた適切なサポートや技術支援を行う活動を通じて「仕事にやりがいが持てる」「自分の居場所がある」と感じられるよう一人ひとりの個性が発揮できる支援の展開を図る。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・一人ひとりの能力や特性、興味、関心を理解しながら自分の力を発揮する作業環境づくりに取り組んだ。 ・自分らしく好きなこと、得意な作業を行うことにより、働くことの楽しさ、達成感が味わえるので、今後も自分らしく働ける環境づくり、自分の働く居場所づくりに取り組んでいく。	・利用者一人ひとりの能力や障害特性、興味・関心を把握し、それぞれの力を発揮できる作業環境づくりに取り組んだ。具体的には内職作業や羊毛フェルト・ソックスキャットなどの自主製品、アート制作等の作業を適性に応じて提供した。好きなことや得意な作業に取り組むことで働く楽しさや達成感につながり、就労意欲の向上と継続的な通所につながった。今後も働ける環境づくりとそれぞれに合った働く場の支援に取り組んでいく。 ・利用者が得意な作業や創作活動に取り組み、作品制作や販売活動を通じて周囲から認められる経験を重ねることで、自分の役割や居場所を感じられる場面が生まれている。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	ウーリー飯能		
基本目標	７　文化芸術活動、スポーツ、余暇・レクリエーション活動への支援		
飯能市障害者計画施策	○	１	文化芸術活動、スポーツ・レクリエーション活動、生涯学習の充実
		２	地域活動支援センターの充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・心身の健康を維持するために、余暇の充実を図る。 ・余暇活動を通して自立するために必要な能力を高め社会参加し、利用者の活動の場を広げる。 ・外食で注文したり電車やバスに乗ったりして出かけることで活動の幅が広がり、人とのコミュニケーションなどを通じて楽しさを感じられるよう取り組みを行う。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・昼休みにウォーキングや卓球やボール運動を取り入れたことで、運動不足の解消や生活リズムの安定に効果があった。 ・季節の行事を取り入れることで、他者とのコミュニケーションが促されたり、気分不調や孤独感が軽減されたりして笑顔や会話が増える時間が作れた。	・昼休み時間を活用し、ウォーキングや卓球やボール運動などの軽運動を継続して取り入れ、利用者の体力維持や運動不足の解消、生活リズムの安定につながるように取り組んだ。 ・季節の行事やレクリエーション活動を実施し、利用者同士の交流やコミュニケーションの機会を設けた。 ・余暇活動としての時間を設けるなど活動の幅を広げることで、気分転換の機会が増え、孤独感の軽減や安心して過ごせる環境づくりにつながった。		

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	ウーリー飯能		
基本目標	８　安心・安全で住みよいまちづくりの推進		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	防災対策・災害時支援体制の充実
		２	防災対策・災害時支援体制の充実
		３	住みよいまちづくりの推進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・コロナ禍で露見した感染症リスクや大規模自然災害リスクに備え、発生時を想定した職員研修および利用者が理解できる有事の際に活用できる訓練実施に取り組む。 ・「命を最優先に行動する」を基本として、避難訓練時には消防署より指導を受け、災害・防災の意識を高める。 ・地域住民との交流の機会を持ち、利用者の存在を知ってもらい、避難が必要な時に協力してもらえるよう取り組む。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・災害発生時に備えた防災訓練・避難訓練を実施した。 ・消防署より専門的な指導助言を受け、実技体験も行った。	・災害発生時に備え、防災訓練および避難訓練を実施し、職員および利用者が有事の際に落ち着いて行動できるよう取り組んだ。訓練では、命を最優先した避難行動の確認や避難経路の確認、消火器の使用方法などの実技体験を行った。 ・消防署から専門的な指導や助言を受け、災害時の対応力向上に努めた。さらに、避難訓練実施にあたり、事前に近隣住民へ挨拶を行い、事業所の活動内容や防災訓練実施について周知した。また、災害時の避難場所として近隣駐車場の使用について協力を得るなど、地域と連携した防災体制づくりに取り組んだ。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	ヴェルペンファルマ		
基本目標	１　地域福祉意識の醸成と地域福祉力の向上		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	交流の機会の充実による福祉意識の醸成
	○	２	幼い頃から障害のある人等と交流し、障害を正しく理解できる環境づくり
	○	３	地域の福祉力の向上
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・ヴェルペン感謝祭の開催 ・ヴェルペンほかほかセミナーを開催し、地域交流の場を提供する。 ・地域イベントへの参加、協力 ・生涯学習講座への講師協力 ・はんのうふくしの森みらいカレッジの開催協力 ・社会福祉協議会や民生委員児童委員協議会との連携		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・飯能市民会館にて「ヴェルペン感謝祭」を開催した。観客は出演者の家族、関係者、地域住民にも周知をし、当日は多くの方に足をお運びいただき、日頃の活動を発表することができた。前年度同様、当日のＤＶＤを作成した。 ・メッツァビレッジにて開催された、トントゥフェスティバル2024に10月26日、27日に出店させていただき、他事業所のみならず、地域の方との交流を深めることができた。 ・吾野、東吾野地区民生委員児童委員協議会定例会に、社会福祉協議会 コミュニティソーシャルワーカー、保健センター 保健師、地域包括支援センターはちまん町、すこやか福祉相談センターはちまん町が定期的に出席し、地域との連携を図った。	・3月14日に飯能市民会館にて例年どおり「ヴェルペン感謝祭」を開催した。今年も多くの利用者が一年の成果を利用者家族、関係者、地域住民の見守る中をステージ上で発表することができた。今年度も当日のＤＶＤを作成する予定。 ・メッツァビレッジにて開催された、トントゥフェスティバル2025に10月4日、5日に出店。他事業所や地域の方との交流を深めることができた。 ・カフェレストラン ヴェルペングリルにて、月に1回ヴェルペンほかほかセミナーを開催。健康測定会やワークショップ等を定期的に実施し、地域との交流の場を提供した。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	ヴェルペンファルマ		
基本目標	２　障害者差別の解消と権利擁護の推進		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	障害者差別解消の取組の推進
	○	２	権利擁護に関する取組の推進
	○	３	情報の保障・支援の充実
	○	４	意思決定支援の推進
	○	５	虐待予防の徹底と虐待の早期発見・対応
	○	６	成年後見制度の利用促進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・ホームページやＳＮＳを活用した情報配信の充実 ・虐待防止研修や権利擁護研修等による職員教育 ・個別の対応の中で、当事者が安心してコミュニケーションが取れる配慮を行い、個別性を尊重しながら意思決定等が行えるよう支援する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・ホームページ上の情報に変更があった際は、速やかにアップデートを行い、最新情報の提供に努めた。また、ブログやSNS等を活用し、事業所紹介や日々の活動の情報発信を積極的に行った。 ・法人内で月に1度虐待防止研修や支援等に関しての研修会を開催し、参加者それぞれの立場から見える問題点や課題を参加者全員で意見交換・検討し、自己研鑽の場を継続することができた。また、地域包括支援センター主催の高齢者虐待防止等権利擁護研修会を開催し、虐待防止及び権利擁護の理解を促進した。	・事業所やサービス内容の紹介を兼ねてＳＮＳ等で事業所の様子や活動の様子を発信。それぞれの事業所の取組等が地域の方にわかるように情報発信した。 ・虐待防止研修として、虐待とは何かというところから、虐待の種別、虐待に関する法令についての研修と、ケーススタディを実施。職員一人ひとりの虐待防止への意識を高め、支援の質の向上を図った。 ・社会福祉協議会主催の市民後見人養成講座にて、すこやか福祉相談センターはちまん町が講師として講義を実施。講義を通して、成年後見制度の理解の促進を図った。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	ヴェルペンファルマ		
基本目標	３　地域の相談支援体制と生活支援の充実		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	包括的相談支援体制の充実
	○	２	一人ひとりのニーズに応じた支援の充実
	○	３	当事者による支援の充実
	○	４	障害福祉制度の周知・情報提供
	○	５	地域生活を支える支援の充実
	○	６	暮らしの場・居住支援の充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・ヴェルペンスマイルプレイスにて、ワンストップの相談支援体制を構築し、切れ目のない相談支援を行う。 ・支援を必要とする方に対し、適切な福祉支援に繋げられるよう相談員の質の向上を図る。 ・適切な事業所運営を行う。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・地域包括支援センターはちまん町で対応した高齢者の相談から、同居家族に障害が疑われるなどの問題が発見された際は、すこやか福祉相談センターはちまん町と協働し、世帯の支援を共に継続的に行っている。 ・世帯の支援が必要なケースについては、月1回開催されているケース会議等を活用し、適宜情報共有やケース検討を行った。 ・県や他市の相談援助に関する研修や、市内の相談支援情報共有会にも参加して、相談員同士の質の向上を図った。	・地域包括支援センターはちまん町で対応した高齢者の相談から、同居家族に障害が疑われるなどの問題が発見された際は、すこやか福祉相談センターはちまん町と協働している。訪問や来所相談等を共に行い、世帯の支援を継続的に行っている。 ・世帯の支援が必要なケースについては、月1回開催されているケース会議等を活用し、適宜情報共有やケース検討を継続的に行っている。 ・県や他市の相談援助に関する研修や、市内の相談支援情報共有会に参加した。研修等で相談員同士が適切な支援に繋げられるよう相談技術の向上を図った。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	ヴェルペンファルマ		
基本目標	４　共に学び育つ保育・療育・教育の充実		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	インクルーシブな保育の推進・インクルーシブ教育の推進に向けた基盤の整備
	○	２	療育・発達支援等の充実
	○	３	特別支援教育・教育環境の充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援の提供を行い、療育プログラムの充実を図る。 ・運動系療育では、ダンス、キネティック、フラダンス、サーキットトレーニング、リトミックを進めていく。 ・学習支援として、英語、プログラミング、宿題など確実に進めていく。 ・ソーシャルスキルトレーニングや上記レッスンなどを通して、社会性を身に着け、LST改善に寄与する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・放課後等デイサービスにおいて、【運動療法】と【学習療法】を選択できる特色を採用してきた。 ・【運動療法】においては、ダンスレッスンを基本とし、ライフキネティック・リトミック・フラッグ運動等を事業所の特色として打ち出す事ができ始めている。 ・【学習療法】では昨年に引き続き外部講師を入れた英語レッスン・プログラミングを始め、各事業所にて年齢に応じた多様なニーズに対し工夫をしながら自己肯定感を実感してもらう療育を継続的に行ってきた。 ・療育として事業所毎にレッスン等の行い方に違いがあった事もあり、準備や時間管理について実生活に直結する事柄をヴェルペンとしてどのように療育して行くか統一を図っている。 LST改善向上のため、これまでの経験から前年度よりもよい環境作りに着手し実行中。	・放課後等デイサービスや児童発達支援事業において『運動療育』としてのダンス療育、ライフキネティック、リトミックなどを実施するとともに、『学習療法』や『就労準備』など事業所により、その児童の課題やライフステージに合わせた支援を実施している。 ・ダンスやライフキネティックを通じて、身体機能や感覚機能の発達を図るとともに、集団での行動を通じて社会性の向上も図れるよう実施している。 ・学習療法として、引き続き英語レッスンやプログラミングなどを実施し、児童一人ひとりのストレングスや、やりたいことを活かせるような支援を実施している。 ・就労準備に向けたプログラムとして、パソコンでの作業や就労継続支援B型事業所との連携による支援を実施している。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	ヴェルペンファルマ		
基本目標	５　保健・医療の充実		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	健康づくりの推進
	○	２	こころの健康づくりの推進
	○	３	医療機関への受診に係る支援
	○	４	医療機関等と連携した地域移行・定着支援
	○	５	難病患者等への支援
	○	６	高次脳機能障害のある人への支援
	○	７	発達障害のある人への支援
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・ヴェルペンほかほか通信を発行し、食や栄養に関する情報発信を行う。 ・保健所や、保健センター保健師と連携を行い、心身の健康増進に向けた支援を行う。 ・個別の支援において、医療中断者を未然に防げるよう関係機関と連携をする。 ・専門性の高い相談内容に対し、相談者や利用者に不利益が生じないよう、活用できる制度等の情報を迅速に共有し、職員の知識を高める。 ・個別支援計画の策定と実行: 各個人に合わせた支援計画を作成し、その計画に基づいて教育やサポートを提供する。 ・専門家の支援: 言語療法士、心理士、特別支援教育の専門家など、必要な専門家の支援を適切に提供する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・毎月、管理栄養士が季節の食材のレシピや、その食材に含まれる栄養素についての説明などを手書きで発行している。また、食材の調理のポイントや健康推進に役立つ情報発信を行っている。 ・吾野、東吾野地区行政センターにて、血管年齢や体組成計チェック等の各種測定と健康相談等の相談会に、社会福祉協議会 コミュニティソーシャルワーカー、保健センター 保健師、地域包括支援センターはちまん町、すこやか福祉相談センターはちまん町が定期的に出席した。また、支援者連携会議を開催し、ケース検討や共有を密に行った。	・医療中断者や受診が必要な方に対して、保健センター保健師と共に定期的な訪問や来所面談を行い、切れ目のない支援を継続的に行っている。 ・市が定期的に実施しているGSV研修に参加し、専門性の高い相談内容を多様な視点で共有し、相談員の知識と技術を高めた。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	ヴェルペンファルマ		
基本目標	６　多様な就労への支援		
飯能市障害者計画施策	○	１	就労機会の確保・職場開拓・雇用促進
	○	２	働き続けるための支援
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・個人の能力に合わせた就労内容を提供し、実践的な内容を取り入れ一般就労に向けた支援を提供する。 ・支援できる作業内容を増やし、少しでも個々のニーズに合わせれるようにしていく。　・請負作業を増やし、やりがい、達成感を共有していく。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・施設外就労として、他施設の清掃業務を請け負わせていただけることとなった。事業所内の利用者様の能力値を確認し、施設外就労を支援内容に組み込んだ。清掃において自主的に動いたり、他の利用者様にうまく指示を出したりと作業を通じて成長が見られる。 ・文具の組み立てに取り組むようになり、今までの法人内作業にはない緊張感をもって作業に取り組むことができている。	・就労継続支援B型の事業所において、施設内就労及び施設外就労の拡充を図った。 施設外就労としては昨年度から引き続き清掃を実施する中で、利用者が率先して行うことができる環境を整備し、主体性を持って取り組めるよう図った。 ・施設内就労としては作業の種類を増やすことにより、利用者が飽きることなく自身ができることに取り組めるよう留意しつつ、作業の精度とスピードの向上を意識しながら取り組むことができている。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	ヴェルペンファルマ		
基本目標	７　文化芸術活動、スポーツ、余暇・レクリエーション活動への支援		
飯能市障害者計画施策	○	１	文化芸術活動、スポーツ・レクリエーション活動、生涯学習の充実
		２	地域活動支援センターの充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・ふれあいアート展、福祉スポーツ大会への参加をはじめ、地域交流を目的とした活躍の場を提供する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・3月1日、飯能市民会館・大ホールにて、ヴェルペン感謝祭を開催した。運動系、学習系問わず、全事業所が参加。日頃の療育の成果を披露する場として、一般のお客様や保護者にも観覧していただき、盛大に催された。また、ふれあいアート展にも参加し、工作物や絵画等の展示を行った。 ・3月29日、飯能春まつりにて、放課後等デイサービス事業所が参加。ステージイベントでダンスを披露した。また、高齢者施設にてオンライン形式で同様にダンスを披露し、地域との交流を図った。	・11月1日、飯能まつりにて、放課後等デイサービス事業所が参加。療育プログラムのダンスをステージイベントで披露し、日頃の活動を発表することができた。 ・3月14日に『ヴェルペン感謝祭』を飯能市民会館にて実施した。各事業所の特色を踏まえた参加を行い、来場された家族や関係者、地域の方々に日ごろ事業所で実施している事の成果を披露した。（ダンスレッスンの成果発表、工作物や制作物の展示など）		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	ヴェルペンファルマ		
基本目標	８　安心・安全で住みよいまちづくりの推進		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	防災対策・災害時支援体制の充実
	○	２	防犯体制の強化
	○	３	住みよいまちづくりの推進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・ヴェルペン防災Bookを発行し、疾患やライフステージに適した対策の情報発信をする。 ・防犯や消費生活のトラブルを未然に防げるよう啓発活動を行う。 ・地域で安心して暮らせるように相談支援を行う。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・災害時の食事の備えや、様々な状況に応じた食事管理について記載されたヴェルペン防災Bookを発行した。SNS等を活用し、地域のみならず、あらゆる方面で情報を発信している。 ・訪問、来所、電話、メール、LINE等で本人・家族・支援者からの相談を受けている。積極的なアウトリーチを行い、緊急時においても即座に他機関と連携を図り、安心できる相談支援を行っている。	・災害時の食事の備えや、様々な状況に応じた食事管理について記載されたヴェルペン防災Bookを継続的に発行している。SNS等を活用し、地域のみならず、あらゆる方面で情報を発信している。 ・各事業所においてBCP計画を策定の上、必要な飲料や食料備蓄を準備しており、非常災害時においても対応できるよう準備を行っている。 また、職員に対して非常災害などが発生した場合の対応などについて研修を行い、万が一の際にも冷静に行動ができるよう努めている。 ・訪問、来所、電話、メール、LINE等で本人・家族・支援者からの相談を受けている。緊急時においても即座に多機関と連携を図り、安心できる相談支援を継続的に行っている。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	こぱんはうすさくら飯能駅前教室		
基本目標	１　地域福祉意識の醸成と地域福祉力の向上		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	交流の機会の充実による福祉意識の醸成
	○	２	幼い頃から障害のある人等と交流し、障害を正しく理解できる環境づくり
		３	地域の福祉力の向上
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・地域の祭り(飯能祭り)等に参加し、地域との交流を深める。 ・飯能市の福祉スポーツ大会に参加し、障害について楽しみながら学ぶ機会を設けていく。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・飯能市の福祉スポーツ大会(ボッチャ等)に参加を行い、児童発達支援の児童・放課後デイサービスの利用者が参加し、様々な方と交流をすることができた。 ・飯能祭りの出し物やお囃子を見て飯能の文化を知ることができた。	・飯能市・飯能市以外の祭りの出し物を見に行ったり、お囃子を見たりと色々な市の文化を知ることができた。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	こぱんはうすさくら飯能駅前教室		
基本目標	２　障害者差別の解消と権利擁護の推進		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	障害者差別解消の取組の推進
	○	２	権利擁護に関する取組の推進
	○	３	情報の保障・支援の充実
	○	４	意思決定支援の推進
		５	虐待予防の徹底と虐待の早期発見・対応
		６	成年後見制度の利用促進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・会社で行う虐待防止の研修を元に事業所内での研修も実施する。 ・月に二回の児発管による研修を行い職員の能力向上を行う。 ・飯能市役所のこども支援課、所沢児童相談所と連携し虐待防止を行う。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・感染症・虐待防止・身体拘束に関する研修を定期的に行った。 ・月に二回以上、児発管による療育の研修等を行い職員のスキルアップを図った。 ・埼玉県の研修へ参加する職員もあり自発的な勉強をする職員もいた。	・感染症研修・虐待・身体拘束に関する研修を定期的に行った。 ・月に二回以上、児発管による療育の研修等を行い職員のスキルアップを図った。 ・埼玉県の研修へ参加する職員もあり、自発的な勉強をする職員もいた。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	こぱんはうすさくら飯能駅前教室		
基本目標	３　地域の相談支援体制と生活支援の充実		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	包括的相談支援体制の充実
	○	２	一人ひとりのニーズに応じた支援の充実
	○	３	当事者による支援の充実
	○	４	障害福祉制度の周知・情報提供
		５	地域生活を支える支援の充実
		６	暮らしの場・居住支援の充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・相談支援事業所との連携と事業所同士の連携に尽力し、本人に必要な支援を多方向からできるように協力体制を築く。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・各相談支援事業所と連携をとり、児童の悩みや保護者の悩みを共有し会議を定期的に行った。 ・新規児童等の連携を行い、他事業所とも連携を図りスムーズな利用につながるような支援を行った。	・新規児童等の連携を行い、他事業所とも連携を図りスムーズに利用がつながるような支援を行った。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	こぱんはうすさくら飯能駅前教室		
基本目標	４　共に学び育つ保育・療育・教育の充実		
飯能市 障害者計画 施策		１	インクルーシブな保育の推進・インクルーシブ教育の推進に向けた基盤の整備
	○	２	療育・発達支援等の充実
		３	特別支援教育・教育環境の充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・職員の研修を行うとともに、保護者を交えて事例検討を行い保護者の意見も交えつつ勉強会を行う。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・職員を支援級の学校授業に参加させ、支援級の環境や児童の様子を伺うと同時に教職員と話し合いを行い、良い児童の支援について共有事項を確認・検討した。	・職員を支援級の学校授業に参加させ、支援級の環境や児童の様子を伺うと同時に教職員と話し合いを行い、より良い児童の支援について共有事項を確認・検討をした。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	こぱんはうすさくら飯能駅前教室		
基本目標	７　文化芸術活動、スポーツ、余暇・レクリエーション活動への支援		
飯能市障害者計画施策	○	１	文化芸術活動、スポーツ・レクリエーション活動、生涯学習の充実
		２	地域活動支援センターの充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・飯能市の福祉スポーツ大会に、プログラムの一環として参加する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・飯能市で行っている福祉スポーツ大会(ボッチャ等)に、児童発達支援の児童・放課後デイサービスの児童が参加し、様々な方と交流をすることができた。	今回は、予定が合わず見送った。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	こぱんはうすさくら飯能駅前教室		
基本目標	８　安心・安全で住みよいまちづくりの推進		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	防災対策・災害時支援体制の充実
	○	２	防災対策・災害時支援体制の充実
		３	住みよいまちづくりの推進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・毎月、様々な設定をした避難訓練を実施し職員・児童共に災害時に備えた動きの練習を行う。 ・会議の際に大災害を想定した内容を話し合い、事前の動き等を把握することを行う。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・月に一回は、防災訓練をプログラムに組み込み、様々な状況を想定して行った。定期的に職員同士で避難経路の確認、災害時の避難場所を確認した。	・防災訓練を月に一回プログラムに組み込み、様々な状況を想定して行った。定期的に職員同士で避難経路の確認、災害時の避難場所を確認した。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	放課後等デイサービスエソラ		
基本目標	２　障害者差別の解消と権利擁護の推進		
飯能市 障害者計画 施策		１	障害者差別解消の取組の推進
		２	権利擁護に関する取組の推進
		３	情報の保障・支援の充実
		４	意思決定支援の推進
	○	５	虐待予防の徹底と虐待の早期発見・対応
		６	成年後見制度の利用促進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・学校や相談支援事業所、こども支援課、児童相談所と話をして児童や保護者の対応についてのルールや約束事などを決める。児童の様子を見守りながら注意していく。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・ルールや約束事を決めたが、細かい部分での抜け道やふわっとした感じで連絡をどうすれば良いか二度手間になったりしていた。 ・大きい事故はなかった。	・相談支援事業所や学校関係などの話を聞いて様子をみていたが、特に大きい事故や問題はなかった。	今までの約束事などを細分化してなるべく抜け道が無いようにしていく。市や県で決められたことをやっていく。	

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	放課後等デイサービスエソラ		
基本目標	３　地域の相談支援体制と生活支援の充実		
飯能市 障害者計画 施策		１	包括的相談支援体制の充実
	○	２	一人ひとりのニーズに応じた支援の充実
		３	当事者による支援の充実
		４	障害福祉制度の周知・情報提供
		５	地域生活を支える支援の充実
		６	暮らしの場・居住支援の充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・普段の面談以外でも保護者様から児童、学校での悩み事やご本人様の悩みなどを聞いて相談支援事業所、学校、教育センター、こども支援課と絡めて相談会議をしていく。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・特定の児童には学校と相談支援事業所と話し合ったりして解決できるところは解決していった。	・職員と保護者の信頼関係が前年よりも構築されてきたので、教育センターやこども支援課も交えて話をすることが増えてきた。 　また、保護者の方から悩みなどを打ち明けてくれることが増えてきた。事業所で話を聞き新たな気付きを得て帰られる姿も見られてきた。	・引き続き前年同様話を聞いて、少しでも保護者様の気持ちが軽くなるように周りの関係機関を含め解決していきたい。 　また、希望としては職員が学校に児童の様子を見に行ったり、担任の先生、主任、校長教頭先生と話をして児童の悩み事を共有して相談していきたい。	

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	放課後等デイサービスエソラ		
基本目標	４　共に学び育つ保育・療育・教育の充実		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	インクルーシブな保育の推進・インクルーシブ教育の推進に向けた基盤の整備
		２	療育・発達支援等の充実
		３	特別支援教育・教育環境の充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・小・中学校での学校会や運動会、児童が学校で表彰されたものが地域の展覧会に発表される際には職員も見学参加して事業所と学校の違いを見て成長の過程を見ていく。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・運動会、学校公開は日が重なることもあるので見に行ける小学校が限定されるが、参加することで保護者様がとても喜んでくれた。	・引き続き運動会や学校公開には参加できた。 ・児童を通して学校から行事ごとに参加しませんか？と誘われることもあった。少しづつ児童、保護者、学校からここの事業所は行事ごとに参加するということが浸透してきた。 　また、他の職員も参加することができた。	・このまま引き続き変わらず参加できる行事ごとには参加していく。	

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	放課後等デイサービスエソラ		
基本目標	７　文化芸術活動、スポーツ、余暇・レクリエーション活動への支援		
飯能市障害者計画施策	○	１	文化芸術活動、スポーツ・レクリエーション活動、生涯学習の充実
		２	地域活動支援センターの充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・一年に一度近所の百貨店で展示会があるので参加する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・活動時に児童が作った制作物を展示した。	・申込期限が過ぎたり児童が恥ずかしがることで、展示会に参加できなかった。	・児童の展示する物など予定を立てていたが、申込期限を勘違いをして期限に間に合わず参加できなかった。参加して展示した時に親御さんがとても喜んでいたので、今年もまたあると思うので期限に間に合うように準備をして参加したいと思う。	

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	放課後等デイサービスエソラ		
基本目標	８　安心・安全で住みよいまちづくりの推進		
飯能市 障害者計画 施策		１	防災対策・災害時支援体制の充実
	○	２	防災対策・災害時支援体制の充実
		３	住みよいまちづくりの推進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・１か月に１回避難訓練の活動内容を入れ事業所でのルールややり方を教えていく。 ・飯能市や他の防災・災害関連の研修や講習会に参加する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・職員が急に休むことが多かったので、当日避難訓練の活動ができない事があった。そのためー か月にー回できる事もあれば、二、三か月できない時もあった。 ・独自で動画を見て防災・災害時での研修はできたが、会場に行って参加することはできなかった	・職員が休むことでの避難訓練の活動の変更などは、前年より少なくなった。 ・児童も事業所でのルールや、やり方が浸透し始めてきた。 ・会場に参加することはまだできていないが、Zoomなどで参加することもあった。	・職員が休むことが無くなったのと、児童への浸透ができているので、車での移動手段を使って実際に避難する場所まで移動したり、災害の内容によって対応手段も変わるので、それを児童に伝えて浸透させていく。 ・防災・災害時関連の研修や講習会も会場に行く回数は増えてきているので引き続き参加していく。	

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	社会福祉法人おぶすま福祉会		
基本目標	１　地域福祉意識の醸成と地域福祉力の向上		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	交流の機会の充実による福祉意識の醸成
		２	幼い頃から障害のある人等と交流し、障害を正しく理解できる環境づくり
	○	３	地域の福祉力の向上
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・イベントを通して様々な方と交流することで、相互理解を深めていけるようにしていく。 ・社会福祉協議会が行うイベントに参加したりすることで連携を深めていく。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・地域のイベントに参加することで、地域の方と交流することができた。 ・市内の社会福祉法人地域公益活動等連絡会の事業に参加した。	・地域のイベントに参加し、ワークショップでは、ご利用者様が講師として伝えることで地域の方と交流することができた。 ・飯能市福祉スポーツ大会に参加した。 ・市内の社会福祉法人地域公益活動連絡会の事業に参加した。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	社会福祉法人おぶすま福祉会		
基本目標	２　障害者差別の解消と権利擁護の推進		
飯能市 障害者計画 施策		１	障害者差別解消の取組の推進
	○	２	権利擁護に関する取組の推進
		３	情報の保障・支援の充実
	○	４	意思決定支援の推進
	○	５	虐待予防の徹底と虐待の早期発見・対応
	○	６	成年後見制度の利用促進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・権利擁護の研修を職員が受け、施設内でも学び合いを行う。また、ご家族の方にも積極的に情報を提供していく。 ・意思決定の研修・実践・振り返りを職員間で行っていく。 ・埼玉県主催の虐待予防の研修に参加する。施設内で虐待防止の研修を行い学びあえる環境を作っていく。また、職員の行動の振り返りを常に行う。 ・成年後見制度について、所内での研修を積み重ねていく。可能であれば外部からの講師依頼を行う。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・埼玉県や飯能市主催の虐待防止・権利擁護研修に参加した。また、法人内で職員の行動の振り返りなどを行った。 ・意思決定の研修を所内で行い、日々の報告や職員会議の中で振り返りと実践を行っている。	・埼玉県や飯能市主催の虐待防止・権利擁護研修に参加し、全職員と共有した。 ・職員が自分の行動チェックを行った。 ・意思決定支援の研修を所内で行い、日々の報告や職員会議の中で振り返りと実践を引き続き行った。 ・相談支援事業所と連携して、面談時に成年後見制度の利用の説明を必要に応じて行った。		

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	社会福祉法人おぶすま福祉会		
基本目標	３　地域の相談支援体制と生活支援の充実		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	包括的相談支援体制の充実
	○	２	一人ひとりのニーズに応じた支援の充実
		３	当事者による支援の充実
	○	４	障害福祉制度の周知・情報提供
	○	５	地域生活を支える支援の充実
		６	暮らしの場・居住支援の充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・本人の希望や日常生活を把握することに努め、本人を取り巻く環境やつながりを見落とさないようにし、チームアプローチを大切にしていく。 ・本人やご家族に必要な情報を提供していく。 ・グループホーム空室を「入居体験」の場として提供する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・ご本人やご家族の困りごとを関係機関と連携することで改善することができた。 ・グループホームの空室を「入居体験」の場として提供することができた。	・関係機関との連携を図り、ご本人や家族の困りごとや課題となっている事の改善を行った。 ・成年後見制度の利用など必要な情報を提供することができた。 ・グループホームの空室を「入居体験」の場として提供することができた。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	社会福祉法人おぶすま福祉会		
基本目標	６　多様な就労への支援		
飯能市障害者計画施策	○	１	就労機会の確保・職場開拓・雇用促進
	○	２	働き続けるための支援
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・就労につながる様々な体験を行う機会を作ることで、個人の持っている力を伸ばせるようにしていく。 ・一般企業への就労に向けた支援だけでなく、作業工賃の向上を目指していく。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・官公庁から記念品等の発注が増え、作業能力や作業工賃の向上につながった。 ・作業製品をPRする機会に恵まれた。	・官公庁の記念品や店舗、個人の方などから家具や、小物等の発注があり作業能力や作業工賃の向上につながった。 ・埼玉県で開催された全国植樹祭の関連製品の製作を行い、作業製品をPRする機会に恵まれた。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	社会福祉法人おぶすま福祉会		
基本目標	７　文化芸術活動、スポーツ、余暇・レクリエーション活動への支援		
飯能市障害者計画施策	○	１	文化芸術活動、スポーツ・レクリエーション活動、生涯学習の充実
		２	地域活動支援センターの充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・所内でのアート活動で新たな才能を見つけていく。 ・イベントや飯能市スポーツ大会への参加で余暇を充実させていく。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・所内のアート活動を通して、絵を描くことを楽しめるようになった。また、新たな才能を見つけることができた。 ・所内のイベントで体を動かすなど余暇を楽しむことができた。	・所内でアートワークショップを継続して行うことで、作品作りを楽しめるようになっている。また、地域のイベントでのワークショップではご利用者様が講師として行うことができた。 ・飯能市福祉スポーツ大会に参加した。所内でも運動会を行った。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	社会福祉法人おぶすま福祉会		
基本目標	８　安心・安全で住みよいまちづくりの推進		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	防災対策・災害時支援体制の充実
		２	防災対策・災害時支援体制の充実
		３	住みよいまちづくりの推進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・消防訓練の実施やBCP計画の見直しを定期的に行い、体制を整えていく。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・年2回の消防署立ち合いの訓練だけでなく不定期に訓練を行い職員で情報を共有した。 ・BCP計画の見直しを行った。	・消防署立ち合いの消防訓練だけでなく、訓練の振り返りを職員で行った。 ・BCP計画の研修を受け、必要に応じて計画の見直しを行い職員で情報を共有した。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	医療法人財団良心会　キロロハイツ		
基本目標	１　地域福祉意識の醸成と地域福祉力の向上		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	交流の機会の充実による福祉意識の醸成
		２	幼い頃から障害のある人等と交流し、障害を正しく理解できる環境づくり
		３	地域の福祉力の向上
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・転居の予定があり、新たな地域の人々に理解を得られるように努力する。 ・地域住民の方に事業内容を理解してもらう。施設見学会を開催する。 ・地域連携会議の実施		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・新施設の地鎮祭、工事着工 ・地域連携会議についての説明会実施	・新施設が完成。 ・双柳町会長を訪問し、事業内容について説明。 ・双柳小学校長を訪問し、事業内容について説明。 ・地域住民に向けて、説明会・施設見学会を開催。 ・新施設への移転。 ・地域連携推進会議・施設見学会の開催。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	医療法人財団良心会　キロロハイツ		
基本目標	２　障害者差別の解消と権利擁護の推進		
飯能市 障害者計画 施策		１	障害者差別解消の取組の推進
		２	権利擁護に関する取組の推進
		３	情報の保障・支援の充実
	○	４	意思決定支援の推進
	○	５	虐待予防の徹底と虐待の早期発見・対応
		６	成年後見制度の利用促進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・意思決定研修への参加 ・虐待予防研修を毎月実施する		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・意思決定研修へ1名の職員が参加できた。 ・毎月、虐待予防研修を実施することができた。 ・法人が実施する虐待予防研修へも参加できている。	・意思決定研修へ１名の職員が参加した。 ・令和７年９月までは毎月虐待予防研修を実施したが、同年１０月以降はできていない。 ・法人が実施する虐待予防研修には職員全員が参加した。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	医療法人財団良心会　キロロハイツ		
基本目標	３　地域の相談支援体制と生活支援の充実		
飯能市 障害者計画 施策		１	包括的相談支援体制の充実
		２	一人ひとりのニーズに応じた支援の充実
		３	当事者による支援の充実
	○	４	障害福祉制度の周知・情報提供
	○	５	地域生活を支える支援の充実
	○	６	暮らしの場・居住支援の充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・可能な限り外部研修へも積極的に参加し、情報収集に努める。 ・飯能市と連携し緊急受け入れを充実して行く。 ・新キロロに移転後ショートステイ事業を開始予定		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・東京都から得られる情報も利用して情報収集はかなりできている。 ・3件の緊急受け入れを実施した。 ・新キロロ建設中	・３名の職員が外部研修に参加し、情報収集を行った。 ・１件の緊急受け入れを実施した。 ・新施設が完成し、移転が完了した。令和8年度、ショートスティ申請予定。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	医療法人財団良心会　キロロハイツ		
基本目標	５　保健・医療の充実		
飯能市 障害者計画 施策		１	健康づくりの推進
	○	２	こころの健康づくりの推進
	○	３	医療機関への受診に係る支援
	○	４	医療機関等と連携した地域移行・定着支援
		５	難病患者等への支援
		６	高次脳機能障害のある人への支援
		７	発達障害のある人への支援
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・飯能市の「こころの健康づくりの集い」実行委員会へ職員を派遣する。 ・初診は必ず同行し、必要に応じ受診同行をする。 ・医療機関と連携し、退院促進に協力をする。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・飯能市主催の「こころの健康づくり」に職員を1名参加させることができた。 ・受診同行はほぼできている。 ・ケア会議等に参加ができている。	・飯能市主催の「こころの健康づくり」の実行委員に職員１名を派遣した。 ・初診および緊急時・必要時の受診同行はできている。 ・病院主催の退院前カンファレンスに職員が参加した。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	医療法人財団良心会　キロロハイツ		
基本目標	６　多様な就労への支援		
飯能市障害者 計画施策	○	１	就労機会の確保・職場開拓・雇用促進
		２	働き続けるための支援
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・就労移行が利用できそうな入居者は積極的に移行して行く。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・B型へつなぐことはできたが、就労移行はいなかった。	・就労移行した入居者はいなかった。 ・現在休職中の入居者が、復職・再就職へ向けてリワークデイケアの利用を開始した。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	医療法人財団良心会　キロロハイツ		
基本目標	７　文化芸術活動、スポーツ、余暇・レクリエーション活動への支援		
飯能市障害者計画施策	○	１	文化芸術活動、スポーツ・レクリエーション活動、生涯学習の充実
		２	地域活動支援センターの充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・積極的に利用者に参加を促す。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・グループホームで主催した花見には参加される方がいたが、外部の催しには参加者がいなかった。	・グループホーム主催の花見会を行った。 ・外部の催しに参加した入居者はいなかった。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	医療法人財団良心会　キロロハイツ		
基本目標	８　安心・安全で住みよいまちづくりの推進		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	防災対策・災害時支援体制の充実
		２	防災対策・災害時支援体制の充実
		３	住みよいまちづくりの推進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・移転後の事も視野に入れ、体制強化を図る。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・非常食の入れ替えを実施した。 ・防災グッズの充実を図れた。	・非常食の入れ替えを実施し、移転後も入居者・職員分の非常食を確保している。 ・引き続き防災用品の充実を図った。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	くみちゃんハウス		
基本目標	１　地域福祉意識の醸成と地域福祉力の向上		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	交流の機会の充実による福祉意識の醸成
		２	幼い頃から障害のある人等と交流し、障害を正しく理解できる環境づくり
		３	地域の福祉力の向上
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・地域の方に参加をしていただけるお祭りの開催。 ・他の施設のイベント等への参加。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・10月5日(土)事業所にて秋祭りを開催。飯能市にある事業所の方に声掛けをさせていただき参加をしていただいた。また、ハウスに無いテントや椅子・テーブルを他の施設の方に貸していただくことができた。施設の利用が無い方にも参加をしていただいた。	・10月に秋祭りを開催。昨年同様で飯能市の事業所からテント等借りることができ、出店もしていただくことができた。多くの方に来ていただくことができた。 ・防災のイベントに参加。勉強になった。施設でできることは取り入れて行きたい。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	くみちゃんハウス		
基本目標	２　障害者差別の解消と権利擁護の推進		
飯能市 障害者計画 施策		１	障害者差別解消の取組の推進
		２	権利擁護に関する取組の推進
		３	情報の保障・支援の充実
		４	意思決定支援の推進
	○	５	虐待予防の徹底と虐待の早期発見・対応
		６	成年後見制度の利用促進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・研修をすることで、振り返りができるようにする。 ・虐待チェックシートを付ける。 ・見学や相談員の方たちが来ることで予防を兼ねる。 ・事業所間で内部監査を実施している。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・年2回、研修をすることで、振り返りができ、今後の支援方法を話し合うことができた。 ・虐待チェックをすることで自分の振り返りが月ごとにできた。 ・言葉遣い等では気づいた際に注意をすることができるようになったが、全員ができている訳ではないため、今後も周知して行きたい。	・今年度の研修は12月までに2回終了しており、令和8年飯能市の研修にも参加予定になっている。 ・事業所でもチェック表を用いて毎月確認をした。 ・多くの外部の方に来ていただくことで言葉遣い等、気を付けられるようにした。気づいた時に注意ができる環境づくりをしていく。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	くみちゃんハウス		
基本目標	３　地域の相談支援体制と生活支援の充実		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	包括的相談支援体制の充実
	○	２	一人ひとりのニーズに応じた支援の充実
		３	当事者による支援の充実
	○	４	障害福祉制度の周知・情報提供
		５	地域生活を支える支援の充実
		６	暮らしの場・居住支援の充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・必要に応じて面談をする。 ・電話やメール等でも相談対応をする。 ・相談によっては学校や保育園・幼稚園、他の事業所等との会議に参加する。 ・相談員の方に連絡をする。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・面談等必要に応じて対応をする事ができ、昨年より情報共有の場が増し、学校や保育園等との交流をする事ができた。 ・施設での面談時の際は、相談員の方と調整をして同席ができるようにした。	・利用者の様子や学校との情報共有の中で、必要に応じて面談を行うことができた。 ・昨年より学校・保育園・幼稚園の交流が多くできた。 ・面談時には相談員の方にも参加をしていただくことができた。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	くみちゃんハウス		
基本目標	４　共に学び育つ保育・療育・教育の充実		
飯能市 障害者計画 施策		１	インクルーシブな保育の推進・インクルーシブ教育の推進に向けた基盤の整備
	○	２	療育・発達支援等の充実
	○	３	特別支援教育・教育環境の充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・児童発達事業を利用している方の多くは保育園・幼稚園等併用されている方が多いため、情報共有が上手にできるように心掛ける。 ・就学されている方も同様で、支援会議等にできるだけ参加をさせていただき共有ができるようにする。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・状況に応じて保健センターに連絡を入れさせていただいたり、相談事業所に連絡したりと、できる範囲で上手に情報共有ができるようにした。 ・支援会議等に関しては、日程、時間調整をして参加をした。	・前年度より保育園・幼稚園との情報共有をすることが増え、より良い支援ができるように心掛けた。 ・相談員が主催の支援会議は日程を調整して参加した。また、事業所での面談は早めに連絡をさせていただき、相談員の方に参加をしていただけるように心掛けた。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	くみちゃんハウス		
基本目標	５　保健・医療の充実		
飯能市 障害者計画 施策		１	健康づくりの推進
		２	こころの健康づくりの推進
	○	３	医療機関への受診に係る支援
		４	医療機関等と連携した地域移行・定着支援
		５	難病患者等への支援
		６	高次脳機能障害のある人への支援
	○	７	発達障害のある人への支援
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・相談があった場合に情報をお伝えする。利用希望があった場合はご家族に確認をして医療機関に連絡を入れる。 ・相談内容によっては病院に受診同行する。 ・問い合わせの電話や見学の際にはじっくり話しを聞き必要に応じて相談先をお伝えする。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・相談時に病院の事や薬の話しをされる事が多くなっており、ご家族の様子で対応をした。 ・相談員が付いていない場合、必要に応じて同行をした。 ・見学に関しては、子どもさんの様子を見させていただきながら、ゆっくり話しを聞かせもらっている。必要に応じて他の相談場所を紹介することもあった。	・相談員の方や児相の方と一緒に対応をさせてもらった。児童の病院探しは大変で、スムーズに進めることは難しかった。 ・面談の中で本人ではない話もあり、情報収集をして返答したケースがあった。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	くみちゃんハウス		
基本目標	７　文化芸術活動、スポーツ、余暇・レクリエーション活動への支援		
飯能市障害者計画施策	○	１	文化芸術活動、スポーツ・レクリエーション活動、生涯学習の充実
		２	地域活動支援センターの充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・通所している方の希望があれば参加をしたり、情報をお伝えする。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・参加する事ができなかった。	・防災イベントに短い時間ではあったが、参加をさせていただいた。勉強になり、事業所でもできることがあればやってみたい。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	くみちゃんハウス		
基本目標	８　安心・安全で住みよいまちづくりの推進		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	防災対策・災害時支援体制の充実
		２	防災対策・災害時支援体制の充実
		３	住みよいまちづくりの推進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・BCPを作成し、研修を行う。 ・年2回避難訓練を行う。 ・避難場所の確認をするために、利用されている方たちと歩く練習をする。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・BCPの研修はスタッフの出勤経路・利用者の預かり等の話しを行ったが、通信が止まってしまったら施設を開所するのは難しいのではと時間内では終わらなかった。 ・5月と11月に訓練をしており、消火器の使い方実践も行った。 ・未就学児に関しては細目に訓練を行っており、避難場所まで歩く練習もしている。	・5月・11月に実践訓練を行った。児童発達の利用者に関しては他の月も行っており、放送の声や避難場所まで歩く練習を行った。 ・研修動画事業所とも契約を行い、研修がしっかりできる環境を整えた。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	相談支援こなた		
基本目標	１　地域福祉意識の醸成と地域福祉力の向上		
飯能市 障害者計画 施策		１	交流の機会の充実による福祉意識の醸成
		２	幼い頃から障害のある人等と交流し、障害を正しく理解できる環境づくり
	○	３	地域の福祉力の向上
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・当事者団体、家族団体、民間のボランティア団体及び市民サークルなど、フォーマル・インフォーマルを問わず、専門職としてつながり、必要に応じて連携をとる。 ・社会福祉協議会等の開催するイベントなどに同行し、本人とともに地域住民との交流を図る。 ・個人情報の取扱いに留意し、本人が主体的に地域住民と交流できるように配慮する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・手をつなぐ育成会の交流会に参加。 ・美杉台地区行政センターで行われたフライングディスク体験会に、当事者とともに参加。 ・飯能市家族支援事業『親ある今から考える』（研修）にファシリテーターとして参加。	・飯能市家族支援事業「親ある今だから知りたい後見活動」（研修）にファシリテーターとして参加。 ・市内のグループホームで行われる地域連携推進会議に出席。	（実施予定） ・当事者団体、家族団体、民間のボランティア団体及び市民サークルなど、フォーマル・インフォーマルを問わず、専門職としてつながり、必要に応じて連携をとる。	

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	相談支援こなた		
基本目標	２　障害者差別の解消と権利擁護の推進		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	障害者差別解消の取組の推進
	○	２	権利擁護に関する取組の推進
	○	３	情報の保障・支援の充実
	○	４	意思決定支援の推進
	○	５	虐待予防の徹底と虐待の早期発見・対応
	○	６	成年後見制度の利用促進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・障害を理由に差別されたり、情報の制約が起きたり、その特性から権利を行使することができない事態を防止し、関係機関や地域に対して働きかけていく。 ・障害のある人が主体的に意思決定していけるよう、情報提供をしていく。 ・虐待予防、早期発見に努め、グレーゾーンは虐待であるという認識を事業者に啓発していく。 ・社会福祉協議会や行政と連携をとり、成年後見利用の必要性がある利用者には活用を促進していく。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・行政その他からアナウンスされる情報を該当する利用者に情報提供した。 ・働きたい、アパートで暮らしたい、といった当たり前の希望を叶えられるよう、一般就労している利用者の支援や、居住支援のためのソーシャルワークを行った。	・行政その他からアナウンスされる情報を該当する利用者に情報提供した。 ・福祉サービスにとどまらず、一般就労先を探したり、アパート探しといった引っ越し支援を行った。 ・事業所内で虐待防止研修を実施した。	（実施予定） ・障害のある人がその人の権利を正当に行使し、主体的に意思決定していけるよう、情報提供をしていく。 ・虐待予防、早期発見に努め、グレーゾーンは虐待であるという認識を事業者に啓発していく。	

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	相談支援こなた		
基本目標	３　地域の相談支援体制と生活支援の充実		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	包括的相談支援体制の充実
	○	２	一人ひとりのニーズに応じた支援の充実
		３	当事者による支援の充実
		４	障害福祉制度の周知・情報提供
	○	５	地域生活を支える支援の充実
		６	暮らしの場・居住支援の充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・障害のある人を地域で暮らす生活者の一人ととらえ、ニーズに対応するためにフォーマル・インフォーマルを問わず社会資源を活用していく。 ・行政手続きや、医療、その他社会サービスの活用において、障害を理由として利用が制限される事の無いようにサポートしていく。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・受診同行、行政手続きの同行、携帯ショップへの同行など、福祉サービスの同行支援ではまかなえない部分において、相談職として同行し、必要に応じて代弁を行った。 ・障害特性や性格など、一人ひとり抱える課題や生きづらさは異なり、詳細なアセスメントの元で個別のソーシャルワークを行うよう努めた。	・刑余者に対し、弁護士や保護観察官などと連携を取って支援を行った。 ・利用者の特性や希望に応じ、ご本人が生きやすい環境を地域にこだわらずに探した。 ・一人暮らしの利用者に対し、インフォーマルな集いの場所を紹介、同行した。	（実施予定） 障害のある人を地域で暮らす生活者の一人ととらえ、ニーズに対応するためにフォーマル・インフォーマルを問わず社会資源を活用していく。	

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	相談支援こなた		
基本目標	４　共に学び育つ保育・療育・教育の充実		
飯能市 障害者計画 施策		１	インクルーシブな保育の推進・インクルーシブ教育の推進に向けた基盤の整備
	○	２	療育・発達支援等の充実
		３	特別支援教育・教育環境の充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・特別支援学校や、地域の特別支援学級などに通う障害のある子供たちが、適切に学習・療育を受けられるように、学校、保護者、放課後等デイサービスや児童発達支援事業所と連携をとり、支援方針をチームで決定していく。 ・未就学の子が小学校に進学する際に、最もその子らしくいられる適切な教育環境を模索し、本人及び家族が自己決定していけるように支援する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・就学支援について、特別支援学校や市の教育センターと連携し、対象となる児童生徒の転学をサポートした。 ・就学環境の変化は本人及び家族にとっても、ストレスになることから、定期的に家庭訪問をし、保育所等訪問を活用して学校とも連携をとった。	・障害福祉サービス事業者だけでなく、医療機関、特別支援学校、支援学級の担任や管理職と連携をとった ・家庭の支援が必要な事案については、保健センター、教育センターと連携をとった。	（実施予定） ・学校、保護者、放課後等デイサービスや児童発達支援事業所と連携をとり、支援方針をチームで決定していく。	

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	相談支援こなた		
基本目標	５　保健・医療の充実		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	健康づくりの推進
	○	２	こころの健康づくりの推進
		３	医療機関への受診に係る支援
	○	４	医療機関等と連携した地域移行・定着支援
		５	難病患者等への支援
		６	高次脳機能障害のある人への支援
	○	７	発達障害のある人への支援
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・一般相談支援事業（地域移行）を実施し、年間２名以上の退院退所支援を行う。 ・保健センターと協働し、精神的にサポートの必要な利用者又は家族をチームで支援していく。 ・難病、高次脳、発達障害など、障害疾病の種別にこだわらず、相談支援を必要としている利用者にサービスを提供する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・一般相談支援事業（地域移行）では、令和６年度は２名の方を支援し退院につなげることができた。 ・相談支援の利用者の家族支援について、保健センターと協働して家庭訪問を行ったり、面談を実施した。	・一般相談支援事業では令和７年度は１名を支援し、退院につなげることができた。退院後の生活支援については計画相談にて引継ぎ、再入院や転居などの支援を行った。 ・「令和７年度子どもの心の問題に関する研修会」狭山保健所主催の研修に参加した。	（実施予定） ・一般相談支援事業（地域移行）では年間２名程度の退院退所支援を行う。	

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	相談支援こなた		
基本目標	６　多様な就労への支援		
飯能市障害者計画施策	○	１	就労機会の確保・職場開拓・雇用促進
	○	２	働き続けるための支援
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・就労継続支援B型、就労移行支援、就労定着支援、一般就労など、障害のある人がどこでどのように働いていきたいか、個別の相談に応じ、ニーズに沿った就労支援を行う。 ・一人ひとりの働き方が継続していけるように、相談に応じ雇用先とも連携を図る。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・利用者の個別のニーズに応じ、就労先を開拓し、見学、体験の調整、面接の同席、就労開始後の定期モニタリングなどを実施した。 ・近隣において新たに障害者雇用を開始する企業の見学に行った。	・個別のニーズに応じ、本人にあった就労先を共に探し、就労先との連携に努めた。就労開始後の定期モニタリングも実施し、就労が継続していくよう支援した。	（実施予定） ・就労先の開拓を行い、事業所、雇用先との連携を深める。	

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	相談支援こなた		
基本目標	７　文化芸術活動、スポーツ、余暇・レクリエーション活動への支援		
飯能市障害者計画施策	○	１	文化芸術活動、スポーツ・レクリエーション活動、生涯学習の充実
		２	地域活動支援センターの充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・芸術活動を得意とする人に、市内外で開催される作品展等の情報提供を行う。 ・書道や絵画、音楽などを学びたい人に対しても活動場所を開拓、情報提供、同行支援などを行う。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・飯能市で行われるふれあいアート展や、企業が開催する作品展などの情報提供を行った。	・ふれあいアート展に個人として利用者の作品が展示できるよう情報提供を行った。 ・強度行動障害のある利用者について、本人の活動がアートとして昇華できないか、施設従事者と検討をした。 ・公共運動施設についての情報提供を行った。	（実施予定） ・レクリエーション活動や余暇活動が充実していくように、利用者の所属する事業所にも働きかけていく。	

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	コペルプラス飯能教室		
基本目標	１　地域福祉意識の醸成と地域福祉力の向上		
飯能市 障害者計画 施策		１	交流の機会の充実による福祉意識の醸成
	○	２	幼い頃から障害のある人等と交流し、障害を正しく理解できる環境づくり
		３	地域の福祉力の向上
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・ご利用者様が通われている幼稚園、保育園等へ訪問し、情報共有を行い、支援の統一を図る。 ・先生方へ障害特性の理解や関わり方について必要に応じてアドバイスを行う。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・ご利用者様の通われている園（さゆり幼稚園、大東幼稚園、加治幼稚園、すぎのこ保育園）へ訪問し、情報共有を行った。 ・事業所の周知のため、市内の子育て支援拠点の事業所（どんぐりルーム、のびのび～の、ひなたぼっこ、にこにこひろば、ゆりかご、いるかひろば）へ訪問し、事業所のパンフレットや相談会のチラシをお渡しし、療育内容などをお伝えした。	・ご利用者様の通われている園（さゆり幼稚園、加治幼稚園）へ訪問し、情報共有を行った。 ・事業所の周知のため、事業所にて未就園児を対象とした体験イベントを開催した。 ・ 市内の子育て支援拠点の事業所（どんぐりルーム、のびのび～の、ひなたぼっこ、にこにこひろば、ゆりかご、いるかひろば）へ訪問し、事業所のパンフレットや体験イベントのチラシをお渡しし、療育内容などをお伝えした。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	コペルプラス飯能教室		
基本目標	２　障害者差別の解消と権利擁護の推進		
飯能市 障害者計画 施策		１	障害者差別解消の取組の推進
		２	権利擁護に関する取組の推進
		３	情報の保障・支援の充実
		４	意思決定支援の推進
	○	５	虐待予防の徹底と虐待の早期発見・対応
		６	成年後見制度の利用促進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・虐待の早期発見に向け、日頃から相談支援専門員等とご利用者様やそのご家族の状況をこまめに情報共有する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・個別支援計画書の更新ごとに相談支援事業所と計画書を共有した。 ・セルフプランのご利用者様には、相談支援事業所が入ることのメリットをお伝えした。 ・保護者様とのやり取りの中で必要と思われる内容は、相談支援専門員と情報共有を図った。	・個別支援計画書の更新ごとに相談支援事業所と計画書を共有した。 ・セルフプランのご利用者様には、相談支援事業所が入ることのメリットをお伝えした。 ・保護者様とのやり取りの中で必要と思われる内容は、相談支援専門員と情報共有を図った。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	コペルプラス飯能教室		
基本目標	３　地域の相談支援体制と生活支援の充実		
飯能市 障害者計画 施策		１	包括的相談支援体制の充実
		２	一人ひとりのニーズに応じた支援の充実
	○	３	当事者による支援の充実
		４	障害福祉制度の周知・情報提供
		５	地域生活を支える支援の充実
		６	暮らしの場・居住支援の充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・事業所内でペアレントトレーニングを行うなど、保護者同士の交流が持てる場を設定する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・ペアレントトレーニング等、保護者同士の交流の場は設定できていない。 ・同じ悩みを持つ保護者様同士が話せる場を指導員が間に入りながら設定した。	・ペアレントトレーニング等、保護者同士の交流の場は設定できていない。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	コペルプラス飯能教室		
基本目標	４　共に学び育つ保育・療育・教育の充実		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	インクルーシブな保育の推進・インクルーシブ教育の推進に向けた基盤の整備
	○	２	療育・発達支援等の充実
		３	特別支援教育・教育環境の充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・ご利用者様が通われている幼稚園、保育園、小学校等へ訪問し、情報共有を行い、支援の統一を図る。 ・保護者様向けにペアレントトレーニングを実施する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・ご利用者様の通われている園（さゆり幼稚園、大東幼稚園、加治幼稚園、すぎのこ保育園）へ訪問し、情報共有を行った。 ・ペアレントトレーニングは未実施。	・ご利用者様の通われている園（さゆり幼稚園、加治幼稚園）へ訪問し、情報共有を行った。 ・ペアレントトレーニングは未実施。 ・保護者様からの悩みごとなどを傾聴し、ご家庭での対応方法をお伝えしたり、保育所等訪問支援サービスや関係機関連携など事業所の内外で可能なサービスについても周知を行った。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	コペルプラス飯能教室		
基本目標	５　保健・医療の充実		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	健康づくりの推進
		２	こころの健康づくりの推進
		３	医療機関への受診に係る支援
		４	医療機関等と連携した地域移行・定着支援
		５	難病患者等への支援
		６	高次脳機能障害のある人への支援
		７	発達障害のある人への支援
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・１歳半検診、３歳児検診での早期療育に繋げるため、保健センター等に事業所の情報提供を行い、連携を図る。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・保健センターを訪問し、事業所のパンフレットや相談会のチラシをお渡しし、療育内容などをお伝えした。	・保健センター、市役所、子育て支援拠点事業所、すこやか福祉相談センターを訪問し、事業所のパンフレットや体験イベントのチラシをお渡しし、療育内容などをお伝えした。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	コペルプラス飯能教室		
基本目標	７　文化芸術活動、スポーツ、余暇・レクリエーション活動への支援		
飯能市障害者計画施策	○	１	文化芸術活動、スポーツ・レクリエーション活動、生涯学習の充実
		２	地域活動支援センターの充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・ご利用者様へ文化芸術活動や、スポーツ・レクリエーション活動等の情報提供を行う。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・県や市、他事業所などからの文化芸術活動や、スポーツ・レクリエーション活動のチラシなどを事業所に掲示し、周知を行った。	・県や市、他事業所などからの文化芸術活動や、スポーツ・レクリエーション活動のチラシなどを事業所に掲示し、周知を行った。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	コペルプラス飯能教室		
基本目標	８　安心・安全で住みよいまちづくりの推進		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	防災対策・災害時支援体制の充実
		２	防災対策・災害時支援体制の充実
		３	住みよいまちづくりの推進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・地域（事業所の入っているマンション）で行う防災訓練に参加する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・未実施。	・事業所の避難訓練にマンションの管理人さんに参加いただいた。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	就労継続支援事業所にこにこハウス		
基本目標	１　地域福祉意識の醸成と地域福祉力の向上		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	交流の機会の充実による福祉意識の醸成
		２	幼い頃から障害のある人等と交流し、障害を正しく理解できる環境づくり
	○	３	地域の福祉力の向上
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・来店されるお客様との会話で障がいの事を理解してもらう。 ・市の行事、商店街行事に参加してにこにこハウスの事業の理解度を広げる。 ・社会福祉協議会の「彩の国ボランティア」を受入れ、理解を広げる。 ・困難な問題を抱えるお客様の相談に応じアドバイスをしていく。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・市の行事、商店街行事に参加する。 (飯能まつり、ハローチップ交換会などに参加した。） ・ボランティアを受入れる。 （社協の彩の国ボランティア体験を受け入れた。） ・行政、関係機関との情報交換を密にする。 （行政、相談支援センターなど利用者さんの個別問題で連絡を取り合った。） ・民生委員さんとの情報交換を進める。 （民生委員さんの会合で利用者が体験発表した。） （民生委員さんが研修の中でにこにこハウスに来てくださり交流した。） （お客様からの相談があった時、関係機関につなげた。）	・市の行事「こころの健康づくり研修会」、商店街行事「ひな飾り展」、「ハローチップ交換会」に参加した。 (飯能まつり、ハローチップ交換会などに参加した。） ・ボランティアを受入れた。 （社協の彩の国ボランティア体験6名を受け入れた。） ・重層案件、緊急時案（事故）行政、関係機関との情報交換を行った。 （行政、相談支援センターなど利用者さんの個別問題で連絡を取り合った。） ・民生委員さんとの情報交換を進めた。 （民生委員さんの会合でお弁当を配達しながら利用者が体験発表した。） （民生委員さんが研修の中でにこにこハウスに来てくださり交流した。） （お客様からの相談があった時、関係機関につなげた。）		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ（○）：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	就労継続支援事業所にこにこハウス		
基本目標	２　障害者差別の解消と権利擁護の推進		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	障害者差別解消の取組の推進
	○	２	権利擁護に関する取組の推進
	○	３	情報の保障・支援の充実
		４	意思決定支援の推進
	○	５	虐待予防の徹底と虐待の早期発見・対応
		６	成年後見制度の利用促進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・職員会議の定期開催。 ・職員研修への参加。 ・職員会議の適時開催。 ・独居の利用者さんの食生活や孤独感を緩和するため土曜日を開所する。 ・虐待防止を図るため職員間の情報を密にする。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・職員間の意思疎通を図る。 (定期的に職員会議を開き情報の共有化を図るとともにその都度連絡をしあった。） ・職員研修への参加。 （行政の開催する虐待防止研修に参加した。） ・土曜日をオープンスペースとして開所する。 （毎土曜日を開所し、利用者さんの健康維持に取り組んだ。） ・虐待防止を図るため職員間の情報を密にする。	・定期的な職員会議を開き、利用者の状況、普段の業務、課題、職員が困っている、悩んでいる事等、職員が抱え込まないよう、共有化を図るようにした。忙しい時には、時間が短い中でのミーティングも開いた。 ・行政が開催する虐待防止研修（オンライン研修）を受けた職員が、職員会議で伝えて共有した。また、おいでよハウス藤島先生にお願いして、年間で３回、職員のみ及び利用者を含めた研修（ワークショップ）を行った。 ・土曜日のフリースペースは誰でも参加できるようにし、単身者、また、普段営業をしていて時間が取れない人の面談や、仲間同士で悩みをのんびりと話せる場にしてた。カラオケセットを利用者の方も持ってきてくれ、楽しく過ごすこともできた。 ・虐待案件では、精神的な苦痛を与えていないか？職員の言動には、管理者、または、お店、アトリエ責任者が、注意を払ってきた。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ（○）：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	就労継続支援事業所にこにこハウス		
基本目標	３　地域の相談支援体制と生活支援の充実		
飯能市 障害者計画 施策		１	包括的相談支援体制の充実
	○	２	一人ひとりのニーズに応じた支援の充実
	○	３	当事者による支援の充実
	○	４	障害福祉制度の周知・情報提供
	○	５	地域生活を支える支援の充実
	○	６	暮らしの場・居住支援の充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・利用者さんとの個別面談により、ニーズをつかむ。 ・職員会議の充実。 ・お客様、相談者の対応による情報把握。 ・にこにこハウスのお店、アトリエ部門の充実。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・利用者一人ひとりとの相談を図っていく。 （課題を抱えた利用者さんの相談に応じ、関係機関と連携して対応を考えた。） ・法制度、社会情勢の変化、情報をキャッチして職員間の意思疎通を図る。 （県や市の情報を会議のほかにもその都度職員間で共有した。） ・お客様、相談者の見学、体験。 （食事のお客様、相談者にもその都度話を聞いたり、施設内の見学を行った。）	・利用者の悩みに関しては、常に話を傾聴し、相談を図る努力をした。かなり、困難な状況になった利用者に関しては、計画相談者や関係機関の職員さんと連携し、なるべくご本人、ご家族同席の話し合いをした。 ・法制度、社会情勢の変化等の情報のキャッチは、小さな単体事業所のために、弱い部分があり、今後の課題である。市の会議等にも、なかなか参加できないのが悩みである。 ・お客様、見学、体験の方々への対応の中で、にこにこハウスの中では難しい場合は、他の関係機関に繋ぐよう努力した。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ（○）：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	就労継続支援事業所にこにこハウス		
基本目標	５　保健・医療の充実		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	健康づくりの推進
		２	こころの健康づくりの推進
	○	３	医療機関への受診に係る支援
		４	医療機関等と連携した地域移行・定着支援
		５	難病患者等への支援
	○	６	高次脳機能障害のある人への支援
		７	発達障害のある人への支援
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・研修への参加。 ・必要に応じ病院同行。 ・時間をかけてできることから作業をする。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・研修への参加。 （社会福祉協議会、市の研修には必ず職員だけでなく希望する利用者さんも参加した。） ・必要に応じ病院同行。 （医師とのコミュニケーションの難しい利用者さんには病院同行をした。） ・時間をかけてできることから作業をする。 （利用者さんの障害特性に応じ職員、利用者さん同士で作業を分担した。）	・研修への参加は、こころの健康づくり（保健センター主催）に、職員、希望する利用者と一緒に参加した。にこにこハウス内の研修では、出前講座、おいでよハウス藤島先生のワークショップを２回（一回は、全体、２回目は、職員のみ）開催してもらい、楽しく研修を受けることができた。 ・病院同行については、必要な時に、計画相談者と一緒に同行することも多かった。（訪問看護職員と一緒に同行受診もした） ・高次機能障害の利用者さんが３名登録されている。その方の特性にあわせて、ゆっくりと、その方が望む作業ができるよう寄り添う支援をした。例、レジ打ちを一緒にする。手が震える方へは、ちぎり絵アートを作成してもらい、店内に展示する等、工夫した。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ（○）：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	就労継続支援事業所にこにこハウス	
基本目標	６　多様な就労への支援	
飯能市障害者計画施策	１	就労機会の確保・職場開拓・雇用促進
	２	働き続けるための支援
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・一般就労を目指すように支援する。 ・関係事業所との連携強化。 ・バランスの取れた食事、個別支援計画による定期的通所により体のリズムを整え体力を作る。	

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・関係事業所との連携強化。 （就労支援センター、計画相談者と連携して、希望者は就労につなげた。就労後は定期的に卒業生の会を開き、交流を図っている。） （にこにこハウスに食事に来た時には、あたたかく迎え入れている。） ・バランスの取れた食事、個別支援計画による定期的通所により体のリズムを整え体力を作る。 （レストランという利点を生かし、バランスの取れた昼食の提供を行うなど利用者さんの健康維持に努めた。）	・関係事業所との連携強化 令和６年度から３名の就職者がでて、３名の卒業生と、定期的に集まり、状況、悩みを話す場を提供した。（ピアサポート的に）就職先で、友達を作るのが難しい人もいて、にこにこランチを食べにくることで、以前の仲間やお客様と交流できることが、励みになっている卒業生もいる。７年度も、一般就労した利用者もいて、遠くから見守っている。時々、ランチに立ち寄り、話を聞くこともした。 ・就職者だけでなく、にこにこハウスを利用する方々が、薬だけに頼るのでなく、栄養を一日一回しっかり取り、規則正しい生活ができるよう見守ってきた。なかなか、定期的通所が継続できない利用者に関しては、訪問支援を取り入れた。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ（○）：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	就労継続支援事業所にこにこハウス		
基本目標	７　文化芸術活動、スポーツ、余暇・レクリエーション活動への支援		
飯能市障害者計画施策	○	１	文化芸術活動、スポーツ・レクリエーション活動、生涯学習の充実
		２	地域活動支援センターの充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・スポーツ大会への参加。 ・行政、商店街の行事参加。 ・土曜日、休日を利用したプログラムにより、孤立化を防止する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・飯能市福祉スポーツ大会への参加。 （福祉スポーツ大会に参加した。） ・飯能まつり、商店街行事に参加。 （にこにこハウスでお店は出さなかったが、希望者とともにお祭りを楽しんだ。） （飯能市ハニーズ主催の姉妹都市ブレア市の訪問時に、ここ数年にこにこハウスに来店してもらい交流を深めている。） ・エクアドルの子どものための友人の会（SANE)の奨学生事業でエクアドルの高校生との文通を継続する。 （エクアドルの高校生と文通を継続し、毎月手紙を書いた。飯能や日本の文化、にこにこハウスの様子などを写真にして送った。）	・飯能市スポーツ大会（社協）は毎年、多くの利用者が参加して、楽しく一日を過ごすことができた。 ・秋の飯能祭りは、二日間自由参加であったが、７名くらいで周り、大いに祭りを楽しんで交流もできた。 ・令和７年度は、ブレア市訪問はなかったので、残念ながら、交流はできなかった。 ・サネ（エクアドルのこどもを支援する会）とは、毎月一回の手紙での交流を奨学生としてきている。ミーティング時にその手紙を毎回読んでもらい、異文化交流を楽しむ機会となっている。 ・市主催のアート展示では、アトリエの作品や、多くの利用者が絵手紙作品を出したりして、その都度、主に市民活動センターでの展示会には、みんなで観にいくようにした。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ（○）：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	就労継続支援事業所にこにこハウス		
基本目標	８　安心・安全で住みよいまちづくりの推進		
飯能市 障害者計画 施策		１	防災対策・災害時支援体制の充実
		２	防災対策・災害時支援体制の充実
	○	３	住みよいまちづくりの推進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・多くの食材を地域商店街から購入し地域の活性化に努める。 ・「飯能まつり」、ウォーキングなど市の行事に参加し、共生社会を推進。 ・「雛飾り展」、抽選会など商店街行事に参加し、地域の活動に参加。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・食材の購入。 （魚、肉、野菜、お米は商店街さんから購入している。） ・飯能まつりに参加。 （利用者さんとともに楽しんだ。） ・ウォーキングに参加。 （希望者とともにツーデーマーチに参加した。） ・「雛飾り展」に参加。 （飯能市商工会に参加、文化新聞にも掲載された。） ・銀座通り商店街抽選会に参加。 （商店街から購入する金額も多いのでハローチップで抽選会にも毎回参加してきた。）	・食材の購入。 お店では、主となる食材は、商店街や小売店から仕入れた。また、店内で販売している野菜、こんにゃく、その他の販売品も、市内外の農家さんや、福祉事業所から取り寄せた。ボランティアの方から、農作物も常に寄付して頂いている。小さな交流が継続されている。 ・ツーデーマーチは、令和７年度は、体調不良の方も多く参加できなかったが、飯能まつりは、７名くらいの方が参加して、大いに歩き、楽しんだ。飯能のぬくもりを感じたよいイベント参加だった。 ・雛飾り展は、毎年参加して、飯能市外からのお客様にも来ていただいた。 ・３か月に一度の商店街抽選会（ハローチップ）は多くの市民の方と共に並んで、昔懐かしいガラガラを回して楽しんだ。 ・令和7年度は、特に、高齢者の一人暮らしの方へのにこにこランチ仕出しの配達が増えた。同居していないご家族からの依頼も増えてきていて、地域の中で福祉レストランで働く障がいのある利用者の方々の暖かいお手紙や配達する利用者と職員が、一軒一軒配達をして、野菜をお届けする方もいらして、自宅で待っていてくれる光景がある。小さな交流だが、住みよい街づくりの一端を福祉レストランの利用者さんが担っていると感じる。そこは、今後も切な役割と感じる。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ（○）：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	特定非営利活動法人ぬくもり福祉会たんぽぽ		
基本目標	１　地域福祉意識の醸成と地域福祉力の向上		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	交流の機会の充実による福祉意識の醸成
		２	幼い頃から障害のある人等と交流し、障害を正しく理解できる環境づくり
	○	３	地域の福祉力の向上
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・市ホームページ、講演会やイベントの際に広報し、相談できる場所として知ってもらう。 ・社会福祉協議会や民生委員児童委員等と連携する。 ・個別相談の中で障害のある人が気軽に参加できる場所を紹介する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・「障害児支援・教育との連携部会」で、すこやか福祉相談センターの案内をした。保健センターやこども支援課、生活福祉課、地域包括支援センターなどからの紹介もあり、相談できる場所として認知されてきていると思う。 ・個別ケースで社会福祉協議会のコミュニティソーシャルワーカーや民生委員児童委員とも情報共有や協働をしている。 ・フードパントリーの利用の際に安否確認をするなど、地域で生活する障害者を一緒に生活する住民としての視点から意見をいただいている。 ・障害のある方との面談の際に地域の居場所として「寄ってケア」「名栗園ふれあい広場」「市民活動センター」等を紹介することがある。見学や利用の際には同行するなど行きやすい場所となるように支援している。	・協議会専門部会に参加し（障害児支援・教育との連携部会は事務局）、参加者との交流、意見交換を行った。 ・手をつなぐ育成会に年3回訪問し、社会資源の共有や相談につながりやすい体制をつくってた。 ・中央地区、富士見地区の地域の話し合う会に参加し、地域の方や社会福祉協議会のCSW、地域包括と話し合いを行った。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	特定非営利活動法人ぬくもり福祉会たんぽぽ		
基本目標	２　障害者差別の解消と権利擁護の推進		
飯能市 障害者計画 施策		１	障害者差別解消の取組の推進
	○	２	権利擁護に関する取組の推進
	○	３	情報の保障・支援の充実
	○	４	意思決定支援の推進
	○	５	虐待予防の徹底と虐待の早期発見・対応
	○	６	成年後見制度の利用促進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・障害福祉課、指定特定相談支援事業所、すこやか福祉相談センター等の関係機関と連携を図りながら、ホームヘルプサービスを提供する。 ・訪問介護員対象の法人内研修を概ね毎月開催し、支援の質の向上を図る。 ・サービス提供責任者主宰による利用者等の情報共有、援助技術向上を目的としたヘルパー会議を毎月行う。 ・外部研修に積極的に参加し、研鑽に努める。 ・個別の関わりから事案を収集、差別解消や権利擁護、障害者虐待予防について研修に参加し、研鑽に努める。 ・障害のある方にも分かりやすく情報提供できるよう配慮する。 ・障害のある人等が自己決定できるように寄り添った相談支援を実施する。 ・関係機関と連携し、後見活動を推進する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・障害福祉課、すこやか福祉相談センター等の関係機関と連携を図りながら、ホームヘルプサービスを提供できた。 ・訪問介護員対象の法人内研修を毎月開催した。 ・サービス提供責任者主宰による利用者の情報共有、援助技術向上を目的とした会議を毎月、行った。 ・外部研修にも積極的に参加した。 ・個別の関わりから虐待が疑われる事案や権利擁護に関わることは障害福祉課や関係機関に報告、支援会議のなかで支援方針を検討している。 ・障害のある方にも分かりやすい表現や本人の特性を理解して情報提供するように心がけている。 ・成年後見制度の利用が必要な方には本人、家族に制度の案内や説明を行っている。 ・自己決定に必要となる情報を丁寧に説明し、本人が納得した選択肢を選べるように心がけている。	（訪問介護） ・各関係機関と連携を図りながらサービスを提供できた。 ・毎月、サービス提供責任者主催の研修を行い、サービスの質の向上に努めた。 ・積極的に外部研修にも参加した。 （すこやか福祉相談センター） ・個別の関わりから虐待が疑われる事案や権利擁護に関わることは障害福祉課や関係機関に報告、支援会議等で支援方針を検討して支援した。 ・成年後見制度の利用が必要な方に制度の案内や説明、相談会に同行する等の支援を行った。 ・自己決定に必要となる情報を丁寧に説明し、本人が納得した選択肢を選べるように心がけた。 （計画） ・支援者向け後見研修に参加し、将来的に成年後見制度の利用を考えている方への相談支援に活かした。 ・外部研修への参加、連携している事業所との事例共有により研鑽に努めた。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	特定非営利活動法人ぬくもり福祉会たんぽぽ		
基本目標	３　地域の相談支援体制と生活支援の充実		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	包括的相談支援体制の充実
	○	２	一人ひとりのニーズに応じた支援の充実
		３	当事者による支援の充実
	○	４	障害福祉制度の周知・情報提供
	○	５	地域生活を支える支援の充実
	○	６	暮らしの場・居住支援の充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・生涯学習活動への参加が困難な障害者（児）に対して、移動支援事業、生活サポートを提供し、その活動を支援する。 ・虐待防止についての研修に参加し、必要な知識の習得、周知を図る。 ・コミュニティソーシャルワーカーや保健センター、教育センターなど多機関と連携して複雑化した課題に取り組み、伴走型の支援を実施する。 ・様々なライフステージに応じた相談支援に取り組む。 ・地域の多様な居場所や社会資源との繋がりを支援する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・生涯学習活動への参加が困難な障害者（児）に対して、移動支援事業、生活サポートを提供した。 ・虐待防止についての研修に参加し、個々にチェックリストを行いながら、知識の習得、周知を図った。 ・個別ケースで多機関と関わりながら伴走し、障害がある方も本人らしく生活できるように支援している。 ・未就学から就学（小・中・高校など）、就労などのライフステージに合わせて相談支援を行った。 ・福祉サービスに限らず、地域の居場所や商店、通信会社など本人に必要な社会資源との繋がりを支援するように心掛けた。 ・コミュニティソーシャルワーカーなど地域の支援者と連携し、障害のある本人だけでなく家族も含めた支援のため多機関連携を心掛けた。	（訪問介護） ・障害者㈱に対して、図書館や他施設などを利用するため、移動支援事業、生活サポートを提供した。 ・虐待防止についてビデオを観たり、個々にチェックリストを行いながら、知識の習得、周知を図った。 （すこやか福祉相談センター） ・虐待防止研修会や様々な研修の機会に参加し、所内で知識の習得、周知を図った。 ・個別ケースで複雑化したケースは多機関と関わりながら伴走し、障害がある方も本人らしく生活できるように支援した。 ・未就学から就学（小・中・高校など）、就労などのライフステージに合わせて相談支援を行った。 ・コミュニティソーシャルワーカー、地域包括と地域情報の共有する日を設定した。 （計画） ・虐待防止研修へ参加し、所内で共有と気になる事案について意見交換を行った。 ・余暇活動の検討に必要な地域の情報収集・提供を実施した。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	特定非営利活動法人ぬくもり福祉会たんぽぽ		
基本目標	４　共に学び育つ保育・療育・教育の充実		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	インクルーシブな保育の推進・インクルーシブ教育の推進に向けた基盤の整備
	○	２	療育・発達支援等の充実
	○	３	特別支援教育・教育環境の充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・個別相談に応じて幼児期から学齢期の保育、教育に関わる機関と連携して相談に応じて支援する。 ・保護者等で構成される家族会等と連携する。 ・医療的ケアのあるこどもへの支援について、部会や関係機関と協議し、連携する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・個別相談に応じて児童発達支援事業所や幼稚園、小学校、教育センター等と連携して支援している。 ・手をつなぐ育成会の相談会に年3回訪問するなど、情報共有の機会を持ち連携している。 ・医療的ケアのあるこどもへの支援を部会や保健センター、こども支援課と情報共有し、協働している。	・個別相談に応じて児童発達支援事業所や幼稚園、保育園、小学校、教育センター等と連携して支援した。 ・手をつなぐ育成会の相談会に年3回訪問するなど、情報共有し連携した。 ・家族支援事業に参加し、支援が必要な方に相談できる機関として案内した。 ・医療的ケアのあるこどもへの支援を部会や学校、保健センター、こども支援課と情報共有し、協働した。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	特定非営利活動法人ぬくもり福祉会たんぽぽ		
基本目標	５　保健・医療の充実		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	健康づくりの推進
	○	２	こころの健康づくりの推進
	○	３	医療機関への受診に係る支援
		４	医療機関等と連携した地域移行・定着支援
	○	５	難病患者等への支援
	○	６	高次脳機能障害のある人への支援
	○	７	発達障害のある人への支援
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・個別相談の中で医療が必要な方に保健センターや医療機関とつなぐ支援、連携を実施する。 ・障害のある子どもの相談支援を実施し、療育事業所と連携する。 ・精神障害者やアルコール問題を抱えた相談者に多機関多職種で連携した支援を実施する。 ・難病や高次機能障害、発達障害など様々な障害で相談される方に障害福祉サービスやインフォーマルなサービスの情報提供を行って、支援する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・個別相談で医療機関の選択や受診支援、保健センターとの連携を行っている。 ・障害のある子どもが療育を必要としている時に児童発達支援事業所や放課後等デイサービスを案内し、連携、情報共有に努めている。	・個別ケースの対応で保健センター、障害福祉課、病院と連携して入院が必要な方の支援をした。 ・障害のある子どもの相談や必要な場合は療育機関や医療機関等と連携して支援した。 ・様々な障害で支援を必要とされる方に障害福祉サービスやインフォーマル（居場所や地域の活動等）の情報提供をし、利用支援をした。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	特定非営利活動法人ぬくもり福祉会たんぽぽ		
基本目標	６　多様な就労への支援		
飯能市障害者計画施策	○	１	就労機会の確保・職場開拓・雇用促進
		２	働き続けるための支援
令和6～8年度実施計画（実施予定の事業）	・特別支援学校在校生や就労を希望する方に進路選択や就労に向けた個別相談を実施する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・就労を希望される方に就労の形や機会を説明し、就労移行支援事業所、就労継続支援事業所、ハローワークに同行するなどして選択肢を伝えた。利用希望がある時には手続きや関係者との情報共有を行った。 ・就労支援センターや関係する機関と協働して就労を支援した。	・就労を希望される方に就労の形や機会を説明し、就労移行支援事業所、就労継続支援事業所、ハローワークに同行するなどして選択肢を伝えた。利用希望がある時には手続きを支援し、関係者との情報共有を行った。 ・就労支援センターや関係する機関と協働して就労を支援した。 ・就労選択支援について、就労支援部会や入間市わかくさ高等支援学校等と今後の利用の流れを確認した。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	特定非営利活動法人ぬくもり福祉会たんぽぽ		
基本目標	７　文化芸術活動、スポーツ、余暇・レクリエーション活動への支援		
飯能市障害者計画施策	○	１	文化芸術活動、スポーツ・レクリエーション活動、生涯学習の充実
		２	地域活動支援センターの充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・文化芸術活動に取り組む障害のある人等に、活動の場の紹介や市民との交流の機会を支援する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・本人が取り組みたい活動を一緒に調べ、興味関心のあることを情報提供して支援した。 ・希望する方に市内、県内の作品展の応募や展覧会の情報を案内した。 ・図書館や市民活動センター、行政センター、地域の居場所など生涯学習の機会となる情報を提供した。	・個別相談の中で本人が取り組みたい活動を一緒に調べ、興味関心のあることを情報提供した。 ・希望する方に市内、県内の作品展の応募や展覧会の情報を案内、発表の機会を提案した。 ・図書館や市民活動センター、行政センター、地域の居場所など生涯学習の機会となる情報を提供し、必要時は同行した。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	特定非営利活動法人ぬくもり福祉会たんぽぽ		
基本目標	８　安心・安全で住みよいまちづくりの推進		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	防災対策・災害時支援体制の充実
	○	２	防災対策・災害時支援体制の充実
	○	３	住みよいまちづくりの推進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・個別相談の中で災害時の避難行動に関する情報提供やアドバイスを心掛ける。 ・判断力に制限のある障害者が犯罪や消費者トラブルに会わないように注意喚起し、相談に応じる。 ・災害時に避難生活にかかる支援ができるよう関係機関と連携する。 ・個別相談に応じ必要な方に生活サポートの利用ができるように支援する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・個別相談の中で消費者トラブルにつながる事例は消費生活センターや警察に繋ぐ支援をした。 ・台風や大雨などの天候不順がある際には注意喚起を心掛けた。 ・地域包括支援センターや指定特定相談事業所と防災に関わる話し合いの機会を持ち、法人が主催の参集訓練に参加するなど、地域の防災について関心を持ち、関係機関と連携している。	・個別相談の中で必要な方には消費生活センターや警察、司法書士、弁護士相談に繋ぐ支援をした。 ・猛暑、台風や大雨などの天候不順がある際には注意喚起をした。 ・地域包括支援センターや指定特定相談事業所と防災に関わる話し合いの機会を持ち、法人が主催の参集訓練に参加した。 ・個別相談でも医療的ケアのある方と、災害時の避難や対応についても確認するなど声掛けを行った。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	ぽかぽかハート・ヴィレッジ、キッズステーション、キャリアアカデミー		
基本目標	１　地域福祉意識の醸成と地域福祉力の向上		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	交流の機会の充実による福祉意識の醸成
	○	２	幼い頃から障害のある人等と交流し、障害を正しく理解できる環境づくり
	○	３	地域の福祉力の向上
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	①毎年、飯能市社会福祉協議会から依頼される福祉教育の授業を講師として受けていく。 ②飯能市社会福祉協議会、学校から依頼されるボランティア体験の受け入れを積極的に行う。 ③飯能市内の社会福祉法人9法人との公益活動連携。		

令和6年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
＜ヴィレッジ＞ ①飯能市奥武蔵小学校4年生に福祉の出張授業及び利用者さんとの交流会 ①飯能市双柳小学校4年生に福祉の出張授業及び施設見学会 ②飯能市社会福祉協議会(2名)受け入れ ②入間市野田中学校社会チャレンジ体験2年生(2名)受け入れ ②飯能市飯能西中学校社会チャレンジ体験1年生(3名)受け入れ ②特別支援学校実習生(6名)受け入れ ②わかくさ特別支援学校生徒、保護者説明会 ②日高特別支援学校の日高祭で出張販売 ②特別支援学校(狭山、毛呂山、日高、羽村)教員研修5名受け入れ ※アカデミーと共同 ③飯能市社会福祉法人公益活動で「あったかハート・バンク」開催 ③社会福祉法人名栗園マルシェに出店 ＜キッズ＞ ②入間市野田中学校社会チャレンジ体験2年生（2名）受け入れ ②飯能市飯能西中学校社会チャレンジ体験１年生受け入れ	＜ヴィレッジ・アカデミー＞ ①福生民生委員18名見学会。 ①子どもワーキングで就労継続支援、移行、選択支援の説明。 ①秩父特別支援学校教員＋保護者25名　研修 ①日高特別支援学校教員研修会及び見学会実施 ①狭山特別支援学校PTA役員研修会及び見学会実施 ②羽村特別支援学校見学会（年２回） ②飯能市社会福祉協議会(1名)受け入れ ②入間市西武中学校社会チャレンジ体験2年生(2名)受け入れ ②特別支援学校実習生(6名)受け入れ ②わかくさ特別支援学校生徒、保護者説明会 ②日高特別支援学校の日高祭で出張販売 ②特別支援学校(狭山清陵、毛呂山、日高)教員研修受け入れ ③飯能市社会福祉法人公益活動で「あったかハート・バンク」開催 ③社会福祉法人名栗園マルシェに出店 ＜キッズ＞ ②入間市野田中学校社会チャレンジ体験2年生（2名）受け入れ ②飯能市社会福祉協議会(数十名)受け入れ		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	ぽかぽかハート・ヴィレッジ、キャリアアカデミー、ライフコンシェルジュ、キッズステーション		
基本目標	２　障害者差別の解消と権利擁護の推進		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	障害者差別解消の取組の推進
	○	２	権利擁護に関する取組の推進
	○	３	情報の保障・支援の充実
	○	４	意思決定支援の推進
	○	５	虐待予防の徹底と虐待の早期発見・対応
	○	６	成年後見制度の利用促進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	①飯能市の虐待防止研修や埼玉県の研修には積極的に参加していく。虐待防止研修の参加及びフィードバックをしていく。 ②ぽかぽかハート・ショップを通して、当事者の方自身が好きな商品を選ぶ自己決定の場を提供していく。 ③日頃より職員同士の声掛けをして、風通しの良い職場づくりを行っていく。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
＜ヴィレッジ、アカデミー、コンシェルジュ、キッズ＞ ①飯能市虐待防止研修参加。参加者がレポートを提出。また、全職員がセルフチェックシートの記入を行い、虐待防止委員会や職員会議等で振り返りを実施。 ②ハート・ショップにより多くの商品を置いたり、駄菓子の安価な物を置き、自己決定の幅を広げたりSSTができる場所として活用した。 ③相談しやすい環境づくりを行い、適宜、声掛けを行った。会議の他に普段の中から雑談等でコミュニケーションを深め、話しやすく風通しの良い環境づくりに務めた。	＜ヴィレッジ、アカデミー、コンシェルジュ、キッズ＞ ①飯能市虐待防止研修参加。参加者がレポートを提出。全職員対象にセルフチェックシートの記入を行い、虐待防止委員会や職員会議等で振り返りを実施。 ②ハート・ショップに多くの商品を置き、自己決定の幅を広げ、買い物トレーニングをする場所として活用。 ③相談窓口を設置し、適宜声掛けを行った。会議の他に普段から雑談等でコミュニケーションを深め、話しやすく風通しの良い環境づくりに努めた。 ④就労先について、企業見学、企業実習を行い、支援者が決めるのではなく、利用者が納得して決められる様に支援を行った。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	ぽかぽかライフ・コンシェルジュ		
基本目標	３　地域の相談支援体制と生活支援の充実		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	包括的相談支援体制の充実
	○	２	一人ひとりのニーズに応じた支援の充実
	○	３	当事者による支援の充実
	○	４	障害福祉制度の周知・情報提供
	○	５	地域生活を支える支援の充実
	○	６	暮らしの場・居住支援の充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	①「地域との連携」…積極的に基幹相談支援センター、地域の各事業所と連絡を密に取り合い、支援体制の充実を目指す。 ②「支援技術の向上」…相談部会や地域の勉強会、研修等に参加し、情報や技術を法人内で共有する。 ③「法人内での研鑽」…法人内で事例検討会を行い、支援体制の向上を目指す。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
＜コンシェルジュ＞ ①地域の相談支援部会に参加。各事業所と連絡を取り合い、支援体制の充実に努めた。 ②有志の勉強会に参加し、支援体制の確認や、より良い支援のあり方について情報共有を行った。また、事業所が3ヶ所ある強みを活かし、他市の取組みや、優れた制度について、法人内で共有し、技術向上に努めた。 ③定期的に会議を実施し、風通しの良い職場づくりに努めた。	＜コンシェルジュ＞ ①地域の相談支援部会に参加。各事業所と連絡を取り合い、支援体制の充実に努めた。 ②有志の勉強会に参加し、支援体制の確認や、より良い支援のあり方について情報共有を行った。また、事業所が3ヶ所ある強みを活かし、他市の取組みや、優れた制度について、法人内で共有し、技術向上に努めた。 ③定期的に支援会議を実施し、事例検討を行い支援について自己点検の機会を持ち、支援技術向上に努めた。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	ぽかぽかキッズ・ステーション		
基本目標	４　共に学び育つ保育・療育・教育の充実		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	インクルーシブな保育の推進・インクルーシブ教育の推進に向けた基盤の整備
	○	２	療育・発達支援等の充実
	○	３	特別支援教育・教育環境の充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	①ぽかぽか保育園と交流する場を計画する。 ②ぽかぽか保育園の保育士が児童発達支援事業所で研修を実施する。 ③保育所等訪問で発達の気になる児について相談体制を構築していく。 ④児童発達支援事業の児童がぽかぽか保育園のクラスに入り保育園体験を実施する。 ⑤行事を通した施設間交流や異年齢交流を実施する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
＜キッズ＞ ①保育園と連携をし毎月園庭交流の場を設定した。 ②2024年7月～2025年2月の期間で保育園職員がキッズステーションにて研修を実施した。 ③訪問事業を通し保育所・幼稚園・学校・相談支援事業所・教育センター・こども支援課等と連携し横のつながりを強化した。 ④キッズ・ステーションの利用児童１名を対象とし保育園のクラスに入り保育所体験を月1回実施した。 ⑤節分・スイカ割・ハロウィン・クリスマス会など行事を通して異年齢での交流を深めた。	＜キッズ＞ ①ぽかぽか保育園と連携し毎月園庭交流の場を設定した。 ①ぽかぽか保育園の給食体験やハート・ショップでのおやつ買い物体験を実施した。 ④キッズ・ステーションの利用児童１名を対象としぽかぽか保育園のクラスに入り保育所体験を実施した。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	ぽかぽかハート・ヴィレッジ、キャリアアカデミー、キッズステーション		
基本目標	５　保健・医療の充実		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	健康づくりの推進
	○	２	こころの健康づくりの推進
	○	３	医療機関への受診に係る支援
	○	４	医療機関等と連携した地域移行・定着支援
	○	５	難病患者等への支援
	○	６	高次脳機能障害のある人への支援
	○	７	発達障害のある人への支援
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	①障害種別に関わらず、様々な障がいのある方の受け入れを行っていく(知的、精神、発達、身体、緘黙、難病、高次機能障害、聴覚、全盲、医療ケア児)。 ②必要に応じて受診同行等を行っていき、医療機関との連携を図る。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
＜ヴィレッジ、アカデミー＞ ①障害種別に関わらず、まずは見学、体験実習を通して実際に利用したいかどうか確認を行う。どの様にしたら受け入れられるか、各管理者、職員、家族、関係機関と相談し、調整を行った。行き場のない全盲の方の受け皿となった。 ②就労の面で、主治医に確認する事があり、精神科への同行を行った。 ＜キッズ＞ ①障害種別に関わらず見学等の受け入れを実施した。 ②必要に応じて看護師やPTなどと連携を図った。	＜ヴィレッジ、アカデミー＞ ①障害種別に関わらず、受け入れを実施。 ②アカデミー自立訓練（生活訓練）で難病の方の受け入れを行った。 ②就労の面で、主治医に確認する事（就労の可否について）があり、精神科への同行を行った。		

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	ぽかぽかハートヴィレッジ、キャリアアカデミー		
基本目標	６　多様な就労への支援		
飯能市障害者計画施策	○	１	就労機会の確保・職場開拓・雇用促進
	○	２	働き続けるための支援
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	①就労機会の確保 施設外実習への参加、利用者によって環境、作業内容で参加が難しい方もいるが、できる限り参加ができる様に準備を行う。そのため、受け入れ先の企業と密に情報共有を行い、短い時間からでも参加ができる様に調整し、本人、企業に負担がない様に配慮する。 ②職場開拓 ハローワーク、雇用サポートセンター、地域の障害者就労支援センターから情報収集を行い、ミスマッチの無いように、企業見学、企業実習を行い、本人、企業がお互いに納得できる準備する。事業所でも独自のルートで開拓を行う。 ③雇用促進　就労意識を上げるためにプログラム内で、企業見学、企業説明会の開催、卒業生からのスピーチ、他事業所との合同イベント等を行い、就労意識が活発になるイベントを考え、提供していく。 ④働き続けるための支援　定着支援サービスの充実。 ⑤令和7年4月1日より自立訓練（生活訓練）多機能型事業所開所の準備 ⑥令和7年10月から始まる就労選択支援サービスの準備		

令和6年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
＜ヴィレッジ＞ ①民間企業と連携し安定した仕事の提供、最低賃金確保のためにA型3ヶ所、高工賃達成のためにB型も3ヶ所、施設外就労を行っている。 ②A型で力をつけた利用者さんを一般就労に1名排出。 ②B型で力と自信がつき、一般就労に弾みをつけた利用者さんをアカデミーに2名排出。 ＜アカデミー＞ ①今までは、１日参加できない方は参加できなかったが、企業担当者と連絡を取り、半日からの受け入れを行った。 ②６名の方が就職に繋がった。見学、実習を行い、必要に応じて長い期間行った。６年度は法人でも障害者雇用を１名採用した。 ③東京+A13の就労移行支援事業所とお互いのプログラムに参加し、交流を図り就労意識を高めた。 ④定着支援サービス期間（３年間）だけではなく、就労移行支援、定着支援終了後の卒業生のフォローも必要に応じて行った。 ⑤令和７年度４月１日より自立訓練（生活訓練）準備終了。無事開所する。 ⑥就労選択支援については、各地域の研修会に参加し、情報収集を行い、開所に向けての準備を行う。	＜ヴィレッジ＞ ①民間企業と連携し安定した仕事の提供、最低賃金確保のためにA型3ヶ所、高工賃達成のためにB型も3ヶ所、施設外就労を行っている。 ②B型で力をつけた利用者さんを一般就労に1名輩出。 ＜アカデミー＞ ①施設外実習への参加　１日参加できない方は、実習に参加できなかったが、企業担当者と連絡を取り、半日からの受け入れできる様に調整を行った。 ②４名の方が障害者雇用での就職に繋がった。見学、実習を行い、必要に応じて長い期間行った。 施設外実習先に１名就職できた。 ③東京の就労移行支援事業所とお互いのプログラムに参加し、交流を図り就労意識を高めた。 研修会にも参加し、情報収集を行った。 ④定着支援サービス期間（３年間）だけではなく、就労移行支援、定着支援終了後の卒業生のフォローも必要に応じて行った。 ⑤令和７年度４月１日より自立訓練（生活訓練）開所。 ⑥就労選択支援については、各地域の研修会に参加し、情報収集を行った。開所については未定。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	ぽかぽかハート・ヴィレッジ、キャリアアカデミー、キッズステーション		
基本目標	７　文化芸術活動、スポーツ、余暇・レクリエーション活動への支援		
飯能市障害者計画施策	○	１	文化芸術活動、スポーツ・レクリエーション活動、生涯学習の充実
		２	地域活動支援センターの充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	①施設内で日帰り旅行の実施、法人内の事業所間同士で合同のレクリエーション活動を実施する。 ②就職者の余暇活動の実施。 ③飯能市内で行われるイベントに参加する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
＜ヴィレッジ＞ ①スイカ割り、ハロウィン、節分を実施。 　※キッズ合同 ①社会福祉法人名栗園マルシェに参加。 ①カラオケ交流会を実施。 ①いちご狩りツアーを実施。 　※アカデミー合同 ＜アカデミー＞ ①8月、10月、12月にキッズ・ステーションと合同の行事を行った。（スイカ割り、ハロウィン、生活発表会） ②12月に移行利用者と定着支援利用者向けの合同焼肉パーティーを行った。 ③7月に飯能市主催の事業所見学会に参加した。 ＜キッズ＞ ①お花見弁当、プール、かき氷、収穫した野菜、お米を食べる、スイカ割り、ハロウィン、親子さつまいも掘り、クリスマス会、節分を実施。 ③防災イベントに出席。	＜ヴィレッジ＞ ①スイカ割り、ハロウィン、節分を実施。 　※キッズ合同 ①社会福祉法人名栗園マルシェに参加。 ①いちご狩りツアーを実施。 　※アカデミー合同 ＜アカデミー＞ ①8月、10月、12月にキッズ・ステーションと合同の行事を行った。（スイカ割り、ハロウィン、節分） ②7月に飯能市主催の事業所見学会に参加した。 ③いちご狩りツアーを実施。 　※ヴィレッジと合同 ＜キッズ＞ ①お花見弁当、プール、かき氷、収穫した野菜、お米を食べる、スイカ割り、ハロウィン、親子さつまいも掘り、クリスマス会、節分を実施。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	ぽかぽかハート・ヴィレッジ、キャリアアカデミー、キッズステーション		
基本目標	８　安心・安全で住みよいまちづくりの推進		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	防災対策・災害時支援体制の充実
	○	２	防災対策・災害時支援体制の充実
	○	３	住みよいまちづくりの推進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	①地域の防災訓練への参加。 ②まちづくりワークショップへの参加。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
＜ヴィレッジ、アカデミー＞ 飯能市吾野地区民生委員説明会9名 ＜キッズ＞ ①ニモカカクラブ主催の防災イベントに参加。 ②7月、８月、９月に、まちづくりワークショップに参加。	＜ヴィレッジ、アカデミー、キッズ＞ 飯能市社協地域公益活動にて、災害時における協定書を飯能社会福祉法人9つで協定書を検討。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	相談支援事業所　マロニエ		
基本目標	２　障害者差別の解消と権利擁護の推進		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	障害者差別解消の取組の推進
		２	権利擁護に関する取組の推進
		３	情報の保障・支援の充実
	○	４	意思決定支援の推進
	○	５	虐待予防の徹底と虐待の早期発見・対応
	○	６	成年後見制度の利用促進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・行政主催、同一法人（良心会）の差別解消、権利擁護、虐待防止研修へ参加する。 その他虐待防止研修に関しマロニエ事業所内およびキロロハイツと共催の虐待防止研修を実施する。 ・意思決定支援の研修に参加する。 ・成年後見制度の利用を支援する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・3月14日市主催の虐待防止研修に参加した。 ・5月22日、同法人の虐待防止研修に参加した他、マロニエ事業所内およびキロロハイツと共催の虐待防止研修を実施した。 ・利用者の成年後見の申請申し立てを支援し、後見人がついた。	・令和7年5月と令和8年1月、同法人の虐待防止研修に参加した他、マロニエ事業所内およびキロロハイツと共催の虐待防止研修を実施した。 ・令和7年9月、同法人の個人情報保護研修に参加した。 ・令和8 年2 月、飯能市主催の障害者虐待防止ＷＥＢセミナーに参加した。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	相談支援事業所　マロニエ		
基本目標	３　地域の相談支援体制と生活支援の充実		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	包括的相談支援体制の充実
		２	一人ひとりのニーズに応じた支援の充実
		３	当事者による支援の充実
	○	４	障害福祉制度の周知・情報提供
		５	地域生活を支える支援の充実
		６	暮らしの場・居住支援の充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・各機関と連携し相談支援体制の充実を図る。 ・利用者に支援状況についてカンファレンス等を行い、きめ細かい支援を目指す。 ・利用者、クリニック通院者の求めに応じて、福祉制度の周知、情報提供を行う。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・月１回行われる、相談支援者間のシェアーミーティングに参加した。 ・隔月に行われる、相談支援連絡会に参加した。 ・利用者、クリニック通院者等に福祉制度の情報提供を行った。	・令和7年7月と11月、相談支援連絡会主催のＧＳＶ研修に参加した。 ・令和8年1月、市主催の多職種連携研修に参加した。 ・月１回行われる、相談支援者間のシェアーミーティングに参加した。 ・隔月に行われる、相談支援連絡会に参加した。 ・利用者、クリニック通院者等に福祉制度の情報提供を行った。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	相談支援事業所　マロニエ		
基本目標	４　共に学び育つ保育・療育・教育の充実		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	インクルーシブな保育の推進・インクルーシブ教育の推進に向けた基盤の整備
		２	療育・発達支援等の充実
		３	特別支援教育・教育環境の充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・保育所等訪問支援を積極的に活用していくことで、インクルーシブな教育の体制基盤を構築していく。 ・個別ケースをとおし担当者会議を開く中で、教育と福祉の担当者が当該児童のために意見を交わし、インクルーシブな教育の推進を図る。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・教育機関での困難事例に対し保育所等訪問支援を積極的に活用し、インクルーシブな教育の推進を行うことができた。 ・定期的な担当者会議により、福祉と教育の連携の推進に尽力した。	・教育機関での困難事例に対し保育所等訪問支援を積極的に活用し、インクルーシブな教育の推進を行うことができた。 ・定期的な担当者会議により、福祉と教育の連携の推進に尽力した。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	相談支援事業所　マロニエ		
基本目標	５　保健・医療の充実		
飯能市 障害者計画 施策		１	健康づくりの推進
		２	こころの健康づくりの推進
	○	３	医療機関への受診に係る支援
	○	４	医療機関等と連携した地域移行・定着支援
		５	難病患者等への支援
		６	高次脳機能障害のある人への支援
		７	発達障害のある人への支援
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・同法人「あいクリニック」「青梅成木台病院」との医療連携を図る。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・クリニックの会議に参加した。 ・クリニックショートケアに利用者をつなぎ、連携を図った。 ・利用者の病状について受診時等に同席して主治医に報告した。 ・入院中の利用者の退院支援会議に参加した。	・毎月あるクリニックの会議に参加した。 ・クリニックショートケアに利用者をつなぎ、連携を図った。 ・利用者の医療機関への受診同行を、多岐にわたって行った。 ・入院中の利用者の退院支援会議に参加した。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	相談支援事業所　マロニエ		
基本目標	６　多様な就労への支援		
飯能市障害者 計画施策		１	就労機会の確保・職場開拓・雇用促進
	○	２	働き続けるための支援
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・福祉サービスの「就労定着支援」を通して支援する。 ・就労支援Ｂ型各事業所や、就労移行支援事業所等と連携していく。 ・隔週土曜日のマロニエ開所の継続。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・就労定着支援対象者の定期的モニタリングを実施した。 ・就労定着支援対象者の終了会議に参加し、評価を行い、次の相談先につないだ。 ・各事業所と連携し利用者が働き続けられるよう支援した。 ・就労する本人が相談支援を受ける機会を確保するため、土曜日の事務所開所（第二・第四）を行った。	・就労定着支援対象者の定期的モニタリングを実施した。 ・就労定着支援対象者の終了会議に参加し、評価を行い、次の相談先につないだ。 ・就労継続支援Ｂ型事業所と多岐にわたり連携し、利用者が働き続けられるよう支援した。 ・就労移行支援事業所へ利用者と見学相談同行を行い支援した。 ・就労する本人が相談支援を受ける機会を確保するため、土曜日の事務所開所（第二・第四）を行った。		

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	相談支援事業所　マロニエ		
基本目標	８　安心・安全で住みよいまちづくりの推進		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	防災対策・災害時支援体制の充実
		２	防災対策・災害時支援体制の充実
		３	住みよいまちづくりの推進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・事業所所在地域や法人内の連携をとおしたBCPの策定（災害）をめざしていく。 ・同法人のあいクリニックの防災訓練に参加する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・相談支援事業所マロニエBCP策定を実施した。 ・医療的ケア児に対する災害時個別避難計画の見直しを、関係機関とともに支援した。 ・同法人のあいクリニックの防災訓練に参加した。	・相談支援事業所マロニエBCPを更新した。 ・医療的ケア児に対する災害時個別避難計画の見直しを、関係機関とともに支援した。 ・同法人のあいクリニックの防災訓練に参加した。 ・防災をテーマとしたワールドカフェ研修に参加し、関係機関職員とともに支援者としての防災に対する対応について関心を深めた。		

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	みつるくん		
基本目標	１　地域福祉意識の醸成と地域福祉力の向上		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	交流の機会の充実による福祉意識の醸成
	○	２	幼い頃から障害のある人等と交流し、障害を正しく理解できる環境づくり
	○	３	地域の福祉力の向上
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・飯能市落合にあるTAKUGYM（キックボクシング）にて、小中学生会員との交流、地域住民や飲食店などと社会的交流をし、地域の障害者に対する理解を深めていく。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・TAKUGYMにグループホームえがおのクラスを作ってもらった。（月１回） ・飲食店にお願いして仕事の体験をさせてもらった。 ・お祭りの露店に参加した。 ・イベントに参加し、みんなで焼きそばを作った。	継続　　地域の人々と関わることで、障害者への理解を深めて、社会参加しやすい環境を作っていきたい。 →結果、令和6年度に実地したものは継続している。 ・グループホーム落合にて地元のドッグイベント主催者より依頼があり当ホーム利用者さんと合同でイベント開催(一般80名程)。 ・飯能市清掃デーに参加、伊豆潮風館へ1泊2日旅行、スポーツ観戦、レジャー施設への同行等。 ・常日頃からの社会参加(日常的な)を通し、理解を求めていきたい。	・地域の方たちの力を借りながら、障害のある方たちの一般雇用を目指して、私たちがその働き先を作れたらいいなと思っている。 例、花屋、飲食店、保護猫カフェ、ドッグラン、清掃業務等。 ・障害者が社会参加していけば、地域の方々の理解が得られると思ってる。 ・障害者と一般社会のもっとナチュラルな共生を目指す。	

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	障害者生活介護事業所みなかみ		
基本目標	１　地域福祉意識の醸成と地域福祉力の向上		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	交流の機会の充実による福祉意識の醸成
		２	幼い頃から障害のある人等と交流し、障害を正しく理解できる環境づくり
	○	３	地域の福祉力の向上
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	①他法人主催の行事、イベント等への参加 ②地域が開催する販売イベントへ出店 ③地域の公園等の美化活動実施 ④コミュニティスペースの開放		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
①育成会（親の会）主催の音楽イベントが年始に開催され、利用者の参加を行えた。他法人主催のお祭りへの参加を企画していたが日程調整が整わず見送っている。 ②事業所の作業活動でビーズ、サンキャッチャー、紙漉き、園芸品等の作品を地域の商業施設、お祭り、販売イベント等で出店販売を行った。可能な限り各利用者が製品の作成から販売までの一連の工程に参加できるように整備を進めている。 ③事業所の近隣地域や公園のゴミ拾いを定期的に行っている。利用者が地域の美化整備に取り組めるような体制を整えている。 ④コロナ過で閉所していた喫茶店を今後コミュニティスペース、展示、製品販売等の活用をするための計画を策定している。 年度末に喫茶店をコミュニティスペースとして地域の音楽ボランティアに開放する取り組みを始めた。また、来客者には授産製品【ビーズ、園芸、紙漉き製品等】を展示販売して工賃向上に繋げている。	①育成会（親の会）主催の音楽イベントが昨年、同様に年始時期に開催された。みなかみ利用中の保護者からの縁もあり毎年、継続し利用者の参加が図れた。また、昨年見送った近隣にある他法人の祭りに複数回参加することができて地域、園児など交流幅が広がった。さらに、ボランティアの関わり合いとして県や福祉協議会などと連携を図っている。 ②事業所の授産製品を販売する販路の開拓が進んでいる。ただ、商品の生産計画が難しく一定在庫を保つことも課題となっている。 定期的に地域で開催されているイベント「お寺deマルシェ」に複数回出店し、利用者も店員として参加し授産製品の販売を行っているほか、地域の店などに依頼し、授産製品の委託販売も行っている。 ③美化活動は定期的に行うことができている。昨年度より回数を増やして実施している。対象の公園に限らず行き来する道の整備も行えている。今後は活動内容、範囲などを広げていくのか検討していきたい。 ④施設での展示販売は継続している。ただし、当初の計画にある授産製品の拡充、仕入れ、レイアウト変更などまだ課題が残っている。地域交流スペースとしての新たな活用について準備を進めた。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	障害者生活介護事業所みなかみ		
基本目標	２　障害者差別の解消と権利擁護の推進		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	障害者差別解消の取組の推進
	○	２	権利擁護に関する取組の推進
	○	３	情報の保障・支援の充実
	○	４	意思決定支援の推進
	○	５	虐待予防の徹底と虐待の早期発見・対応
		６	成年後見制度の利用促進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	①法人内でeラーニング研修の導入 ②埼玉県社会福祉協議会の虐待防止研修の受講 ③虐待防止、身体拘束適正化委員会を設け虐待セルフチェック、内部研修等を共有。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
①法人内でe-ラーニング研修を導入し、OJT研修、現任研修等で障害支援に求められる知識、認識の統一を図るべく各キャリアごとの受講を推奨している。 ②報酬改定に伴い意思決定支援のプロセスを検討し、法人内でも意思決定支援について研修や協議を行っている。 ③虐待通報を行いやすい環境整備に向けて事務室、ホール内にて虐待通報ダイヤルの周知、掲示等を行っている。 ④身体拘束適正化委員会の設置と支援検証、本人意向を踏まえた同性介助を意識している。 ⑤利用者、保護者等の意向を踏まえて問合せがあれば、外部窓口の情報提供、調整や相談等を行っている。	①新規入職職員、介護等体験、共通研修などeーラニングの活用により知識向上に役立てている。各職員が自由に学びを深めることができ継続して行きたい意向も多かった。 ②現場役職者を中心として意思決定支援について各事業所ごとに分析を行うことで実践を試みた。 ③④虐待通報については施設内に掲示ほか、埼玉県や埼玉県社協、飯能市主催の虐待防止・身体拘束・権利擁護等の研修に現場役職者および虐待防止・身体拘束適正化委員会担当者等が参加した。 虐待防止・身体拘束に関しては毎月の委員会、各事業所内の研修他、法人合同研修で虐待、身体拘束の基本的な考え方、支援の分析など多角的な視点で検証や協議が行えた。 ⑤苦情相談窓口を設け、広報や送迎時には情報提供など話しやすい環境を工夫した。定期面談時には施設内の見学、行事などの参加案内など、保護者が参加しやすい取り組みを工夫した。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	障害者生活介護事業所みなかみ		
基本目標	３　地域の相談支援体制と生活支援の充実		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	包括的相談支援体制の充実
	○	２	一人ひとりのニーズに応じた支援の充実
	○	３	当事者による支援の充実
		４	障害福祉制度の周知・情報提供
		５	地域生活を支える支援の充実
		６	暮らしの場・居住支援の充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	①行政、機関、保護者等と福祉サービスの拡充へ向けた協議を行う。 ②困難ケースに至ってはサービス担当者会議の開催や密な連携体制を相談支援中心に計画する。 ③個別支援の充実へ向けた個々の特性、状況に応じた支援体制を確立する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
①親亡き後の福祉サービスの活用へ向けた環境整備として相談、連携を図り準備や検討を進めている。 ②家庭環境、レスパイト等を踏まえた相談体制を継続している。 ③個々の意向、特性や状況に応じた活動の提供、グループ分けを行うなど環境や支援体制の拡充を図る仕組み作りを目指している。	①、②本人を取り巻く環境に応じた連携として、各機関や保護者との情報共有は行えてた。また、将来へ向けた福祉サービスや地域資源の共有を行うことで、無理のない提案に努めた。 ③本人、保護者の意向などを踏まえて支援の可能性について検証、実践した。職員もグループ分け・目的などを整理することで支援体制の仕組みづくりを工夫した。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	障害者生活介護事業所みなかみ		
基本目標	４　共に学び育つ保育・療育・教育の充実		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	インクルーシブな保育の推進・インクルーシブ教育の推進に向けた基盤の整備
		２	療育・発達支援等の充実
	○	３	特別支援教育・教育環境の充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	①個々の特性に応じた合理的配慮、専門性のある支援員の配置、多様な学び、体験へ向けた環境整備を図る。 ②日常生活から利用者が自立できる環境作りを目指す。 ③特別支援学校や専門機関との連携を取り、事業所内の透明化とともに環境整備を図る。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
①利用者が互いの違いを知り、理解を深め認め合えるような配慮や、社会内外の中で役割を担えるような関りを目指している。 ②普段の支援、利用者の課題行動等を通してリフレーミングの理解を研修等を通して検証している。 ③法人全体でボランティアや実習生（東京都、埼玉県の制度で教員、学生「多摩リハビリテーション学院」「玉成保育専門学校」等との連携）を積極的に受け入れ人材育成を行っている。 ※令和7年度、羽村特別支援学校から教員の初任者研修を5人以上受け入れ等もあり、相互連携の整備を図る。	①個別のアセスメント以外に、強度行動障害対象者も半数以上いるため資格取得者を増やした。強度行動障害の理解を深めるための職員研修も資格取得者中心に企画し実施した。個別支援の他、環境設定など構造化を図ることでその人への理解が深まった。 ②日々の生活の中で役割を担う、できることを伸ばすことで自立へ向けた取り組みを継続した。 ③保護者、地域ボランティア、学生、教員などの受け入れと連携を図り、職員教育にも良い影響を与えていた。 今年度より教員免許取得のための「介護等体験」学生の受け入れを実施した。5名、延べ25日間受け入れた。 羽村特別支援学校より教員の初任者研修として4名の教諭を受け入れた。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	障害者生活介護事業所みなかみ		
基本目標	５　保健・医療の充実		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	健康づくりの推進
	○	２	こころの健康づくりの推進
		３	医療機関への受診に係る支援
	○	４	医療機関等と連携した地域移行・定着支援
		５	難病患者等への支援
		６	高次脳機能障害のある人への支援
	○	７	発達障害のある人への支援
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	①安全衛生委員会、感染委員会の設置 ②ハラスメント窓口の設置および基本方針の周知・啓発を行う。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
①感染委員会、安全衛生委員会を中心として健康づくりを推奨している。生活習慣予防、安全衛生教育（手洗い、うがい）、ラジオ体操、健診の推奨等の職員や利用者を対象とした研修や情報をなるべく共有している。 ②ハラスメントに対する知識を職員間で共有し担当者のマニュアル、役割を設定している。職員のセルフケアとしてアンガーマネジメント研修、こころの耳などを活用して定期的に面談を行うなど相談しやすい環境設定に尽力している。	①嘱託医、利用者の通院同行など、医療機関と相談に関わることで利用者状況の把握に努めた。また、委員会の設置により感染対策、職員の健康や心の健康へ向けたアナウンスが継続して行えた。 ②セルフケア啓発、こころの耳、OJT、職員面談＜効果測定＞を行い職員のライフワークバランスにも配慮した。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	障害者生活介護事業所みなかみ		
基本目標	６　多様な就労への支援		
飯能市障害者計画施策		１	就労機会の確保・職場開拓・雇用促進
	○	２	働き続けるための支援
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	①授産製品の充実、販路拡大等の幅と質を担保する ②利用者のできることを伸ばし、工賃に繋げるよう取り組む。 ③外部からの仕事受注、実習生の受け入れ体制を整える。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
①地域のワークショップやイベント等で利用者が制作した製品の販売を行い、製造から販売まで利用者が担っている。 ②令和7年度に向け、企画準備中。 ③関連企業からアンケート回収BOXの受注。介護等体験など実習生やボランティアなどを受け入れることでサービスの充実や職員育成、利用者工賃に反映させる体制整備を準備している。	①事業所内以外の出店へ向けた製造は昨年より整備することができたが、本年度は日程調整が整わずに利用者参加の範囲が制限されてしまった。授産製品の幅が広がり、梱包などの準備を分担することで売上げが向上した。 ③受注製品、授産製品、介護等体験受け入れなどにより工賃をあげることが目指せた。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	障害者生活介護事業所みなかみ		
基本目標	７　文化芸術活動、スポーツ、余暇・レクリエーション活動への支援		
飯能市障害者計画施策	○	１	文化芸術活動、スポーツ・レクリエーション活動、生涯学習の充実
		２	地域活動支援センターの充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	①コロナ禍も明けたため、利用者の社会参加目標設定に繋がる生活学習の充実を目指す。 ②年に数回ほど法人内事業所との交流イベントを企画、日帰り旅行など外出企画の検討。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
① 市主催の「ふれあいアート展」に出展。利用者が毎月季節に合わせ製作した壁面アートを展示した。飯能市社会福祉協議会主催の福祉スポーツ大会への参加を行った。 埼玉県登録ボランティアアーティストによる「みなかみコンサート」を複数回実施したほか、飯能市内外より音楽ボランティアを招聘し定期的に施設内で音楽コンサートを実施している。 社会教育として地域の博物館や公民館、体育館等を定期的に利用している。また、図書館利用を積極的に行い、日常的に利用者に本に触れる機会を提供し、利用者の想像力、知識欲を高める工夫をしている。 今年度より、調理活動を再開。月に1～2回程度食事作りやお菓子作り等を行っている。 ②法人内の組織で年度計画を策定し、旅行会社と合同でバス旅行を実施した。 また、定期的に工場見学や博物館見学、茶摘み、ブルーベリー狩り、いちご狩り、ワラビ狩り、花めぐり等季節感を大切にした利用者の楽しめる企画・体験を実施している。	①「ふれあいアート展」、「飯能市スポーツ大会」は継続して参加することができた。 今年度初めての取り組みとして飯能市主催「飯能新緑ツーデーマーチ」、飯能社協主催「パラスポーツ体験会」に参加した。 社会教育として地域の博物館や公民館、体育館等を定期的に利用した。また、図書館利用を積極的に行い、日常的に利用者に本に触れる機会を提供し、利用者の想像力、知識欲を高める工夫をした。 今年度、神奈川県のNPO法人森ノオト「めぐる布市・出口プロジェクト」の参加モニターとして決定し、様々な布や資材の提供を受け、利用者の創作活動にて活用。プロジェクトのテーマでもある布の出口を拡げ循環量を増やしリユースすることを飯能市でも行えたらと考えている。次年度も資材の活用を継続し、販売活動、ワークショップでの活用、アート作品の創出等にも取り組んでいく。 埼玉県登録ボランティアアーティストによる「みなかみコンサート」を複数回実施したほか、飯能市内外より音楽ボランティアを招聘し定期的に施設内で音楽コンサートを実施した。次年度は施設外の地域活動センター等も活用し、音楽コンサートを開催することを予定している。 ②年度計画により旅行会社と合同で日帰りバス旅行を実施した。 工場見学、植物園や動物園見学、山菜（ワラビ）狩り、いちご狩り、茶摘み、ブルーベリー狩り、紅葉狩り、季節の花めぐり（桜、梅、、菜の花、バラ、あじさい、花菖蒲、彼岸花、ロウバイ）等の四季感を大切にした利用者の楽しめる企画体験を実施した。調理活動も食事作りやお菓子作り、梅、ワラビや栗、サツマイモ等、季節を感じられる食材を使用し利用者が楽しめる活動を行った。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	障害者生活介護事業所みなかみ		
基本目標	８　安心・安全で住みよいまちづくりの推進		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	防災対策・災害時支援体制の充実
		２	防災対策・災害時支援体制の充実
		３	住みよいまちづくりの推進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	①日常点検、定期点検を行い災害に備えた実効ある対策を行う。 ②BCP（災害計画）を設置し適宜見直し、その基準に応じた準備を進めていく。 ③緊急時の受け入れ体制を拡充すべく準備を進めていく。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
①年に3回の定期点検では消火、通報、緊急対応のシュミレーションを踏まえて訓練している。 今年度より保護者も対象に加えた災害伝言ダイヤルの利用訓練を毎月実施している。 ②BCP計画を基に備蓄、環境等の対応基準、フローを見直している。 ③緊急時の受け入れ、誘導時における環境や連携の準備を事前に各機関等と行っている。	①年4回は総合、定期、部分訓練を行った。消防署との合同訓練を行い次年度へ向けて他法人と合同訓練を行うように準備を進めている。職員・保護者の災害伝言ダイヤルの利用訓練を毎月実施した。 ②緊急時の対応、BCP「事業継続計画」の定期更新。また、災害時における危険予測として法人内の合同研修、防災備蓄について管理体制を見直すことができた。 ③地域生活拠点としての役割、連携について事前準備を行えるように情報収集を継続した。また、災害時の受け入れ体制やその他の避難場所の確保、保護者との連携について次年度へ向けて調整をして行きたい。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	訪問介護ゆーもあ		
基本目標	２　障害者差別の解消と権利擁護の推進		
飯能市 障害者計画 施策		１	障害者差別解消の取組の推進
		２	権利擁護に関する取組の推進
		３	情報の保障・支援の充実
		４	意思決定支援の推進
	○	５	虐待予防の徹底と虐待の早期発見・対応
		６	成年後見制度の利用促進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・障害者支援協議会主催の障害者虐待予防のための研修会に参加、もしくは社内研修等により虐待予防への知識を高める。 ・居宅介護サービス、地域生活支援拠点事業所として緊急時の受け入れ・対応を行う。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・障害者支援協議会主催の研修参加はできなかったが、社内研修や虐待防止委員会の開催により、虐待予防・早期発見に努めた。令和6年度中の当事業所における虐待事案、通報事案は無し。 ・虐待における緊急時の受け入れ・対応体制を構築し備えた。令和6年度中の対応事案は無し。	・社内研修や虐待防止委員会の開催により、虐待予防・早期発見に努めた。特に身体拘束防止については、定期的に検討会を実施し、やむを得ない場合においても代替方法の検討や時短に努めた。令和7年度中の当事業所における虐待事案、通報事案は無し。 ・虐待等における緊急時の受け入れ・対応体制を構築し備えた。令和7年度中の対応事案は無し。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	訪問介護ゆーもあ		
基本目標	３　地域の相談支援体制と生活支援の充実		
飯能市 障害者計画 施策		１	包括的相談支援体制の充実
		２	一人ひとりのニーズに応じた支援の充実
	○	３	当事者による支援の充実
		４	障害福祉制度の周知・情報提供
	○	５	地域生活を支える支援の充実
		６	暮らしの場・居住支援の充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・レスパイトケアを目的とした居宅介護を行い、利用者とその家族が安心した在宅生活を送れるよう支援する。 ・家族への相談援助として、介護技術やペアレントトレーニング等の情報提供を行う。 ・居宅介護、重度訪問介護、移動支援事業、地域生活支援拠点事業所としての役割を担い、幅広い障害に対応する。 ・介護負担軽減を目的とした主介護者対象のインフォーマルサービスを展開する（食事会、相談会など）。 ・障害者支援協議会主催の訪問介護研修に参加する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・定期訪問外の依頼に対応。家族の急な外出でも安心していただけた。 ・介護技術、療育等について疑問・悩み等を受け、助言、提案を行った。 ・新規の依頼を積極的に受け、幅広い障害者に対応した。 ・インフォーマルサービスの第一弾として、主介護者を対象とした食事会を令和7年6月に開催予定。 ・障害者支援協議会主催の訪問介護研修に参加できなかった。	・幅広い障害に対応すべく、支援体制の充実を図り様々な依頼に対応した。 ・日々の活動の中で本人、家族のニーズの抽出、必要に応じて関係機関等へ繋いだ。 ・第３回障害児支援・教育との連携部会にて移動支援事業等の情報提供を行った。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	訪問介護ゆーもあ		
基本目標	５　保健・医療の充実		
飯能市 障害者計画 施策		１	健康づくりの推進
		２	こころの健康づくりの推進
		３	医療機関への受診に係る支援
	○	４	医療機関等と連携した地域移行・定着支援
	○	５	難病患者等への支援
	○	６	高次脳機能障害のある人への支援
	○	７	発達障害のある人への支援
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・各関係機関と連携した居宅介護を行い、全ての障害に対応する。特に発達障害に関する研修会などに参加し、正しい理解、関わり方を習得する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・医療機関等、各関係機関と連携を図り、様々な障害者の在宅生活を支援した。 ・発達障害に関する研修会への参加はできず、令和7年度以降の課題となった。	・医療機関等との連携を図り、難病患者の退院後の在宅生活を支援した。 ・様々な依頼に対し、支援体制の充実を図った上で対応した。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	訪問介護ゆーもあ		
基本目標	７　文化芸術活動、スポーツ、余暇・レクリエーション活動への支援		
飯能市障害者計画施策	○	１	文化芸術活動、スポーツ・レクリエーション活動、生涯学習の充実
		２	地域活動支援センターの充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・移動支援事業の提供により、余暇・レクリエーション活動の充実を図る。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・移動支援事業を提供し外出を支援した。水泳による運動不足解消、映画鑑賞や趣味の電車移動など、余暇、レクリエーション活動の充実を支援した。	・移動支援事業を提供し外出を支援した。外出を通して運動不足の解消や、映画鑑賞、趣味の電車移動など、余暇、レクリエーション活動の充実を支援した。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	訪問介護ゆーもあ		
基本目標	８　安心・安全で住みよいまちづくりの推進		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	防災対策・災害時支援体制の充実
		２	防災対策・災害時支援体制の充実
		３	住みよいまちづくりの推進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・在宅避難が困難な障害がある方等に対して避難所へ派遣訪問し、障害の特性に応じた合理的配慮の提供を行う。また、在宅避難の状態にある障害のある方等に関して在宅支援を行う。 ・BCP対策として業務継続に向けた計画等の策定や研修・訓練を実施する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・有事に備え、BCPを遂行した。業務継続に向けた計画等の策定や研修・訓練を実施した。 ・現利用者全員の避難所を把握、避難時の手順等を整備した。	・有事に備え、BCPを遂行した。業務継続に向けた計画等の策定や研修・訓練を実施した。 ・現利用者全員の避難所を把握、避難時の手順等を整備した。 ・長期保存食、防災グッズ等を購入、整備した。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	阿須フレンドワーク		
基本目標	１　地域福祉意識の醸成と地域福祉力の向上		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	交流の機会の充実による福祉意識の醸成
		２	幼い頃から障害のある人等と交流し、障害を正しく理解できる環境づくり
	○	３	地域の福祉力の向上
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・交流の機会の場として作業ボランティアを受け入れる日を設ける。 ・飯能市社会福祉法人地域公益活動等連絡会の活動に参加し、地域の福祉力の向上に貢献する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・R6年度もコロナ感染によるクラスターに3回も見舞われてしまい、ボランティアさんにお越しいただく事ができなかった。 ・地域公益活動等連絡会の活動「あったかバンク飯能」には参加することができた。	・作業ボランティアの受け入れを再開した。 ・地域公益活動等連絡会の活動「あったか♡バンク飯能」に参加した。 ・岩沢地区のイベント「いわさわ青空マーケット」に参加させていただき、地域の方との交流を図ることができた。こんにゃく班ではみそ田楽を販売させていただき、こんにゃくのイベント販売を再開した。		

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	阿須フレンドワーク		
基本目標	２　障害者差別の解消と権利擁護の推進		
飯能市 障害者計画 施策		１	障害者差別解消の取組の推進
		２	権利擁護に関する取組の推進
		３	情報の保障・支援の充実
		４	意思決定支援の推進
	○	５	虐待予防の徹底と虐待の早期発見・対応
		６	成年後見制度の利用促進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・県や市の虐待防止研修には積極的に参加し、施設内においても虐待防止委員会が中心になって勉強会等を開催し、職員の意識を高めることで虐待予防の徹底を図る。 ・施設内及び家庭内において虐待の疑いがある場合には、速やかに障がい者虐待防止センターに相談する等、早期の対応に努める。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・県主催の管理者対象の虐待防止研修会に参加し、施設内研修において虐待の疑いがある場合には速やかに通報するよう職員に周知を図った。 ・市主催の障害者虐待防止研修会に参加し、研鑽を積むころができた。	・法人全体で虐待防止の研修会を開催した。開催日を2日間設けたので、全職員が研修会に参加することができた。 ・虐待行為と思われる事案が発生した場合には、虐待防止委員会で本人からの事実確認をした上で指導を行い、市役所の障がい者虐待防止センターに報告をしている。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	阿須フレンドワーク		
基本目標	３　地域の相談支援体制と生活支援の充実		
飯能市 障害者計画 施策		１	包括的相談支援体制の充実
		２	一人ひとりのニーズに応じた支援の充実
		３	当事者による支援の充実
		４	障害福祉制度の周知・情報提供
		５	地域生活を支える支援の充実
	○	６	暮らしの場・居住支援の充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・利用者の高齢化に伴い、施設内で安全に生活していただくための整備が必要となってきている。他サービスとの連携も視野に入れながら、利用者の状況に応じた支援を検討する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・利用者及び保護者の高齢化や家庭環境の変化により、生活様式を変えていかなければならない方が増えてきている。利用者の現状に即した支援が提供できるよう、他サービスとの連携を視野に入れながら、相談支援員に相談させていただいている。	・グループホームから通われている利用者も増えてきているので、グループホームの事業所と密に連絡を取るよう心がけた。 ・原市場グループホーム入居者において高齢者の方には、介護保険を利用することで、安全な生活環境を提供することができ、ケアマネージャーとの連携が図れた。また、休日の活動の中で、コロナ以降中断していた他サービスを利用しての外出支援を再開した。		

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	阿須フレンドワーク		
基本目標	５　保健・医療の充実		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	健康づくりの推進
		２	こころの健康づくりの推進
	○	３	医療機関への受診に係る支援
		４	医療機関等と連携した地域移行・定着支援
		５	難病患者等への支援
		６	高次脳機能障害のある人への支援
		７	発達障害のある人への支援
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・生活介護では高齢者及び持病等で必要な方に毎日バイタルチェックを行い、食事量や排泄状況を把握しながら体調の確認を行う。 ・コロナ感染等で必要な時は嘱託医に訪問診療していただき、適切な医療機関への斡旋等対処していただく。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・バイタルで異常が見られた際には、嘱託医に診察していただく等の対応をしている。 ・高齢とともに体重減少が見られる方には、栄養士と相談し、食事量や食事形態を工夫することで体重減少を抑えるよう努力している。　・コロナ感染時には嘱託医に訪問診察していただく事もあった。	・高齢者の方が転倒により足を骨折し救急搬送した時には、手術担当医と術後のリハビリ担当医との連携が取れており、転院がスムーズであった。リハビリ先の病院では相談員がまめに連絡をくださり、元の生活に戻れるようにと施設からも情報提供し、回復も順調で、退院後に施設及びグループホームでの生活に戻ることができた。 ・体重が減少傾向にあった利用者の食事量や、食事形態の見直しをすることで現状維持を図った。 ・コロナで先生の来所を中断していた、日高特別支援学校卒業生対象の訓練指導を再開した。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	阿須フレンドワーク		
基本目標	６　多様な就労への支援		
飯能市障害者 計画施策	○	１	就労機会の確保・職場開拓・雇用促進
	○	２	働き続けるための支援
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・自主製品であるこんにゃく作りにおいては新商品の開発に取り組む。 ・工賃向上につなげるためにこんにゃくの販売先を開拓する。 ・毎日仕事に来ていただくためには職場環境が大事であり、皆が居心地良く働けるよう環境作りに配慮していく。また、個々の特性に合ったお仕事が提供できるよう、新しい内職作業に挑戦し作業種を増やしていく。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・イベントでの加工品販売時に作るみそ田楽の「田楽味噌」を商品化し、所外販売での販売を始めた。こんにゃくの新商品も開発中ではあるがコロナ感染のため製品化には至らなかった。 ・所外販売先として市役所や特別支援学校での販売を再開することができた。保育所の給食で「あずこん」を使っていただけることになった。 ・原市場福祉センターの清掃活動が始まり、メンバーは意欲的に毎週清掃に出掛けている。 ・単発的な仕事も受けるようにし、作業種を増やすことで、個々の適正にあった作業種を提供できるよう配慮している。	・自主製品であるこんにゃく作りでは、「ねじりこんにゃく」や、今まで5個入りで販売していた「さしみこんにゃく」を3個入りにして販売を始めた。こんにゃく班では、イベント会場での加工品販売を再開しており、今後出店機会を増やして行けたらと思う。 ・公園清掃及び原市場福祉センターの清掃活動も定着し、利用者も毎週清掃に出掛ける日を楽しみにしていた。 ・箱作りの組み立て作業が苦手な方には、補助具を作成し、少しずつでも上達できるよう、習得に向けた訓練指導を行った。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	阿須フレンドワーク		
基本目標	７　文化芸術活動、スポーツ、余暇・レクリエーション活動への支援		
飯能市障害者計画施策	○	１	文化芸術活動、スポーツ・レクリエーション活動、生涯学習の充実
		２	地域活動支援センターの充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・市役所主催のふれあいアート展やひな飾り＆アール・ブリュット展に利用者の作品を出展する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・作品展への出展及び作品作りを、利用者の方も毎年楽しみにしている。作品出展後も、しばらくの期間は施設内の食堂に展示している。	・作品展に利用者の作品を展示できるよう、作業の合間に作品作りの時間を設けた。作品展は、利用者さんの発想力が生かされる機会となった。 ・生活介護では、コロナ以降控えていた歌の時間を日課に組み入れたことで、作業室に歌声が響くようになった。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	阿須フレンドワーク		
基本目標	８　安心・安全で住みよいまちづくりの推進		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	防災対策・災害時支援体制の充実
		２	防災対策・災害時支援体制の充実
		３	住みよいまちづくりの推進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・避難誘導や保護者への引き渡し訓練等を取り入れながら避難訓練の幅を広げ、災害時にスムーズに行動がとれるよう訓練を重ねる。 ・施設以外の場所での避難生活を見据えたうえで支援体制の整備を行う。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・毎年定期的に火災及び地震発生時を想定した避難訓練を行っている。今回避難訓練の幅を広げて、災害時の待機場所への誘導や保護者への引き渡し訓練を行った。今後も訓練を重ねていきながら課題を検討し合い、支援体制を整えていきたい。 ・送迎の時間帯に災害が発生した時のために、送迎車両ごとに送迎路線のマップを作成し、送迎を利用されている保護者に配布した。	・火災及び地震発生時を想定した避難訓練を毎年定期的に行った。今回地震で負傷された方を車椅子に乗せて避難する訓練を行った。 ・原市場グループホームでは、地域連携推進会議の中で、防災について地域住民との連携の　話をさせていただき、今後協力体制が構築されていければと考えている。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	医療法人くすのき会		
基本目標	１　地域福祉意識の醸成と地域福祉力の向上		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	交流の機会の充実による福祉意識の醸成
		２	幼い頃から障害のある人等と交流し、障害を正しく理解できる環境づくり
	○	３	地域の福祉力の向上
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・地域福祉連絡会等への参加を行い、飯能市社会福祉協議会や民生委員等と連携し地域福祉力の向上を目指す。 ・はんのうふくしの森みらいカレッジへの開催協力等を行い、新たな障害福祉の担い手の養成を行う。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・南高麗地区情報連絡会への参加を行い、民生委員や在宅介護支援センター、社会福祉協議会、保健センター等地域の支援者と意見交換・情報共有を行い地域福祉力の連携強化を行った。 ・8月30日はんのうふくしの森みらいカレッジへの開催協力を行い、飯能市すこやか福祉相談センターを紹介をしたほか、ワークショップのアドバイザーとして参加し、障害福祉の担い手の養成に協力した。	・本年度も継続し南高麗地区情報連絡会への参加を行い、民生委員・児童委員やCSW、介護福祉支援者、保健センターと意見交換、情報共有を行い地域福祉の連携強化を行った。 ・精神保健福祉フォーラムや家族支援事業といった、当事者及び当事者家族を対象としたイベントに事務局として協力することができた。 ・障害者支援協議会精神保健福祉部会における部会長として参加し、地域の関係機関と協力し、地域の課題抽出や解決に向け連携を強化した。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	医療法人くすのき会		
基本目標	２　障害者差別の解消と権利擁護の推進		
飯能市 障害者計画 施策		１	障害者差別解消の取組の推進
		２	権利擁護に関する取組の推進
		３	情報の保障・支援の充実
		４	意思決定支援の推進
	○	５	虐待予防の徹底と虐待の早期発見・対応
		６	成年後見制度の利用促進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・共同生活援助事業所と相談支援事業所が共同し虐待防止委員会を設置し、相互チェックを行い、定期的に虐待防止研修への　参加も行っていく。 ・苦情解決第三者委員へも定期的に事業報告を行うだけでなく、支援現場へ招き説明会等を行い透明性の高い事業を継続していく。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・虐待防止委員会設置のため、他事業所間での調整を行い、令和7年度に開催予定である。 ・委員会では協働で作成した虐待防止チェックリストを共同生活援助及び、相談支援事業所の職員が相互にチェックを行い虐待防止に務めた。 ・第三者委員へ年1回以上直接面会し、事業報告を行った。11月グループホームへ招待し見学会及び事業報告を行った。	・11月にももんが（共同生活援助事業所）とアスエル（相談支援事業所）が共同で虐待防止委員会を実施した。 ・委員会では全国社会福祉協議会の虐待防止チェックリストを使用し、相互にチェックを実施して虐待防止に務めた。また、虐待防止委員会では、第三者委員の方を招いて事業所の見学会、及び事業報告も行った。 ・令和８年度は委員会の他に地域連携推進会議も開催し、サービス提供の透明性や質の確保に取り組んでいく。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	医療法人くすのき会		
基本目標	３　地域の相談支援体制と生活支援の充実		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	包括的相談支援体制の充実
		２	一人ひとりのニーズに応じた支援の充実
		３	当事者による支援の充実
		４	障害福祉制度の周知・情報提供
		５	地域生活を支える支援の充実
		６	暮らしの場・居住支援の充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・精神保健やひきこもり、生活困窮など複雑化・複合化した課題に他機関共同で取り組む体制の整備を行い、相談支援とつながっていない障害のある人等への早期発見、支援介入を行う。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・民生委員からの、相談を受け保健センターと協力し、家庭訪問を実施した。 ・生活困窮においては生活福祉課へ相談をつなげ、生活の立て直し、医療・福祉サービスを並行的に調整している。 ・こうしたケース対応の実績を重ねて、体制整備を実施している。	・精神保健やひきこもりに関する相談を受けることもあり、実績として積み上げることができた。医療保健福祉をつなぐ役割として、適切に関係機関と連携することができた。 ・生活困窮に関する相談も多いため、生活困窮者の自立支援制度の理解を深め、生活福祉課や社会福祉協議会と連携しながら支援を行った。 ・相談支援センターアスエルでは、主任相談支援専門員の研修を受講し、従事者の育成や広域の視点をもち地域の相談支援体制に貢献していく。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	医療法人くすのき会		
基本目標	４　共に学び育つ保育・療育・教育の充実		
飯能市 障害者計画 施策		１	インクルーシブな保育の推進・インクルーシブ教育の推進に向けた基盤の整備
	○	２	療育・発達支援等の充実
		３	特別支援教育・教育環境の充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・保護者・家族団体との連携を行い、障害のある子どもやその家族への相談、援助、助言等を実施する。 ・ショートステイを活用し、家族等が休息できる環境を整える。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・家族会への定期的な訪問を行い、顔の見える関係性を継続している。障害児を支える母親が孤立することがないように、必要に応じ育成会等の紹介を行っている。 ・市内・市外のショートステイも含め受け入れ施設の確保に日ごろから務めている。	・家族会への定期的な訪問を行い、顔の見える関係性を継続した。障害児を支える母親が孤立しないように、育成会等の紹介を行った。 ・親子2世代にわたり支援が必要となるケースがあり、1事業所だけでなく、医療機関や保健センター、教育センター、こども支援課、児童相談所等と協力し支援を行った。 ・緊急時の受け入れのために日ごろから、市外市内のショートステイ事業所との連携を行う事ができた。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	医療法人くすのき会		
基本目標	５　保健・医療の充実		
飯能市 障害者計画 施策		１	健康づくりの推進
	○	２	こころの健康づくりの推進
	○	３	医療機関への受診に係る支援
	○	４	医療機関等と連携した地域移行・定着支援
	○	５	難病患者等への支援
	○	６	高次脳機能障害のある人への支援
	○	７	発達障害のある人への支援
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・精神保健福祉士や保健センターの保健師と協力し、受診や往診、訪問看護、自立支援医療等の医療サービスだけでなく、福祉サービスの提供まで一体的な支援を行い、地域に生活する障害のある方が安心して暮らせるよう支援を行っていく。 ・円滑な退院支援が行えるよう医療機関と協力し、退院調整や退院後の受け入れを行い、地域移行・地域定着を推進していく。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・日頃から精神保健福祉士が保健師と協力し、地域における要支援者に対して保健福祉の支援を行う事ができている。 ・南飯能病院の地域連携室とも協力し、円滑な退院支援や、ももんが（共同生活支援）への入居支援を行っている。	・南飯能病院の地域連携室と協力し、退院支援を実施した。円滑な地域移行ができた。アスエルの人員が増えたことからも、こうした支援が1年間で加速的に増加した。 ・ひきこもりや未受診ケースの相談も南飯能病院と協力し、受診、訪問診療、訪問看護、自立支援の申請、福祉サービスの導入を一体的に実施することができた。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	医療法人くすのき会		
基本目標	６　多様な就労への支援		
飯能市障害者計画施策	○	１	就労機会の確保・職場開拓・雇用促進
	○	２	働き続けるための支援
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・障害福祉サービスだけにとらわれず、クライアントの意向や能力に合った多様な就労機会の確保ができるよう、障害者就労支援センターや、ジョブセンター、ハローワークとの連携を強化し就労支援を行っていく。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・日ごろから障害者就労支援センターと協力し、就労支援と生活支援を並行して行っている。 ・ジョブセンターとは情報共有会を実施。精神障害者雇用トータルサポーターとも適宜連携し支援を行っている。	・すこ福では日ごろから相談者から就労にかかわる相談を受けることは多いため、ハローワークや障害者就労支援センターの役割や機能の違いについて、わかりやすく説明を行い、クライアントの不安軽減のため機関への同行を行う他、求人情報の共有等を行った。 ・一般就労では求められるスキル等が高いことからも、本人のストレス耐性等を見極めながら、本人の意思決定が最大限活かされるよう支援を行った。 ・アスエル（計画相談）では、就労移行支援事業所や就労定着支援を行っている事業所と連携することが多かった。 ・定期的に障害者雇用をしているクライアントの雇用先を訪れて、就労状況の把握や、就労の継続のための支援を行った。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	医療法人くすのき会		
基本目標	８　安心・安全で住みよいまちづくりの推進		
飯能市 障害者計画 施策		１	防災対策・災害時支援体制の充実
		２	防災対策・災害時支援体制の充実
	○	３	住みよいまちづくりの推進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・障害がある、住宅確保要配慮者が安心して生活できるように、グループホームにおける居住先の提供だけでなく、関係機関と協力し、市営住宅やセーフティネット住宅の活用を行い、多様な生活スタイルに応じられるよう支援を行う。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・家族関係が悪化し、自宅へ帰れなくなった障害のある方に対して、グループホームの提供を行っている。また退去の際は、一緒に物件を探すなどして支援を行っている。 ・一人暮らしをしたいというニーズは多く、こうした人たちには、市営住宅の申込時期などはのアナウンス等を行っている。	・ももんが（グループホーム）では、家族関係が悪化し、自宅へ帰れなくなった障害のある方に対して積極的に居住の提供を行った。 ・また、利用者については、単身生活等の地域生活へ戻る際、一緒に物件を探すなどの他、県営住宅や市営住宅の申込みの支援を行った。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	障害者支援施設　円野		
基本目標	１　地域福祉意識の醸成と地域福祉力の向上		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	交流の機会の充実による福祉意識の醸成
		２	幼い頃から障害のある人等と交流し、障害を正しく理解できる環境づくり
	○	３	地域の福祉力の向上
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・地域（飯能市及び近隣）の利用者を積極的に受け入れる。 ・地域のイベント（お祭り、防災イベント等）へ参加して、住民とのコミュニケーションを図り、情報共有に努める。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・施設入所、短期入所、両サービスにおいて、飯能市在住の利用者を受け入れた。 ・飯能市社会福祉法人地域公益活動等連絡会の地域貢献イベントに参加した。	・施設入所、短期入所、両サービスにおいて、飯能市在住の利用者を受け入れた。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	障害者支援施設　円野		
基本目標	２　障害者差別の解消と権利擁護の推進		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	障害者差別解消の取組の推進
	○	２	権利擁護に関する取組の推進
	○	３	情報の保障・支援の充実
	○	４	意思決定支援の推進
	○	５	虐待予防の徹底と虐待の早期発見・対応
	○	６	成年後見制度の利用促進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・障害者の権利擁護の観点から、差別解消・虐待・拘束の防止に関する施設内外の研修に参加して、職員の意識向上を図る。 ・障害者の意思決定支援を進めるため、利用者本人、家族のニーズを今一度把握し、サービス提供の見直しを図る。 ・障害者の権利擁護を進めるため、キーパーソンへ成年後見制度の利用を促す。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・虐待防止について、埼玉県身体障害者施設協議会権利擁護研修、飯能市虐待防止研修に参加し、施設内でも権利擁護研修を実施した。 ・意思決定支援について、利用者の現状を本人、家族と共有し、計画等の見直しを行った。 ・家族、身元保証人の高齢化が進んでいるため、成年後見制度の利用を推進している。	・虐待防止について、埼玉県身体障害者施設協議会権利擁護研修に参加し、施設内でも権利擁護研修を実施した。 ・意思決定支援について、利用者の現状を本人、家族と共有し、計画等の見直しを行った。 ・家族、身元保証人の高齢化が進んでいるため、成年後見制度の利用を促進している。今年度は、区市町村の担当者とも現況を共有し連携を深めながら、権利擁護を推進している。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	障害者支援施設　円野		
基本目標	３　地域の相談支援体制と生活支援の充実		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	包括的相談支援体制の充実
	○	２	一人ひとりのニーズに応じた支援の充実
		３	当事者による支援の充実
	○	４	障害福祉制度の周知・情報提供
	○	５	地域生活を支える支援の充実
	○	６	暮らしの場・居住支援の充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・困窮している個別のニーズを早期に把握するため、福祉事業所や相談支援事業所等と連携を図り、情報共有を進める。 ・施設から地域へ移行を希望する利用者がいた場合、家族、行政、他事業所と連携して、ニーズの実現へ向けて協力する。 ・障害福祉制度の利用を促進するため、相談支援事業を利用している方々への各サービス、福祉事業所等の情報提供を強化する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・相談支援の中で、生活状況等を把握し、適切なサービスの案内、情報提供を実施し、サービス受給へのサポートを行った。 ・地域移行調査を全利用者を対象として行い、意思決定支援を行った。移行希望者への支援を行ったが、ご家族の協力を取り付けることができず、断念した。	・相談支援の中で、生活状況等を把握し、適切なサービスの案内、情報提供を実施し、サービス受給へのサポートを行った。 ・地域移行調査を全利用者を対象として行い、意思決定支援を行った。前年度、移行を希望していたご利用者は、施設での継続した生活を希望された。 ・他事業者とご利用者についての情報交換を行い、正確な現状把握を図った。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	障害者支援施設　円野		
基本目標	４　共に学び育つ保育・療育・教育の充実		
飯能市 障害者計画 施策		１	インクルーシブな保育の推進・インクルーシブ教育の推進に向けた基盤の整備
		２	療育・発達支援等の充実
	○	３	特別支援教育・教育環境の充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・近隣の特別支援学校を訪問し、入所型の施設として卒業後のニーズを把握するよう努める。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・入間わかくさ高等特別支援学校への見学を実施し、意見交換、情報共有を行った。	・入間わかくさ高等特別支援学校への見学を実施し、意見交換、情報共有を行った。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	障害者支援施設　円野		
基本目標	５　保健・医療の充実		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	健康づくりの推進
	○	２	こころの健康づくりの推進
	○	３	医療機関への受診に係る支援
	○	４	医療機関等と連携した地域移行・定着支援
	○	５	難病患者等への支援
	○	６	高次脳機能障害のある人への支援
	○	７	発達障害のある人への支援
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・法人内のクリニックと連携しながら、利用者の心身の健康をサポートし、障害や疾病に応じた医療と福祉サービスを提供する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・法人内のクリニックの医師が週2回の頻度で来園し、施設利用者の状態を把握して、健康維持に貢献している。	・法人内のクリニックの医師が週3回の頻度で来園し、施設利用者の状態を把握して、健康維持に貢献している。骨折リスク調査を医師と連携しながら実施し、現況の把握に努めた。 ・高次脳機能障害について、医師を講師に招き、勉強会を実施した。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	障害者支援施設　円野		
基本目標	７　文化芸術活動、スポーツ、余暇・レクリエーション活動への支援		
飯能市障害者計画施策	○	１	文化芸術活動、スポーツ・レクリエーション活動、生涯学習の充実
		２	地域活動支援センターの充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・飯能市や埼玉県身体障害者施設協議会のイベント（文化作品展、スポーツ大会等）に参加することを目標にして、日頃の活動を推進する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・飯能市、埼玉県身体障害者施設協議会が開催するイベントに施設利用者が作成したアート作品を出品し参加している。	・飯能市、埼玉県身体障害者施設協議会が開催するイベントに施設利用者が作成したアート作品を出品し参加している。また、スポーツ大会へも出場した。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	障害者支援施設　円野		
基本目標	８　安心・安全で住みよいまちづくりの推進		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	防災対策・災害時支援体制の充実
		２	防災対策・災害時支援体制の充実
	○	３	住みよいまちづくりの推進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・緊急時に地域の拠点となることを目標に災害対策・BCPを充実させていく。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・施設における災害時の事業継続計画（BCP）を作成し、有事に備えている。 ・災害時に必要な物資の確保の際に、地域住民を受け入れることを想定して、定員数、職員数、プラスαで準備している。	・施設における災害時の事業継続計画（BCP）を作成し、有事に備えている。 ・災害時に必要な物資の確保の際に、地域住民を受け入れることを想定して、定員数、職員数、プラスαで準備している。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	太陽の丘　太陽の丘双柳		
基本目標	１　地域福祉意識の醸成と地域福祉力の向上		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	交流の機会の充実による福祉意識の醸成
		２	幼い頃から障害のある人等と交流し、障害を正しく理解できる環境づくり
	○	３	地域の福祉力の向上
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・利用者の社会参加：飯能ツーデーマーチへの参加により、地域の交流を深める。 ・あったかバンク飯能への参加：生活に困っている世帯に対し、食糧や日用品を提供する事により、生活を支援する取り組みに法人として参加する		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・飯能ツーデーマーチに参加し、地域の交流を深め、地域の一員としても認識を高めることができた。 ・あったかバンク飯能へは都合により参加できなかったが、今後も地域活動に参加できるように努めたい。	・昨年度に引き続き、飯能ツーデーマーチへ参加し、地域住民との交流をさらに深めるとともに、障害への理解を深める啓発活動を継続した。 ・あったかバンクの参加は本年度も実施に至らなかった。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	太陽の丘　太陽の丘双柳		
基本目標	２　障害者差別の解消と権利擁護の推進		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	障害者差別解消の取組の推進
	○	２	権利擁護に関する取組の推進
	○	３	情報の保障・支援の充実
	○	４	意思決定支援の推進
	○	５	虐待予防の徹底と虐待の早期発見・対応
		６	成年後見制度の利用促進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・ケース会議の実施により、支援方法、指導方法を話し合い、利用者との良好な関係が築けるよう定期的な研修に取り組む。 ・虐待防止委員会の活動などを通して、障害者の権利に関して理解を深める。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・個々の意思を尊重できるよう、利用者との面談を実施し、定期的なケース会議を実施した。 ・虐待防止委員会を開催し、事例を踏まえた研修を行った。	令和6年度の取り組みを継続し、定期的な個別面談やケース会議による意思決定支援の徹底、および虐待防止委員会を通じた職員研修をすることで、利用者の権利擁護と質の高い支援体制を維持した。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	太陽の丘　太陽の丘双柳		
基本目標	３　地域の相談支援体制と生活支援の充実		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	包括的相談支援体制の充実
	○	２	一人ひとりのニーズに応じた支援の充実
	○	３	当事者による支援の充実
	○	４	障害福祉制度の周知・情報提供
	○	５	地域生活を支える支援の充実
		６	暮らしの場・居住支援の充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・令和４年３月に再開した相談支援事業所「朝陽」双柳の事業が地域に定着できるようにする。飯能市のみならず、近隣市からの相談にも積極的に応じていく。 ・職員の雇用を行い、支援体制の充実を図る。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・飯能市以外の市町村についても積極的に相談支援を行った。	令和7年6月より休止		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	太陽の丘　太陽の丘双柳		
基本目標	６　多様な就労への支援		
飯能市障害者 計画施策	○	１	就労機会の確保・職場開拓・雇用促進
	○	２	働き続けるための支援
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・企業実習、企業就労の機会を提供できるように情報収集に努める。 ・新たな仕事内容を模索し、それに伴い利用者工賃の増加を目指す。 ・利用者の増加に努める。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・新たな仕事内容の増加には至らず、利用者の増加や工賃の増加に結びつかなかったものの、事業所の説明会等に参加し、今後の利用者増加に繋げるための取り組みを行った。 ・施設外就労を継続する事で企業就労への道筋を繋げていけるように努めた。	・令和８年１月の事業所移転に伴う利用者の精神的負担を考慮し、新規作業の導入は控え、現状の安定した作業継続を優先した。 ・前年度に引き続き事業所説明会へ参加し、新規利用者確保に向けた情報発信を行った。 ・施設外就労を継続し、企業就労への道筋を維持できるよう努めた。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	太陽の丘　太陽の丘双柳		
基本目標	７　文化芸術活動、スポーツ、余暇・レクリエーション活動への支援		
飯能市障害者計画施策	○	１	文化芸術活動、スポーツ・レクリエーション活動、生涯学習の充実
	○	２	地域活動支援センターの充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・ふれあいアート展への参加。（みんなで作品を作る事で協調性を育む） ・飯能市福祉スポーツ大会への参加。（他事業所との交流を深める） ・外出行事を行う。		

令和6年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・飯能市福祉スポーツ大会への参加を行い、交流を図った。なかなか他事業所とお話する機会を得られなかったが、親睦を深めていけるよう努めていきたい。 ・ふれあいアート展へは利用者さん全員で作成した作品を出品。今後も継続して出品していきたい。	・飯能市福祉スポーツ大会に参加し、今年はパン食い競争で当事業所のパンが採用され、「作る喜び」や「食べる喜び」を実感できた。 ・ふれあいアート展への作品出展などを通じて、地域との交流や自己表現の機会を継続して提供した。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	太陽の丘　太陽の丘双柳		
基本目標	８　安心・安全で住みよいまちづくりの推進		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	防災対策・災害時支援体制の充実
		２	防災対策・災害時支援体制の充実
	○	３	住みよいまちづくりの推進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・業務継続計画（災害時）の研修、シュミレーションにて職員が各自役割を把握し、急な災害でも対応できるようにしておく。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・避難経路及び利用者周囲の安全確認を実施したほか、非常時に備えた食糧、飲料、備品等の確認を行った。 ・災害時における各担当者の役割分担についても確認を行った。	・定期的に避難経路及び利用者周辺の安全点検を実施した。昨年度に引き続き非常時用の食糧、飲料、備品等の在庫状況を定期的に確認し、賞味期限が切れないよう管理を行った。 ・昨年度と同様、災害時における各担当の役割分担の確認を行った。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	飯能市すこやか福祉相談センターいなり町		
基本目標	１　地域福祉意識の醸成と地域福祉力の向上		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	交流の機会の充実による福祉意識の醸成
	○	２	幼い頃から障害のある人等と交流し、障害を正しく理解できる環境づくり
	○	３	地域の福祉力の向上
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・生活しやすい環境づくり ・子どもから高齢者まで、多世代の交流の場を継続。カレー食堂の開催。ふれあい交流室、マルシェ開催。 ・地域に意識して出向きつながりの場をひろげる。 ・出張相談会の開催。 ・地区別連携会議への参加。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・多世代の交流の場を提供。 障がいがあったり生きづらさを抱えていても、地域の方々の理解が得られ居場所のひとつとなれるような環境づくりを意識し一緒に参加した。センター一階の「ふれあい交流室」の支援員さんと連携、意見交換しながら対応した。 ・「ふれあい交流室なぐりえんカレー食堂」は、多世代の交流の場として地域で定着し毎回70名程参加。 ・「あしかりDEマルシェ」のボランティアの一員として毎年参加することは本人の生きがい、自信、強みとなっていると感じている。 ・出張相談の「まちの保健室」は、毎回、振り返りを行い、各地域のご意見をいただきながら継続している。 ・各地区の連携会議、受領会、ネットワーク会議では民生委員さん、「手をつなぐ育成会」情報交換会や、東赤沢サロンに参加、地域のイベント（飯能祭り、山里ウォーク等）に参加し、顔の見える関係づくりに努めた。	・多世代の交流の場を提供。 障がいがあったり生きづらさを抱えていても、地域の方々の理解が得られる居場所のひとつとなれるような環境づくりを意識した。事業所一階の「ふれあい交流室」の支援員さんと連携、意見交換しながら対応した。 ・「ふれあい交流室なぐりえんカレー食堂」は、「BFC株式会社ふれあい薬局」とコラボし毎月開催している。幼児から高齢者まで多世代の交流の場として地域の居場所のひとつとなっている。 ・「あしかりDEマルシェ」のボランティアとして参加することは本人の生きがい、自信、強みとなっていると感じている。 ・出張相談「まちの保健室」は、毎回、振り返りを行い、各地域のご意見をいただきながら継続している。7年度より交流室でも包括支援センターとすこ福とで「まちの保健室」を新設した。 ・各地区の連携会議、受領会、民生委員とのネットワーク会議、「手をつなぐ育成会」情報交換会や、地域のイベント（飯能祭り、山里ウォーク等）に参加し、顔の見える関係づくりに努めた。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	飯能市すこやか福祉相談センターいなり町		
基本目標	２　障害者差別の解消と権利擁護の推進		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	障害者差別解消の取組の推進
	○	２	権利擁護に関する取組の推進
	○	３	情報の保障・支援の充実
	○	４	意思決定支援の推進
	○	５	虐待予防の徹底と虐待の早期発見・対応
	○	６	成年後見制度の利用促進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・地域包括支援センター等と連携し、権利擁護の啓発を行う。 ・権利侵害の発生状況を集約し、地域課題の把握、改善策を協議する。思い、強み等を把握し、本人の意思を尊重する。 ・他機関との地区別連携会議等に参加。虐待の早期発見、早期対応、専門機関との連携を強化。 ・権利侵害につながるおそれのある世帯の情報収集と、支援策の検討を行い、未然に虐待防止を図る。 ・専門機関と連携し、財産管理や身上保護を必要としている方に対し、成年後見制度等の活用を勧めていく。必要に応じて相談に同席し、制度の利用支援を行っていく。夜間緊急時の連絡体制の強化。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・権利侵害の発生状況等、基幹相談支援センター、地域包括支援センターをはじめ、介護福祉課、障害福祉課、地域福祉課、生活福祉課、こども支援課、教育センター、保健所、保健センター、警察、児相、CSW、精神科医、民生委員、多機関等と連携、会議、同行訪問を行った。 ・本人の強み、意思を尊重しつつ、虐待の早期発見、早期対応につながった。 ・あんしんサポートや、市民後見人、成年後見制度の利用や、法律の専門職との同席依頼があった。法テラスの利用、一般相談があった。 ・精神障害者と家族のための講座、地域連携研修会、虐待の防止と支援の研修会、事業者協会研修、DV関係機関連絡調整会議、精神障害者と家族のための市民公開講座、人権啓発講演会等に参加。職員勉強会で手話を学んだ。	・権利侵害の発生状況等、基幹相談支援センター、地域包括支援センターをはじめ、介護福祉課、基幹型地域包括支援センター、障害福祉課、地域福祉課、生活福祉課、こども支援課、教育センター、保健所、保健センター、警察、児相、保険年金課、CSW、精神科医、民生委員等と連携、同行、会議、訪問等を行った。 ・「個人情報の責任体制等報告書」を市に提出 ・本人の強み、意思を尊重しつつ、虐待の早期発見、早期対応につながった。 ・あんしんサポートや、市民後見人、成年後見制度の利用や、法律の専門職との同席依頼があった。法テラスの利用、一般相談が増えている。本人と弁護士との仲介役も依頼された。 ・地域連携研修会、虐待の防止と支援の研修会、事業者協会研修、DV関係機関連絡調整会議、飯能市家族支援事業、人権啓発講演会等に参加。コア会議、プレ重層的支援会議出席、等。職員勉強会で議題とした。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	飯能市すこやか福祉相談センターいなり町		
基本目標	３　地域の相談支援体制と生活支援の充実		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	包括的相談支援体制の充実
	○	２	一人ひとりのニーズに応じた支援の充実
	○	３	当事者による支援の充実
	○	４	障害福祉制度の周知・情報提供
	○	５	地域生活を支える支援の充実
	○	６	暮らしの場・居住支援の充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・行政、医療機関、包括支援センター、CSW、民生委員等、多職種との連携を一層強化。 ・相談者によりそい、本人の意思を尊重した支援をする。 ・「地域包括支援センターいなり町」等、専門職との連携、同行、生活環境の整備。 ・４すこ福と、基幹相談支援センター、障害福祉課との連絡会議。 ・相談内容により、市各課の相談窓口や制度等の情報提供。随時、同行、相談支援を行う。 ・各連携会議、ふくしを考える会、出張相談会等、参加。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・個別支援会議、サービス担当者会議（居宅ケアマネ等）、コア会議、各地区の連携会議、ネットワーク会議、くらしの保健室出張相談会を企画、参加。市とすこ福会議や、4すこ福合同会議、相談シェアミーティング、相談支援連絡会に参加。各協議会、全体会、審議会等に事務局として参加。 ・ハローワークや、保険年金課、年金事務所（秩父、川越市）同行や障害年金請求のお手伝いが増加。療育判定会同行、受診同行、事業所見学、グループホームや不動産探し等、同行。 生活困窮者への対応、家計相談。警察と訪問、法テラス、一般法律相談に同行。フードパントリー対応。 ・原市場ふくしを考える会やサロン等に参加し、日頃から顔の見える関係を意識した。	・個別支援会議、サービス担当者会議（居宅ケアマネ等）、コア会議、プレ重層的支援会議、各地区の連携会議、ネットワーク会議、くらしの保健室出張相談会を企画、参加。法人内で暮らしの保健室を新設。市とすこ福会議や、4すこ福合同会議、相談シェアミーティング、相談支援連絡会に参加。就労・相談協議会、全体会、審議会等に事務局として参加。 ・ハローワークや、保険年金課、年金事務所同行や障害年金請求（申立書作成等）のお手伝いが増加。受診同行、事業所見学、グループホームや不動産探し等、対応。 ・生活困窮者への対応、家計相談。警察と訪問、法テラス、一般法律相談に同行依頼あり継続。フードパントリー対応。 ・各地区連絡会、出張相談会、ふくしを考える会（原市場・永田）やサロン等に参加し、日頃から顔の見える関係を意識した。 ・支援を望まないケース対応には慎重に行動。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	飯能市すこやか福祉相談センターいなり町		
基本目標	４　共に学び育つ保育・療育・教育の充実		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	インクルーシブな保育の推進・インクルーシブ教育の推進に向けた基盤の整備
	○	２	療育・発達支援等の充実
	○	３	特別支援教育・教育環境の充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・医療機関、支援事業所、特別支援学校、教育センター、小、中学校等との連携。 ・イベント等の参加、協力。 ・国際交流の場を提案。 ・地域の通いの場、活用推進。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・卒業後の進路相談会・説明会の企画。 ・飯能・日高ワールドカフェ、care　cureネット参加。多機関との交流。カレー食堂の開催。ふれあい交流室での支援。 ・飯能市家族支援事業研修会参加。飯能市精神保健福祉理解促進・啓発事業。孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム研修、いきいき原市場祭り、ふるさと祭り、名栗ウォーク等、各イベントに参加、協力し地域交流の場を得た。 ・保健センター、こども支援課、教育センター、CSW、学校等との連携。 ・国際交流の場を提供した。本人.家族から相談があり、Mexicoから一時帰国の間、市内（名栗）小学校への受け入れ調整をした。	・卒業後の進路相談会・説明会の企画。就労支援部会事務局。 ・飯能・日高ワールドカフェ、care　cureネット参加。多機関との交流。カレー食堂の開催。ふれあい交流室での支援。 ・飯能市家族支援事業研修会参加。飯能市精神保健福祉理解促進・啓発事業。研修、いきいき原市場祭り、ふるさと祭り、名栗ウォーク等、各イベントに参加、協力し地域交流の場を得た。 ・保健センター、こども支援課、教育センター、CSW、学校等との連携。 ・国際交流の場を提供した。本人.家族から相談があり、Mexicoから一時帰国の間、市内（名栗）小学校への受け入れ調整をした。 ・地域の通いの場、居場所としては、障害サービスのほか、交流室や「おいでよハウス」等、地域に既存している社会資源を提案している。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	飯能市すこやか福祉相談センターいなり町		
基本目標	５　保健・医療の充実		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	健康づくりの推進
	○	２	こころの健康づくりの推進
	○	３	医療機関への受診に係る支援
	○	４	医療機関等と連携した地域移行・定着支援
	○	５	難病患者等への支援
	○	６	高次脳機能障害のある人への支援
	○	７	発達障害のある人への支援
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・障害の特性に配慮した個別支援を行う。 ・生活を支援している家族を含めた世帯全体を考えて支援を行う。 ・保健所や保健センター、地域包括支援センター、CSW等との連携。 ・医療機関、主治医、訪問看護、かかりつけ薬局の薬剤師等との連携。随時、受診同行。 ・地域にある福祉レストラン、おいでよハウス等、身近な居場所につなぐ。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・長期入院からの地域移行支援。退院前カンファに参加し入院中から本人との関係づくりを意識した。 ・医療中断者への対応、地域住民への理解。 ・8050問題では、「包括支援センターいなり町」との同行が増えた。親なきあとの支援。 ・県内外受診同行。複合課題世帯、生活困窮への対応。障害特性からくる課題、生保申請、フードパントリーの支援。高齢者とひきこもり世帯等、専門職等と連携しチームで支援した。 ・飯能市.医療.保健.福祉連携研修会、医療介護連携検討会（毎月）、飯能・日高ワールドカフェ、care cureネット、大人子どもの発達障害の支援、研修会参加等。不適切な指導の対応。こころの健康づくりの集い、家族支援研修会等参加。医療.教育.基幹センター等との連携。制度（難病等含む）、居場所、既存のサービスも含め、都度、本人の意思を尊重し支援した。	・長期入院からの地域移行支援。退院前カンファに参加し入院中から本人との関係づくりを意識した。 ・医療中断者への対応、地域住民への理解。 ・8050問題では、民生委員や高齢の家族、兄弟からの相談や、「包括支援センターいなり町」との連携、同行が増加。親なきあとの支援。 ・県内外受診同行。複合課題世帯、生活困窮への対応。障害特性からくる課題、生保申請、家計相談、フードパントリーの支援。高齢者とひきこもり世帯等、専門職等と連携しチームで支援した。 ・飯能市医療.保健.子ども.教育.連携の会研修会、医療介護連携検討会（毎月）、飯能・日高ワールドカフェ、care　cureネット、大人子どもの発達障害の支援、ひきこもり研修会等参加。こころの健康づくりの集いinはんのう実行委員、家族支援研修会等参加。医療.教育.基幹センター等との連携。制度（難病等含む）、居場所、既存のサービスも含め、都度、本人の意思を尊重し支援した。		

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	飯能市すこやか福祉相談センターいなり町		
基本目標	６　多様な就労への支援		
飯能市障害者計画施策	○	１	就労機会の確保・職場開拓・雇用促進
	○	２	働き続けるための支援
令和6～8年度実施計画（実施予定の事業）	・障がい者就労支援センター、就労支援事業所、計画相談事業所等との連携。 ・法定サービス終了時の連絡体制を明確にし、望む暮らしが継続できるよう支援する。 ・福祉・医療機関等との連携。企業訪問、就労環境を整える等、継続。 ・個別ケース等、事例を通じてスキルアップを図る。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・就労支援部会の事務局として企画、運営をした。卒業後の進路について相談会を実施。 ・「入間わかくさ高等特別支援学校」説明会に同行。 ・障害雇用で5年経過した利用者への対応例としては、「障がい者就労支援センター」、企業担当者、医療機関、本人、その親族等と顔の見える関係を築いており、連携することで安心した環境の中、継続して就労ができている。 ・企業訪問、受診同行等、日頃からの関わりを大切にし就労環境整備に努めている。必要に応じて、障害年金請求のお手伝いをしている。 ・長期とじこもりの生活から就労につながったケースに対応。 ・就労しながら、「あしかりDEマルシェ」で支援員としての協力者もいる。	・就労支援部会の事務局として企画、運営に携わった。卒業後の進路については昨年と同様に相談会を実施。 ・「入間わかくさ高等特別支援学校」説明会に同行。 ・就労選択支援、評価の共通認識。 ・障害雇用で就労した対応例としては、就労へのモチベーションを維持できるよう場面場面で会議に参加していただき「障がい者就労支援センター」、企業担当者、本人、その親族等と顔の見える関係づくり、密に連携することで安心した職場環境の中で、継続して就労につながっていけるよう工夫した。 ・企業訪問、受診同行等、日頃からの関わりを大切にし就労環境整備に努めている。必要に応じて、障害年金請求のお手伝いをした。 ・長期とじこもりの生活から医療、就労につながったケース等、継続して対応。 ・通所しながら、「あしかりDEマルシェ」で支援員としての協力者については、企業への就労を本人が望んでいることから希望にそえるよう対応を検討している。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	飯能市すこやか福祉相談センターいなり町		
基本目標	７　文化芸術活動、スポーツ、余暇・レクリエーション活動への支援		
飯能市障害者計画施策	○	１	文化芸術活動、スポーツ・レクリエーション活動、生涯学習の充実
		２	地域活動支援センターの充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・ふれあい交流室、カレー食堂、マルシェ、イベント等、地域の一員として参加、協力する。 ・生活のしづらさに気づき、地域の人の疾病への理解を得られるよう支援をする。 ・地域の人との学びの場等、参加、協力。集いの場との連携。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・地域貢献、地域交流の場として「ふれあい交流室なぐりえんカレー食堂」を継続。今年度より、「ふれあい薬局」とコラボしたことで、カレーと講話、歌、音楽等を行い、地域の方々と過ごす居場所の一つとなっている。 ・「東赤沢サロン」に招かれた。飯能祭りは2丁目クラブに継続して参加。イベントには、ほたる鑑賞の集い、すご足イベント、国際興業バス祭り等、進んで地域と交流するように努めた。 ・ネイチャークラブに所属して山登り、苺狩り等に参加した。日頃から「包括支援センターいなり町」や法人職員、多機関等とのより良い関係につながっている。	・地域貢献、地域交流の場として「ふれあい交流室なぐりえんカレー食堂」を継続。昨年度より、「BFC㈱ふれあい薬局」とコラボしたことで、カレーとデザート、講話、歌、楽器演奏等をし地域の幼児から高齢者が共に過ごせる居場所の一つとして定着してきている。 ・地域のサロンに招かれたり、飯能祭りは2丁目クラブに継続して参加、協力することで自治会等地域住民とも顔のみえる関係がきづけて、交流の機会となった。各イベントに参加し、進んで地域と交流するように努めた。 ・ネイチャークラブに所属して山登り、苺狩り等に参加した。日頃から「包括支援センターいなり町」や法人職員、多機関等とのより良い関係づくりにつながった。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	飯能市すこやか福祉相談センターいなり町		
基本目標	８　安心・安全で住みよいまちづくりの推進		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	防災対策・災害時支援体制の充実
	○	２	防災対策・災害時支援体制の充実
	○	３	住みよいまちづくりの推進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・防災、災害対策等の研修会等に参加。 ・要援護者リスト登録のメリット等を伝え、不安軽減を図る。 ・関係機関等との連携、共有。 ・災害への備えとして、ハザードマップ活用（いなり町担当地域で作成済み）、居所確認、適宜見直し。 ・避難所の確認、計画書に記入。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・狭山保健所主催の災害対策についての研修会に参加。 ・要援護者リスト登録の提案を継続。 ・災害への備えとして、「包括支援センターいなり町」と「すこやか福祉いなり町」で対応している同担当地域の高齢者、障がい者児、避難所等が一目でわかるよう色分けした特大型（183㎝×276㎝）のハザードマップを常時見える化して設置。居所確認、適宜見直しをしている。 ・居宅ケアマネや計画相談等、支援につながっていない方から、避難所についての問い合わせがあった。市、行政センター等に確認の上、対応した。 ・避難所の確認、計画書への記入については、計画相談事業所とも共有を継続。	・狭山保健所主催の災害対策についての研修会に参加。ワールドカフェでも災害について検討した。 ・災害への備えとして、「包括支援センターいなり町」と「すこやか福祉いなり町」で対応している同担当地域の高齢者、障がい者児、避難所等が一目でわかるよう色分けした特大型（183㎝×276㎝）のハザードマップを常時見える化して設置。居所確認、適宜見直しを継続して行っている。 ・本人、家族、居宅ケアマネや計画相談の他、支援につながっていない方から、避難所についての問い合わせがあった際は、要援護者リスト登録の提案を継続。市、行政センター等に確認の上、対応した。 ・避難所の確認、計画書への記入については、計画相談事業所とも共有を継続。		

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	社会福祉法人飯能市社会福祉協議会		
基本目標	１　地域福祉意識の醸成と地域福祉力の向上		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	交流の機会の充実による福祉意識の醸成
	○	２	幼い頃から障害のある人等と交流し、障害を正しく理解できる環境づくり
	○	３	地域の福祉力の向上
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・校長会へ出席し、福祉教育の重要性及び飯能市社会福祉協力校等指定事業について説明する。また、小中学校において、各種団体と連携して、障害を含めた福祉学習を開催する。 ・地域福祉の向上を目的とした各種事業を開催する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・校長会へ２回出席する他、教育センターとの共催で福祉教育担当者説明会を開催し、福祉教育の重要性及び飯能市社会福祉協力校等指定事業について説明をした。 （社会福祉協力校：６校　ボランティア推進校２校） ・小学校７校、中学校１校、高校１校、その他１団体へ向けて、各種団体と連携して障害を含めた福祉学習を実施した。 ・彩の国ボランティア体験プログラムにおいて、「障害者施設でのボランティア体験」「点訳体験教室」「手話体験教室」を実施した。 ・はんのうふくしの森みらいカレッジにおいて、ふくしの森リーダー養成研修を実施した。 （参加者１４名、修了者４名、リーダー登録者１名／通算２６名） ・手話奉仕員養成講座（入門、基礎、レベルアップ、体験会）を実施した。合計６２名の参加があった。	・校長会へ２回出席し、福祉教育の重要性及び飯能市社会福祉協力校等指定事業について説明をした。（社会福祉協力校：５校　ボランティア推進校：１校） ・教育センターとの共催で、小中学校の教員を対象とした「人権教育研修会」を開催した。 ・小学校８校、中学校２校、高校１校、大学１校へ向けて、各種団体と連携して障害を含めた福祉学習を実施した。 ・彩の国ボランティア体験プログラムにおいて、「障害者施設でのボランティア体験」「点訳体験教室」「手話体験教室」を実施した。 ・はんのうふくしの森みらいカレッジにおいて、ふくしの森リーダー養成研修を実施した。 （参加者９名、修了者５名、リーダー登録者２名／通算２８名）		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	社会福祉法人飯能市社会福祉協議会		
基本目標	２　障害者差別の解消と権利擁護の推進		
飯能市 障害者計画 施策		１	障害者差別解消の取組の推進
	○	２	権利擁護に関する取組の推進
		３	情報の保障・支援の充実
		４	意思決定支援の推進
		５	虐待予防の徹底と虐待の早期発見・対応
	○	６	成年後見制度の利用促進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・成年後見制度についてのパンフレットを作成し、相談時や周知に利用し、成年後見制度についての理解促進に努める。 ・司法書士による成年後見制度相談会の実施（年１回、令和8年度から年２回） ・市民後見人フォローアップ研修（年１回） ・市民後見人養成講座（入門編）…令和６年度 ・市民後見人養成講座（基礎編）…令和７年度 ・市民後見人養成講座（実践編）…令和８年度 ・支援者向けの成年後見制度に関する勉強会…新規事業　令和７年度から（年１回）		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・障がいのあるこどもを持つ保護者を対象とした家族支援事業で、成年後見制度に関する講演と座談会の講師（2名）の派遣を行った。 ・市民後見人養成講座（入門編）では「よくわかる！はじめての成年後見制度」と題し、市民に対し、法定後見や任意後見の概要説明を実施し、33名が参加した。 ・市民後見人フォローアップ講座では、市民後見人養成講座修了者を対象に、活動の際に必要な知識と技術向上を目的とした「コミニュケーションスキルアップ講座」を実施した。 ・随時、成年後見に関する相談を受け、市民や関係機関より年43件の相談に対応した。 ・法人後見は１８件受任中（令和７年３月末現在）。法的専門知識が必要なケースは司法書士と複数後見で行った。	・「第5回障害児支援・教育との連携部会」にて障害のあるこどもの支援体制「成年後見制度」について説明を行った。 ・市民後見人養成講座（基礎編）を4日間のカリキュラムで開催し、１５名が受講した。 ・市民後見人フォローアップ講座では市民後見人養成講座修了者を対象に実際活動している支援員の活動実践報告を行い、20名参加した。 ・支援者向け後見制度勉強会を開催。 参加者　集合：22名　動画視聴：22名 ・随時、成年後見に関する相談を受け、市民や関係機関より年32件の相談に対応した。 ・法人後見は１７件受任中。 （数字については全て令和８年３月２３日現在）。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	社会福祉法人飯能市社会福祉協議会		
基本目標	３　地域の相談支援体制と生活支援の充実		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	包括的相談支援体制の充実
		２	一人ひとりのニーズに応じた支援の充実
		３	当事者による支援の充実
		４	障害福祉制度の周知・情報提供
		５	地域生活を支える支援の充実
		６	暮らしの場・居住支援の充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・市内全域に配置されているCSW（コミュニティソーシャルワーカー）が、福祉のなんでも相談窓口として、あらゆる生活の困りごとを受け止め、解決に導くため、他の専門機関と連携する。 ・山間地域において、他の専門機関と連携し、「出前相談会」を開催する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・CSWへの相談件数は３１３件であり、そのうち障害に関する相談は１５６件であった。他の専門機関と連携し、解決を促した。 ・原市場地区、東吾野地区、第二区地区において、他の専門機関（保健センター、地域包括支援センター、すこやか福祉相談センター）と共催で「出前相談会」を１９回（原市場地区２回、東吾野地区６回、第二区地区１１回）開催した。合計参加者数１８８名	・CSWへの相談件数は278件であり、そのうち障害に関する相談は115件であった。他の専門機関と連携し、解決を促した。 ・原市場地区、東吾野地区、第二区地区において、他の専門機関（保健センター、地域包括支援センター、すこやか福祉相談センター）と共催で「出前相談会」を１９回（原市場地区１回※原市場いきいきまつり内で実施、吾野地区３回、東吾野地区３回、第二区地区１２回）開催した。合計参加者数１２１名※原市場いきいきまつり参加者は未カウント		

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	社会福祉法人飯能市社会福祉協議会		
基本目標	４　共に学び育つ保育・療育・教育の充実		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	インクルーシブな保育の推進・インクルーシブ教育の推進に向けた基盤の整備
		２	療育・発達支援等の充実
		３	特別支援教育・教育環境の充実
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・狭山特別支援学校で実施する「共学支援ボランティア講座」に協力する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・狭山特別支援学校で実施する「共学支援ボランティア講座」に協力し、本市から１名の参加があり、支援籍学習について理解を深めた。	・狭山特別支援学校で実施する「共学支援ボランティア講座」に協力し、本市から１名の参加があり、支援籍学習について理解を深めた。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	社会福祉法人飯能市社会福祉協議会		
基本目標	５　保健・医療の充実		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	健康づくりの推進
		２	こころの健康づくりの推進
		３	医療機関への受診に係る支援
		４	医療機関等と連携した地域移行・定着支援
		５	難病患者等への支援
		６	高次脳機能障害のある人への支援
		７	発達障害のある人への支援
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・「出前相談会」を実施する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・原市場地区、東吾野地区、第二区地区において、他の専門機関（保健センター、地域包括支援センター、すこやか福祉相談センター）と共催で「出前相談会」を１９回（原市場地区２回、東吾野地区６回、第二区地区１１回）開催した。合計参加者数１８８名	・原市場地区、東吾野地区、第二区地区において、他の専門機関（保健センター、地域包括支援センター、すこやか福祉相談センター）と共催で「出前相談会」を１９回（原市場地区１回※原市場いきいきまつり内で実施、吾野地区３回、東吾野地区３回、第二区地区１２回）開催した。合計参加者数１２１名※原市場いきいきまつり参加者は未カウント		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	社会福祉法人飯能市社会福祉協議会		
基本目標	６　多様な就労への支援		
飯能市障害者計画施策		１	就労機会の確保・職場開拓・雇用促進
	○	２	働き続けるための支援
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・歳末たすけあい募金職域募金資材等について、障害者就労施設等から物品等を調達する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・歳末たすけあい募金（職域募金）の資材を、ヴェルペングリル（㈱ヴェルペンファルマ）からラスク587個及び、虹（㈱あおーら）からマドレーヌとボーロ500個を調達した。 ・ひとり親家庭支援事業（クリスマスお買い物券）の発行にあたり、虹（㈱あおーら）に協力を依頼し、全体で6,000円の購入があった。 ・職員への福利厚生の一環として、TAIYO Bakery（㈱現成会）の惣菜パンの注文を毎月第4木曜に取りまとめ、毎回100個ほどを職員が購入した。また、かわせみ（㈱日和田会）の焼き菓子、EM石鹸等の注文を年5回取りまとめ、毎回４０個ほどを職員が購入した。また、にこにこハウス（㈲悠にこにこハウス）の弁当の注文を月１～２回取りまとめ、毎回２０個ほどを職員が購入した。	・歳末たすけあい募金（職域募金）の資材を、ヴェルペングリル（㈱ヴェルペンファルマ）からラスク５７０個及び、虹（㈱あおーら）からマドレーヌとボーロ５００個を調達した。 ・職員への福利厚生の一環として、TAIYO Bakery（㈱現成会）の惣菜パンの注文を毎月第4木曜に取りまとめ、毎回100個ほどを職員が購入した。また、かわせみ（㈱日和田会）の焼き菓子、EM石鹸等の注文を年5回取りまとめ、合計58,000円ほどを職員が購入した。また、にこにこハウス（㈲悠にこにこハウス）の弁当の注文を月１～２回取りまとめ、職員が購入した。		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	社会福祉法人飯能市社会福祉協議会		
基本目標	７　文化芸術活動、スポーツ、余暇・レクリエーション活動への支援		
飯能市障害者計画施策	○	１	文化芸術活動、スポーツ・レクリエーション活動、生涯学習の充実
	○	２	地域活動支援センターの充実
令和6～8年度実施計画（実施予定の事業）	・レクリエーション教室の開催 ・療育音楽教室の開催 ・書道教室の開催 ・飯能市福祉スポーツ大会の開催 ・パラスポーツ体験会の開催（総合福祉センター：カーレット　美杉台児童館：フライングディスク） ・パラスポーツ教室の開催 ・障害児者造形教室の開催		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・レクリエーション教室 11回実施 延べ13人 ・療育音楽教室18回実施 延べ56人 ・書道教室20回実施 延べ74人 ・第30回飯能市福祉スポーツ大会を開催。ボッチャ、カーレット、フライングディスクの体験を実施。185人が参加。指導ボランティアも協力。 ・パラスポーツ体験会を開催。（総合福祉センター） ・カーレット体験37人参加（美杉台児童館） ・フライングディスク体験　14人参加 ・パラスポーツ教室としてボッチャ教室を月1回（10月を除く）開催。11回実施、延べ133人が参加。 ・障害児者造形教室を月1回（8月を除く）開催。11回実施、延べ61人が参加。	・レクリエーション教室（グラウンドゴルフ）1回　２人 ・療育音楽教室 １９回　延べ３５人 ・書道教室 １８回　延べ５５人 ・飯能市福祉スポーツ大会　１７１人 ボッチャ・カーレット・フライングディスク・卓球バレーの体験。パンくい競争実施 ・パラスポーツ体験（卓球バレー） 1回　29人 ・フライングディスク体験（美杉台児童館） 1回　７人 ・ボッチャ教室 １１回　延べ１３９人 ・造形教室 １１回　延べ８８人		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。

【第５次飯能市障害者計画における民間事業所からの実施計画等の報告】

事業所名	社会福祉法人飯能市社会福祉協議会		
基本目標	８　安心・安全で住みよいまちづくりの推進		
飯能市 障害者計画 施策	○	１	防災対策・災害時支援体制の充実
		２	防災対策・災害時支援体制の充実
	○	３	住みよいまちづくりの推進
令和6～8年度 実施計画 （実施予定の事業）	・災害発生時に円滑な支え合い活動が実施できるように、災害ボランティアセンター運営訓練を実施する。		

令和６年度　進捗状況	令和７年度　進捗状況	令和８年度　進捗状況・3か年の実績報告	3か年評価
・埼玉県社会福祉協議会の災害支援チーム員である、他市町村の社協職員を講師として招き、大規模災害を想定した災害ボランティアセンター運営訓練を実施した。（参加者２８名うち市民９名） ・総合福祉センター１階ロビーにデジタルサイネージを設置しており、災害発災情報などが目視できるように、活用する。	・埼玉県の社協職員を講師として招き、災害ボランティアセンターの機能及び役割について講演していただくとともに、大規模災害を想定した災害ボランティアセンター運営訓練を実施した。（参加者３０名うち市民７名）		

【評価】Ａ：実施計画どおりに行えた。Ｂ：実施計画の一部を行った。Ｃ：実施計画どおりに行えなかった。